

The University of Shimane

学生便覧

2024(令和 6)年度



島根県立大学憲章

島根県立大学は、地域の先人である西周が標榜した“「純理の学」から「実践の学」にわたる諸科学の統合”をめざし、各専門領域における研究活動を深め、それにもとづく創造的な教育活動によって、現代社会の諸課題に国際的な視野からアプローチし、また、地域社会の活性化と発展に寄与する人材を養成することを使命とする。あわせて、これまで培った学問的蓄積と学際的ネットワークを活かしながら、「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現するとともに、北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくりを目標とする。

1. 市民的教養を高め、主体的に学び、実践する人材を養成する

島根県立大学は、幅広い市民的教養と高度の専門知識、豊かな人間性と高い倫理観を有し、主体的に問題を発見・整理・解決し、現代社会の諸分野において着実に貢献できる人材を養成する教育の府となることをめざす。

2. 現代社会の諸課題に対応した“諸科学の統合”を実践する

島根県立大学は、複雑化する現代社会の諸課題に対処するため、人間と社会に関する専門諸科学を総合的に研究する学問の府となることをめざす。

3. 地域の課題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を

積極的に支援して、地域に貢献する

島根県立大学は、地域に開かれた大学として、その保有する豊かな知的資源を活かし、個性的で実践的な地域研究を市民や学生と連携しながら推進し、また、地域活動に積極的に参加することによって、地域に貢献する大学となることをめざす。

4. 北東アジア地域をはじめとする国際的な研究教育の拠点を構築する

島根県立大学は、今後ますます重要度を増す北東アジア地域、および世界の諸地域との教育的・学術的ネットワークの展開を通じ、国際的視野と豊かな研究蓄積を集約した北東アジアの知の拠点となることをめざす。

5. 自律と協同、透明性が高く機能性に優れた大学運営を行う

島根県立大学は、3キャンパスがそれぞれ学生と教職員一体となって独自性を発揮し、かつ、有機的結合を図り、たえず自己検証と改善に努めながら、情報を積極的に公開し、社会や時代の変化に即応できる大学運営を行う。

学生諸君へのメッセージ

皆さん、合格おめでとうございます。この度は、浜田キャンパスへのご入学を心より歓迎いたします。新たな希望を胸に、ここから学びの旅が始まります。

将来の予測が困難になっている今の時代にあって、若者や学生の「生涯学び続け、どんな環境においても“答えのない問題”に最適解を導くことができる能力」を育成することが、大学教育の直面する大きな目標になっています。同時に、若者や学生が夢や希望を持てる社会を作り上げる責務をわれわれ大人は負っています。

島根県立大学では、大学教育の質を高め、グローバルに活躍できる人材を育成することをかかげています。わが国が直面している超高齢化社会、人口減少をはじめとする地域の衰退が激しく、島根県においてはさらに深刻です。一方では、このような地域の課題を克服するために各自自治体、企業、大学、地域の団体などが連携して地域経済の活性化や競争力強化に構想を出しつつあります。

浜田キャンパスでは、2021年4月から始動した国際関係学部と地域政策学部において皆さんは、4期生として歩みを進めることとなります。今年度より、全学年が揃い、新たなスタートを切るこの年度を、私たちは大いに期待しています。

私は昨年就任来、『地域とともに、学生とともに』をキャッチフレーズに掲げております。現在、島根県の19市町村のうち、18市町村とも連携協定を締結し、県内をフィールドにしながら、島根創生を担う人材の育成を目標にしています。また、海外留学や海外研修も再び活発化しており、皆さんの先輩である4年生がこれから社会にはばたいていき、島根県はもとより世界で活躍して欲しいと願っております。

そして、島根県立大学は、浜田、出雲、松江の3キャンパスが共に、学業、クラブ・サークル活動、アルバイト等の多彩な経験を通じて、有意義な学生生活を送られるよう、皆さんの活躍を全力でサポートしていきます。

充実した大学生活を過ごせますよう、心からのエールを送ります。



学長 山下 一也

2024年度 学年暦

★下段は授業回次（「月1」=月曜日1回目の授業）

2024 (令和6年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	月曜授業日
4	新入生・学生生活ガイダンス		入学式	春学期授業開始				春学期履修登録期間（1年）										春学期履修取消期間													
	春学期履修登録期間（1年以外）										履修登録修正期間（4年生のみ）																				
授業回次				木1	金1			月1	火1	水1	木2	金2			月2	火2	水2	木3	金3			月3	火3	水3	木4	金4				月4	
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
授業回次	水4	木5					火4	水5	月5	金5			月6	火5	水6	木6	金6			月7	火6	水7	木7	金7			月8	火7	水8	木8	金8
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
授業回次			月9	火8	水9	木9	金9			月10	火9	水10	木10	金10			月11	火10	水11	木11	金11			月12	火11	水12	木12	金12			
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
7	春学期卒業研究提出期間（7/1~7/8 16:00まで）										春学期集中講義履修登録期間										（補講予備日）										
																					（補講予備日）										
授業回次	月13	火12	水13	木13	金13			月14	火13	水14	木14	金14			月15	火14	水15	木15	金15			月16	火15								
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
8	異文化理解研修期間（ハワイコース除く） ※8/1~9/4までのうち指定期間										（事務局休業）										（事務局休業）										
授業回次																															
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
9	異文化理解研修										春学期集中講義期間（9/1~9/30） ※期間外での開講の場合あり。詳細は別途時間割参照。										春学期成績発表										
																					木 追試験 金 追試験										
授業回次																															

★春学期集中講義は上記期間外の夏季休業中に行われることがあります。 土、日、祝

★春学期試験の追試験は、講義担当教員の都合で夏季休業中に行われることがあります。 春季、夏季、冬季休業日

10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
授業 回次	午前 火1	午後 水1	午前 木1	午後 金1			月1	火2	水2	木2	金2				-	水3	木3	金3			月2	火3	水4	木4	金4			月3	火4	水5	木5

11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
授業 回次	午前 金5	午後 土5			月4	水6	木6	金6			月5	火5	水7	木7	金7			月6	火6	水8	木8	金8			月7	火7	水9	木9	金9	

12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
授業 回次		午前 月8	午後 火8	午前 水10	午後 木10	午前 金10			月9	火9	水11	木11	金11			月10	火10	水12	木12	金12			月11	火11							

2025年 (令和7年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
授業 回次							月12	水13	木13	金13				火12	水13	木14	火13			月13	火14	水14	木15	金14			月14	火15	水15	木15	金15

2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
授業 回次																													

3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
授業 回次																															

★秋学期集中講義は上記期間外の春季休業中に行われることがあります。 土、日、祝

★秋学期試験の追試験は、講義担当教員の都合で春季休業中に行われることがあります。 春季、夏季、冬季休業日

目 次

島根県立大学憲章
学生諸君へのメッセージ（学長）
2024年度 学年暦

I	学生生活を送るにあたって	1
II	学生生活	
1	証明書の発行	7
	(1) 窓口での発行	
	(2) 証明書自動発行機による発行	
	(3) 郵送による申請	
2	身上異動等の手続き	10
	(1) 氏名、住所、電話番号、携帯メールアドレス等の変更	
	(2) 身上異動の手続き	
3	授業料の納付など	11
	(1) 授業料の納付	
	(2) 授業料の徴収猶予等	
4	保護者への成績通知	11
	(1) 通知方法、通知時期	
	(2) 個人情報の取扱いについて	
5	経済的支援	12
	(1) 学内奨学金	
	(2) 学外奨学金	
	(3) 大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免制度	
6	学生表彰制度	13
	(1) 島根県立大学賞	
7	健康管理	13
	(1) 健康診断	
	(2) 医務室	
	(3) 健康保険証	
	(4) 食生活について	
	(5) 学校医・救急医療機関	
	(6) A E D（自動体外式除細動器）について	
8	保険	15
	(1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）	
	(2) 学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）	
	(3) 学研災付帯学生生活総合保険（学研災付帯学総）	
9	自動四輪車・バイクによる通学	17
10	事故・災害等が発生した時の対応	17
	(1) 「事故等報告書」の提出について	
	(2) 学内で事故があったとき	
	(3) 交通事故を起こしたとき	

11	学生生活を送るうえでの安全対策 ……………	18
	(1) 夜間等の安全対策	
	(2) 節度ある消費生活	
	(3) 悪徳商法、宗教等の勧誘	
	(4) インターネットの利用	
	(5) 薬物の乱用防止	
	(6) デートDV	
12	アパート・下宿 ……………	19
13	アルバイト ……………	19
	(1) 学外でのアルバイト	
	(2) 学内でのアルバイト	
14	学生の集会・掲示等 ……………	20
	(1) 集会	
	(2) 掲示	
	(3) 印刷物の配布等	
	(4) 募金活動等	
15	課外活動 ……………	21
	(1) 学生団体の設立等	
	(2) 学外団体への加入	
	(3) 学友会	
	(4) 後援会補助金	
	(5) 学生団体一覧	
16	ボランティア活動 ……………	24
17	施設利用案内 ……………	27
	(1) 学生会館	
	(2) クラブハウス	
	(3) 課外活動等で開放する施設及び開放時間	
	(4) 自習室及び自習場所として開放する施設及び開放時間	
	(5) 施設の冷暖房の運転範囲	
	(6) 学生寮	
18	浜田キャンパス後援会 ……………	30
	(1) 補助金・助成金の種類	
	(2) 補助金・助成金の手続き	
	(3) 学生支援事業について	
	(4) 資格取得支援金制度	

Ⅲ キャリア支援

1	キャリア支援プログラムと学務課キャリア支援室 ……………	35
2	キャリア支援プログラムの概要 ……………	37
	(1) 国際関係学部・地域政策学部「キャリアデザイン」	
	(2) 国際関係学部・地域政策学部「キャリアプランニング」	
	(3) 国際関係学部・地域政策学部「就職対策セミナー」	
	(4) 「キャリアプラクティス」・「自治体・NPO等キャリアプラクティス」	
	(5) 就活準備ガイダンス	
	(6) 就活ガイダンス・セミナー、模擬面接	

(7) 企業バスツアー	
(8) 業界研究会	
(9) 学内個別企業説明会	
(10) 公務員試験対策	
(11) キャリア支援室職員の個別キャリア支援	
(12) 学内キャリアサポーターの個別キャリア支援	
3 就職活動と授業や試験が重なる場合について	39
4 就職活動における各種証明書の発行について	39
IV 学生相談	40
V 国際交流	
1 海外大学との交流 ～交流協定締結校紹介～	46
2 留学	47
(1) 留学の種類について	
(2) 協定留学について	
(3) 留学の手続きについて	
3 海外短期研修	50
(1) 異文化理解研修	
(2) 海外語学研修	
(3) 島根県グローバル人材育成支援事業	
(4) その他の海外短期研修	
4 学内における国際交流	53
5 海外渡航に関する届出について	54
VI メディアセンター	
1 図書館サービスの概要	56
(1) OPACとマイライブラリ	
(2) レファレンス	
(3) 貸出受付	
(4) 貸出ができないもの	
(5) 貸出冊数と期間	
(6) 予約	
(7) 貸出延長	
(8) 返却、延滞	
(9) 紛失等	
(10) 館内複写	
(11) 他の図書館を利用する	
(12) 購入希望図書リクエスト	
(13) オンラインサービス	
2 館内の各エリア・コーナー	59
3 メディアセンター利用にあたって	60
(1) 図書館内での一般的な注意事項	
(2) 学内ネットワーク・情報システムを利用する際の注意事項	
4 メディアセンター配置図	61
5 島根県立大学浜田キャンパス図書館 開館カレンダー	62

Ⅶ 専任教員紹介	63
Ⅷ 大学概要	
1 大学概要	82
(1) 沿革	
(2) 大学の統合・法人化について	
(3) 大学院、学部・学科の概要（浜田キャンパス）	
(4) 教員組織	
Ⅸ 教室等配置図	84
X その他	
浜田市医療機関等	97
さくいん（項目別インデックス）	99
学生関係手続等窓口一覧	101
事務局等電話番号一覧	102
 大学歌・大学応援ソング、マスコットキャラクター	

I 学生生活を送るにあたって

学内全面禁煙です。

～大学敷地内での喫煙は禁止されています～

～楽しい学生生活を送るために～

中学校や高校と違って、本学にはフェンスや正門がないことに気づきましたか？

この明るく開放的な雰囲気が本学の学風をあらわしています。一方では、一般市民社会において、さまざまな法令や慣習があって人々がその中で暮らしているように、大学にも必要最低限度のきまりがあります。

本学の学則等の諸規定は、そのきまりを具体化したものであり、みなさんはこれを良く理解し遵守して、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

本学での学生生活に必要な知識については、Ⅱ章以降に記載してありますが、ここでは、最も知っておいて欲しい必要最低限のルール、仕組みをみなさんにお伝えします。

ここに書いてあることをしっかりと覚えてください。

学生証はみなさんの身分(学生)を証明する大切な証明書です。

学生証は、入学時に配布する本学の学生であることを証明する身分証明書です。紛失、汚損等をしてしないよう大切に取り扱いってください。また、学生証は常に携帯してください。

ア. 学生証は、図書館利用者カードを兼ねています。

イ. 本学の試験は、学生証がないと受験できません。

ウ. 証明書等を本部棟1階事務室窓口で受け取る場合は、学生証の提示が必要です。

エ. 卒業、退学等によって学籍を離れるときには、速やかに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ学生証を返納してください。

毎日必ず「UNIPA」・「学内メール」を確認してください。

大学から学生に対する種々の連絡・通知は、原則として「UNIPA」や「学内メール」で行います。

修学（履修、試験等）、大学行事、福利厚生など学生生活を行う上で大切な情報やみなさんにとって有益な情報も掲示されますので、毎日必ず「UNIPA」・「学内メール」を確認する習慣をつけましょう。

大学の窓口は、目的に応じて複数あることを確認してください。

大学では、みなさんの学生生活をサポートするため、複数の担当課室が様々な業務を行っており、窓口を以下のように開設しています（各課室の担当業務については、P105「学生関係手続等窓口一覧」をご参照ください）。

【窓口開設場所】

○本部棟1階事務室 学務課（教務係、学生支援係、キャリア支援室、アドミッション室）

○本部棟2階事務室 企画調整課・総務課・財務課

○メディアセンター1階 図書情報課

○メディアセンター2階 連携交流課（地域連携室、国際交流係）・学生サポート室

【窓口開設時間】

本部棟1階事務室・連携交流課（通年）午前8：40～11：10 午後12：10～17：15

本部棟2階事務室（通年）午前8：40～12：00 午後13：00～17：15

【窓口を休止する期間】

- ・ 土日祝日
- ・ 8月13日～15日（終日）
- ・ 12月29日～1月3日（終日）
- ・ 海遊祭翌日（10月15日）の午前
- ・ 大学入学共通テスト前日（1月17日）の11：10～
- ・ 3月25日～28・31日（終日）

※窓口開設時間外、窓口休止期間における電話・メール等学生対応はできかねますのでご了承ください。

安否確認のための保護者・保証人への連絡

大学への連絡もなく、授業を長期欠席し、大学からの連絡にも応じない場合、安否等を確認するため、大学から保護者（あるいは保証人）へ連絡することがあります。

大学施設利用マナー・大学マナーを厳守してください。

1 キャンパスマナー

ア. 学内でのマナーを守りましょう

廊下などで、教職員や一般の方とすれ違う際には、挨拶または会釈をするようにしましょう。教室や建物のドアなどで行き会った場合は相手に先を譲りましょう。また、省エネルギーのため、エレベーターは使用せず階段を使用しましょう。

イ. 環境の美化を心がけましょう

大学の美観を損ねないように注意し、美しいキャンパスづくりを心がけてください。また、本学は学内全面禁煙です。大学敷地内での喫煙は禁止されています。敷地外で喫煙する場合も喫煙者としてのマナーを守り、ポイ捨て等行わないようにしましょう。

ウ. 大学の施設、備品は大切にしましょう

大学の施設や備品は皆さんの後輩も使用していくものです。大切に扱ってください。万一破損してしまった場合は、本部棟2階事務室（総務課）まで申し出てください。

エ. 建物内では静粛にしましょう

自分が授業を受けていないときでも、授業をしている教室や研究室などの近くでは静かにしましょう。特に、講義・研究棟、講義棟及びメディアセンター周辺は常に静かにし、静穏な環境づくりを心がけましょう。

オ. 飲食は決められた場所で行いましょう

教室等での飲食は禁止されています（ただし、蓋付の飲み物であれば飲んでも構いません）。また、空き缶やペットボトル、ガムのポイ捨て等は絶対しないでください。

カ. 所定の駐車場・駐輪場に駐車しましょう

自動四輪車は体育館横の駐車場、バイクは各駐輪場が所定の駐車場所となっています。交通の妨げや事故の原因になりますので、所定の場所以外には駐車しないでください。特に、浜田市総合福祉センターへの駐車は厳に慎んでください。

2 利用時間の厳守

大学施設はすべて機械警備を行っており、施設ごとに利用時間が設定されています。従って、この時間以外（夜間や休日等）は利用することができません（施設別の利用については、P28「18施設利用案内」をご覧ください）。

（施設利用時間）

場 所	時 間
講義・研究棟及び講義棟各教室	8：30～授業終了まで
講義・研究棟ラウンジ及び教員学生談話室、講義棟ラウンジ	8：30～21：00

注 中講義室2は自習場所として通常講義日は21：00まで開放しています。

3 学生個人あての郵便物

学生個人あての郵便物を大学で受け付けることはできません。

郵便物は必ず各自の住所（寮またはアパート等）に送付するよう家族や友人に周知してください。

4 学生個人に対する電話の取次

学生個人に対する電話の呼び出しについては、緊急連絡の場合を除き大学では取り次ぎませんので、その旨を家族、友人、アルバイト先等に周知してください。

5 自己所有物の管理

例年、学内外から相当数の拾得物が届けられます。また、所持品の紛失についても同様に多くの相談が寄せられます。この中には電子辞書などの高価な物や財布など大切な物もあります。

特に大切な物には名前を書いておくなど自分の持ち物の管理はしっかりと行ってください。

なお、学内における物品の紛失・拾得・盗難時の取り扱いは以下のとおりとなっています。

○紛失した場合

ア. メディアセンター内で紛失した場合は図書館カウンターに、その他の場所で紛失した場合は本部棟1階事務室窓口に「所持品紛失届」を提出してください。

イ. 名前の記載のある等持ち主が特定される物品が届けられた場合は、電話・学内メール等で持ち主に対し連絡します。

ウ. 上記以外で、自分の持ち物を紛失した場合は、本部棟2階事務室（総務課）に問い合わせてください。

エ. 受け取りがないものは、事務局で一定期間保管後、警察署に引き渡します。

○拾得した場合

ア. メディアセンター内で拾得した場合は図書館カウンターへ、その他の場所で拾得した場合は本部棟1階事務室窓口へ届け出てください。

○盗難にあった場合

ア. 本部棟1階事務室窓口まで届け出てください。

『浜田市民』としての自覚を持って生活してください。

みなさんは、本学に入学すると同時に、浜田市民の一員にもなります。大学にルールがあるのと同様に、浜田市での生活にも様々なルールがあります。

島根県立大学は、浜田市民の方々に様々な形で支えてもらっています。一方で、みなさんの先輩達は、ボランティア活動や地域のイベントなどを通じて、浜田市民の方々との交流を深め、地域貢献をしてきました。このような取り組みは、他の大学では例の少ない、本学の大きな特色の一つです。

みなさんも普段の生活から『浜田市民』としての自覚を持ち、地域と積極的に交流してください。

【町内会】

浜田市にも、町内ごとに自治組織があり、そこでルールが定められている場合があります。共に住む町内の一員として、ルールをよく守って生活しましょう。

特にゴミの処理については、例年市民の方から苦情が寄せられています。ゴミの分別方法や回収時間は遵守してください。詳しいことは、アパートの管理人、または浜田市役所環境課廃棄物衛生係（TEL 0855-25-9420）で確認してください。

（※HAMADAごみ分別アプリでも確認できます）

【交通ルールの遵守】

学生（寮生を除く）のみなさんについては、一定の条件を満たした場合には、自動四輪車及びバイクでの通学を認めています。大学周辺は小中学生の通学路にもなっていますので、交通ルールを守って運転してください。

ゴミの処理と同様に大学近隣の市民の方から、学生が交通ルールを守らないとの苦情が寄せられていますので、住民の方々の迷惑にならない運転を心がけてください。

【避難地について】

避難地は小・中・高校・公共施設などです。住んでいるところの避難地を確認してください。

II 学生生活

1 証明書の発行

証明書発行には、窓口発行、証明書発行サービスによる発行（学内印刷、コンビニ、郵送）があります。

証明書	申請方法		発行・受取			
			窓口	学内	コンビニ	郵送
a 学生証（再発行）	窓口	学生証再交付願	○	—	—	—
b 学生団体旅行割引		団体旅行申込書	○	—	—	—
c 通学証明書		通学証明書交付願	○	—	—	—
d その他 （奨学金、他大学への証明書等）		在学証明書等交付願	○	—	—	—
e 学生旅客運賃割引証（学割）	証明書発行サービス （オンライン）		—	○	×	○
f 在学証明書（和文・英文）			—	○	○	○
g 成績証明書（和文・英文）			—	○	○	○
h 卒業見込、修了見込証明書			—	○	○	○
i 健康診断証明書			—	○	○	○
j 在籍証明書			—	○	○	○
k 単位修得（見込）証明書			—	○	○	○

※ コンビニエンスストアでの発行には1枚につき60円の印刷料金がかかります。

※ 証明書発行サービスでの申請には、発行期限があります。

※ 郵送での受取には、返信用レターパックライト代370円+手数料がかかります。

※ 厳封を希望する場合は、窓口で証明書を持参または郵送で申請してください。

(1) 窓口での発行（a～d）：申請日の翌日から3営業日後に発行（学生証は7営業日）

申請書は、本部棟1階事務室②番窓口前のキャビネットに入っています。bについては本部棟1階事務室窓口まで申し出てください。

【a 学生証（再発行）】

学生証を紛失等した場合は、「学生証再交付願」に必要な事項を記入し押印の上、本部棟1階事務室（学務課）に提出してください。

【b 学生団体旅行割引】

8人以上の学生が教員に引率されて同一行程で旅行する場合は、JR学生団体割引（学生5割引・教員3割引）の取り扱いを受けることができます。浜田駅やJRの駅旅行センター等に用意されている「団体旅行申込書」に必要な事項を記入し、参加者一覧（任意様式）と一緒に本部棟1階事務室（学務課）へ申込みをして捺印証明を受けてください。なお、必要とする日の2週間前までに駅の旅行センター等に申込みをしてください。

【c 通学証明書】

通学定期券は現住所の最寄りの駅、バス停から大学までの最短距離の区間に限り購入できます。「通学証明書交付願」に必要な事項を記入し、本部棟1階事務室（学務課）に提出してください。住所の変更があった場合は、再度申請の必要があります。寮生は徒歩通学になりますので、通学定期券の対象になりません。

【d その他の証明書】

在寮証明書、奨学金関係の証明書、他大学に提出する証明書等を発行する場合は、「在学証明書等交付願」に必要な事項を記入し、本部棟1階事務室（学務課）に提出してください。

(2) 証明書発行サービスによる発行（e～k）

発行したい証明書を事前に証明書発行サービス（Azure ID）にログインし、下記の希望する方法で申請します。発行期限がありますので注意してください。詳しい申請方法については大学ホームページを確認してください。

証明書発行サービスログイン：[Azure IDログイン \(ntt-west.co.jp\)](https://ntt-west.co.jp)

学内印刷 即日発行

証明書発行サービスで学内印刷を選択した場合は、下記稼働時間内に発行機で発行（印刷）してください。

稼働時間 月曜日～金曜日（祝日、8月13日～15日、12月29日～翌年1月3日、メンテナンス時を除く）の、8時40分～17時15分まで

※上記の時間以外は、いかなる理由があっても発行できません。

発行機設置場所 本部棟1階事務室横

コンビニ 即日発行

証明書発行サービスで選択したコンビニエンスストアのマルチプリントサービスに予約番号を入力し、発行（印刷）します。印刷には1枚につき60円かかります。

郵送 申請後3営業日後の発行（発送）

証明書発行サービスで郵送を選択した場合は、別途送付用レターパックライト代370円+手数料がかかります。

【e 学生旅客運賃割引証（学割）】

学生割引（2割引）は、片道100kmを超えてJRに乗車するときに利用できます。なお、JR以外にも割引制度を行っているところがあります。関係会社に照会して、割引可能な場合は当該会社の指示に従ってください。

※学割証は本人に限って有効です。不正に使用した場合、3倍に相当する普通旅客運賃・増運賃を追徴されます。正しく利用しましょう。

【f 在学証明書】

休学中は在学証明書を発行することができません。代わりに「在籍証明書」を発行してください。

【g 成績証明書】

当該学期の成績記載は、翌学期以降の証明書発行からとなりますので注意してください。ただし、特別な事情がある場合は、本部棟1階事務室（学務課）に相談してください。

【h 卒業見込、修了見込証明書】

卒業見込証明書には、発行できるかどうか成績の基準が定められています。成績の基準が、以下の表に記載してありますので、申請をする前に必ず確認をしてください。

交付申請時期	成績の基準		
	対象	修得済単位数	履修登録単位数
3年次の10月～3月	3年次春学期までの成績	卒業に必要な単位の内78単位以上	
4年次の4月～9月	3年次秋学期までの成績	原則として卒業に必要な単位の内93単位以上	春学期配当の必修科目で未修得の単位がある場合は、その履修登録を行っていること
4年次の10月～3月	4年次春学期までの成績	卒業に必要な単位の内93単位以上	各科目区分ごとの卒業要件を満たす履修登録がなされ、修得見込み単位数が124単位以上であること

【 i 健康診断証明書】

以下の場合には証明書が発行できません。医務室で相談してください。

- ア. 当該年度の健診を受けていない。
- イ. 受けていない検査項目がある。

【 j 在籍証明書】

申請時、在籍している事を証明します。休学中は在学証明書が発行できませんので、在籍証明書を発行してください。ただし、休学期間は印刷されません。

【 k 単位修得（見込）証明書】

履修中の科目が必要な場合には、単位修得見込証明書を発行してください。

～注意事項～

- 他大学等への転学や編入学を希望する場合は、必ずゼミの指導教員等にその旨を報告し、たうえで必要な証明書等の準備をしてください。他大学等への転学や編入学を行うためには、退学の手続きを行い、許可を受ける必要があります（P11「(2) 身上異動の手続き」参照）。
- 就職活動等で各種証明書の厳封が必要な場合は、学内指定の封筒へ封入しますので、本部棟1階事務室（学務課）へ発行した証明書を持参してください。または、郵送にて厳封を選択してください。開封した証明書は無効となりますので注意してください。

2 身上異動等の手続き

(1) 氏名、住所、電話番号、携帯メールアドレス等の変更

学生身上書で届け出た本人、保護者、保証人等の内容に変更があった場合は、速やかにU N I P A 個人情報の学籍情報申請より申請又は、「身上異動届」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出してください。「身上異動届」は本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットにあります。

※なお、氏名を変更する場合や保証人を変更する場合は、別途添付書類（氏名変更：戸籍抄本等、保証人変更：保証書）が必要です。本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へお越してください。

(2) 身上異動の手続き

身分異動（休学、復学、退学など）にかかる手続きは次のとおりです。必ず決められた期日を守って手続きを行ってください。なお、期日後の願い出は認められませんので注意してください。

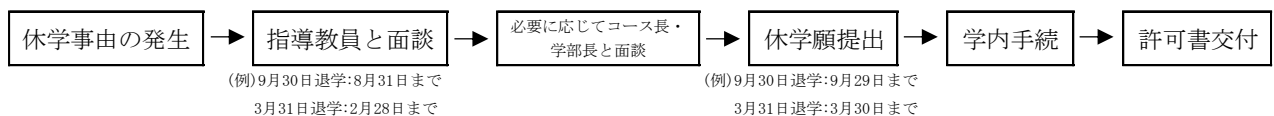
ア. 休学

疾病その他やむを得ない理由により、3ヶ月以上修学することができないときは、本人の願い出により、学長が休学を許可することができます。ただし、授業料を納付していない場合は許可することはできません。

休学の期間は1年以内で、休学理由が解消しないと学長が認めた場合は、1年を限度として延長することができますが、休学期間は、通算して4年を超えることができません。また、休学の期間は在学年数に算入しませんので、休学をした場合卒業時期が延びることになります。

休学しようとするときは、休学開始日の概ね1ヶ月前までに指導教員と面談をしてから、必要に応じてコース長・学部長と面談を行い、休学開始日の前日までに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に休学願を提出してください。

（休学手続きのフロー）



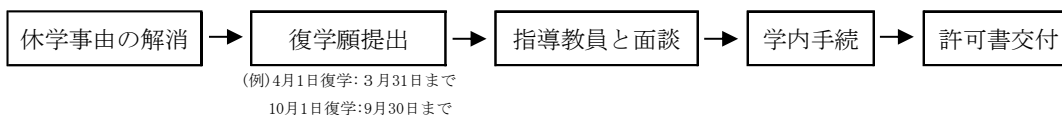
イ. 復学

許可された休学期間が満了したときまたは休学期間内に休学事由が解消したときは、学長が復学を許可することができます。

復学しようとするときは、必ず復学日の前日までに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に復学願を提出し、かつ指導教員と面談をしてください。

復学の手続きを行わずに休学期間が満了した場合も、授業料を納付する必要があります。

（復学手続きのフロー）



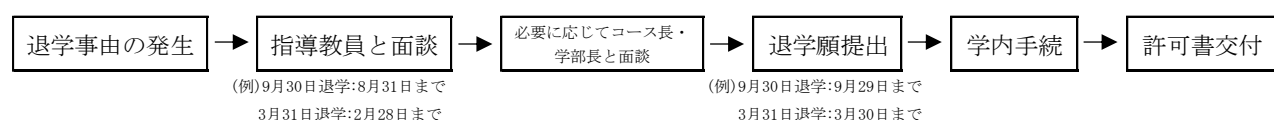
ウ. 退学

退学とは、課程を修めて卒業するに至らないうちに学生の身分を失うことです。

学業を継続することが困難となったときは、本人の願い出により、学長が退学を許可することができます。ただし、授業料を納付していない場合は、許可することはできません。

退学しようとするときは、退学日の概ね1ヶ月前までに指導教員と面談をしてから、必要に応じてコース長・学部長と面談を行い、退学日の前日までに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に退学願を提出してください。

（退学手続きのフロー）



3 授業料の納付など

(1) 授業料の納付

授業料の額及び納付期限は次のとおりです。

区 分	金 額	納付期限
前期分	267,900 円	5 月 10 日
後期分	267,900 円	11 月 10 日

納付は、入学時に登録した銀行等の預金口座から、指定日（納付期限）に口座振替を行う方法によります。（※土・日・祝日は翌営業日）

ただし、新入生の初回分の授業料を納付する場合と、授業料の口座振替ができなかった場合については、振込依頼書により納入していただきます。

※在学中に授業料の額が改定された場合は、在学中のすべての学生に改定後の額が適用されます。

(2) 授業料の徴収猶予等

授業料は、上記(1)の納付期限までの一括納付が原則です。

ただし、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免制度の対象となる方（日本学生支援機構の給付奨学金受給者の方）、対象となる予定の方（日本学生支援機構の新たな給付奨学金申込者の方）については、減免の可否決定があるまでの期間、授業料の徴収を猶予できます。

また、特段の事情により一括納付ができない場合月割分納が認められることがありますので、納付期限までに本部棟2階事務室（財務課）へ相談してください。

4 保護者への成績通知

(1) 通知方法、通知時期

本学では、保護者の方との連携により、学生への適切な修学指導を行うことを目的として、みなさんの成績を保護者の方へ通知することとしています。（社会人学生、外国人留学生、休学中の学生を除く）

春学期成績・・・11月中旬

秋学期成績・・・6月中旬

特別の理由（※1）があり保護者への成績通知を希望しない場合は、「成績通知表の送付対象外に該当する申出書」あるいは「成績通知表の閲覧用IDとパスワード交付対象外に該当する申出書」（以下「申出書」）にその理由を記載し、ゼミ・演習科目担当教員に確認印をもらい本部棟1階事務室（学務課教務係）まで提出してください。

（※1）特別の理由とは

ア. 保護者がなく成績通知すべき適当な対象者がいない学生

イ. その他保護者への成績通知をすることが適当でない特別の事情がある学生

該当する学生は「申出書」を提出してください。

「申出書」の提出方法、提出期日についてはUNIPAで案内します。期日までに提出がなかった場合は保護者への成績通知に同意があったものとして取り扱います。

(2) 個人情報の取扱いについて

「個人情報取扱事務登録簿」の閲覧は本部棟2階事務室（総務課）にて受け付けます。

個人情報取扱いへの苦情及び相談を受け付けるための窓口を本部棟2階事務室（総務課）に置いています。

5 経済的支援

(1) 学内奨学金

ア. しまねの未来を担う人財奨学金〈給付〉

島根県内企業や県民の皆様からいただいた寄附金を活用し、島根県立大学の学生の県内就職を支援することを目的とした奨学金制度です。

イ. 成績優秀者奨学金〈給付〉

本学の2年生以上で、前年度の学業成績が優秀な学生に対し、奨学金を給付する制度です。

ウ. 海外研修奨学金〈給付〉

異文化理解研修等の海外研修（オンライン研修を含む）に参加する学生全員に、奨学金を給付する制度です。

エ. 協定留学奨学金〈給付〉

協定留学をする学生（留学生を除く）を対象とし、選考の上、予算の範囲内で奨学金を給付する制度です。

(2) 学外奨学金

ア. 日本学生支援機構奨学金〈貸与・給付〉

日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学等をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。

◇貸与奨学金月額

第一種奨学金（無利子）

区分 月額の種類	自宅	自宅外
最高月額	45,000 円	51,000 円
最高月額以外の月額	30,000 円、20,000 円	40,000 円、30,000 円 20,000 円

第二種奨学金（有利子）

月 額	20,000 円から 120,000 円までの間で 1 万円単位で額を選択
-----	---------------------------------------

◇給付奨学金月額

世帯の所得金額に 基づく区分	自宅	自宅外
第Ⅰ区分	29,200 円	66,700 円
第Ⅱ区分	19,500 円	44,500 円
第Ⅲ区分	9,800 円	22,300 円
第Ⅳ区分(多子世帯)	7,300 円	16,700 円

※毎月の支給額は、前年度の所得金額等に基づき、毎年度 10 月に見直されます。

※給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受けている人は、月額が減額又は増額されることがあります。

(3) 大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免制度

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯を対象とし、日本学生支援機構の給付奨学金とともに授業料等の減免（世帯の所得金額に基づく区分により減免額が異なります）が受けられます。

◇大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免制度における授業料等減免額

世帯の所得金額に基づく区分	学期	減免額	減免後の納付金額
全額免除者 (第Ⅰ区分)	前期分	267,900 円	0 円
	後期分	267,900 円	0 円
2/3 免除者 (第Ⅱ区分)	前期分	178,600 円	89,300 円
	後期分	178,600 円	89,300 円
1/3 免除者 (第Ⅲ区分)	前期分	89,300 円	178,600 円
	後期分	89,300 円	178,600 円
1/4 免除者 (第Ⅳ区分) (多子世帯)	前期分	67,000 円	200,900 円
	後期分	67,000 円	200,900 円

※学期の授業料は、前年度の所得金額等に基づき、毎年度 10 月に見直されます。

6 学生表彰制度

(1) 島根県立大学賞

本学の学生が、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の模範となる活動を行い、優秀な成果を挙げた場合に表彰します。

◇対象：学生個人及び団体

◇選考方法：教員からの推薦又は学生からの応募（自薦可）に基づき審査を行い、学長が決定します。

◇正賞：賞状

◇副賞：記念品

7 健康管理

各キャンパスに保健管理のため専属の担当者を配置し、学生のみなさんが快適な状態でキャンパスライフが過ごせるように支援を行っています。

浜田キャンパスには医務室があり看護師が身体の健康についてサポートしています。また、こころの健康についても、精神科の校医や、臨床心理士から支援を受けることができますので、気軽に医務室等を利用してください。（Ⅳ学生相談参照）

(1) 健康診断

学生のみなさんの健康状態を把握するために毎年新年度の始め頃に健康診断を実施しています。自分の健康状態を把握し、疾病の早期発見や健康維持のためにも必ず受診してください。

なお、健診結果は密封の上、ゼミ担当教員を通じて全員に通知します。

診断項目：身長、体重、体脂肪、内科診察、胸部レントゲン、血圧、検尿、視力、聴力

(2) 医務室

- 開設場所：本部棟 1 階（事務室の前）
- 開設日時：月曜日～金曜日 8：40～17：15
（休室日：土曜日、日曜日、祝日、8月13日～15日、12月29日～翌年1月3日）
- 利用方法：来室時に医務室利用簿に必要事項を記入してください。担当者が不在の場合は本部棟 1 階事務室窓口を利用を申し出てください。
- 利用内容：ア．ケガや体調不良時などに応急処置を受けることができます。状態によっては医療機関を紹介します（動けない状態の時は、近くの人に頼んで医務室又は本部棟 1 階事務室（学務課学生支援係）に連絡してください）。
イ．常時治療をしている場合や身体に不安があり、気になることがある場合など相談に応じます（適切な医療機関も紹介します）。
ウ．測定機器を使って自分で簡単な計測ができます。
エ．体調がすぐれない場合は、ベッドをいつでも利用できます。

(3) 健康保険証

病院などの医療機関で受診する場合には、健康保険証が必要です。

（※令和 6 年 12 月 2 日(月)から、マイナンバーカードと健康保険証が一体となった「マイナ保険証」へ移行されますが、令和 7 年 12 月 2 日(火)まで健康保険証は利用できます）

とくに親元から離れて生活する学生で、カード式保険証を持っていない方は、個人用の「遠隔地被保険者証」を発行してもらい、受診するときにすぐ提出できるように用意してください。

保険証は、保護者が加入している医療保険事務を担当している下記の機関が発行します。

- ◇国民健康保険・・・保護者居住地の市町村役場
- ◇健康保険・共済組合・・・保護者の勤務先

保険証の取得に必要な「在学証明書」は、本部棟 1 階事務室前の証明書自動発行機で取得してください。

(4) 食生活について

学生のみなさんが、元気に勉学に励むためには、毎日規則正しい食生活を送ることが大切です。一人暮らしになると食事を作ることが面倒になり、外食に頼ったり、食事を抜くことが増えてきます。また、自分の好きな物ばかりを食べていると栄養バランスがくずれ、貧血や肥満の原因ともなります。

こうした食生活の乱れは、学生生活を送る上でも支障となりますので、規則正しく栄養バランスにも配慮した食生活を送る必要があります。大学では食生活の改善のため、カフェテリアにおいて朝食を提供しています。

(5) 学校医・救急医療機関

医療機関	所在地	電話番号	診療時間	休診日
彌重内科眼科医院	浜田市高田町 17	0855-22-1527	9:00～12:00 14:00～17:30	木午後・日・祝
西川病院 (精神科・神経科・内科)	浜田市港町 293-2	0855-22-2390	8:30～11:00	土・日・祝
浜田医療センター (総合病院・救急病院)	浜田市浅井町 777-12	0855-22-0505	8:30～11:00	時間外救急対応
浜田市休日応急診療所 (内科・小児科)	浜田駅北側 (浜田市田町 757-3)	0855-25-1123	10:00～11:30 13:00～15:00 ※受付時間は14:30まで	平日・土

注 詳しいことは医務室に相談してください。

(6) AED（自動体外式除細動器）について

AEDとは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。傷病者の心臓の状態を自動的に調べ、除細動（＝傷病者の心臓に電気ショックを与えること）が必要かどうかを自動的に判断するとともに、操作方法を音声メッセージで具体的に指示を出す仕組みで簡単に確実に操作できる装置です。

2007年7月より医療従事者でない一般市民でも使用できるようになり、本学でも3か所（本部棟1階、講義・研究棟2階、体育館）にAEDを設置しています（設置場所は、教室等配置図P90、P92、P96の各★印を参照してください）。

年に1回、学内でAED使用方法の講習会を行いますので、参加してください。



8 保険

(1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

国内外における教育研究活動中（下表の「ア．対象範囲」欄参照）に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合に補償する保険です。

入学時に通学特約付きで全員一括加入をしています（加入年数は、4年間）。

ア．対象範囲

対象範囲	内 容
正 課 中	講義、演習、実験・実習・実技による授業を受けている間のほか、次の場合が対象となる。 1) 指導教員の指示に基づき、特別研究等に従事している場合 2) 指導教員の指示に基づき、授業の準備又は後始末を行っている間又は授業を行う場所、図書館等において研究活動を行っている間
学校行事中	大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環として各種学校行事に参加している間。
大学施設内 にいる間	授業の休憩中、昼休中など上記以外で大学施設内にいる間。ただし、寮にいる間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間又は大学が禁じた行為を行っている間を除く。
課外活動中	キャンパスの内外を問わず課外活動を行っている間。 （課外活動とは、大学の規程に則った所定の手続きにより大学が認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動又は体育活動をいう。キャンパス外で行う課外活動は、大学に届けた活動に限られる。）
通 学 中	大学の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的をもって、合理的な経路および方法（大学が禁じた方法を除く）により、住居と学校施設等との間を往復する間。

イ. 保険金が支払われない傷害及び事故

故意、犯罪行為、病気、地震・噴火・津波による事故、無資格運転・酒酔い運転、課外活動で危険度の高いスポーツ（スカイダイビング等）を行っている間、又は腰痛など他覚症状のない場合は、傷害等を負っても保険金の支払いの対象外となります。

ウ. 保険金の種類と金額

保険金の種類	補 償 内 容	
	正課中・学校行事中	キャンパス内・課外活動中・通学中
死亡保険金	2,000 万円	1,000 万円
後遺障害保険金(最高)	3,000 万円	1,500 万円
医療保険金(30 万円まで)	実治療日数 1 日以上	実治療日数 4 日以上(課外活動中は 14 日以上)
入院加算金	1 日につき 4,000 円 (180 日を限度)	

エ. 休学、退学した場合の取り扱い

保険期間中の休学期間が通算して 1 年以上になる場合、休学の期間に係る保険料が還付されます。この場合、加入申込時の保険期間は延長されませんので、その後の保険適用を受けるためには、加入申込時の保険期間終了後に新たに加入手続きを行うことが必要です。また、年度途中で退学した場合も、翌年度以降についての保険料が還付されます。

還付金請求等の手続きについては、本部棟 1 階事務室（学務課学生支援係）へお問い合わせください。

オ. 留年した場合の取り扱い

所定の修業年数が終了する際、保険期間は終了しますので、保険を延長する場合は新たに加入手続きを行う必要があります。延長加入手続きについては、本部棟 1 階事務室（学務課学生支援係）へお問い合わせください。

(2) 学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）

国内外において、学研災に加入している学生が、加入しているコースの対象となる活動中及びその往復において、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償について補償します。

入学時に A コースへ全員一括加入しています（学研災と同年数加入）。所定の修業年限が終了した学生で加入を希望される方は、本部棟 1 階事務室（学務課学生支援係）に申し出てください。

コース名	A コース	B コース
保険名称	学生教育研究賠償責任保険(学研賠)	インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険(インターン賠)
活動範囲	正課中、学校行事中、課外活動(※1)中及びその往復 (B コースの活動範囲を含む)	インターンシップ、介護体験活動、教育実習、ボランティア活動及びその往復。ただし、学校が正課、学校行事又は課外活動(※1)と位置づけている場合に限る。
支払限度額	対人賠償と対物賠償合わせて 1 事故につき 1 億円限度	
1 年間保険料	340 円	210 円

※1 課外活動とは、大学の所定の手続きにより、インターンシップ又はボランティア活動の実施を目的とした組織として承認を受けた学内学生団体が行うインターンシップ又はボランティア活動をいいます。

注1 学研災と付帯賠償では課外活動の意味が異なります。

(3) 学研災付帯学生生活総合保険（学研災付帯学総）

学研災のより一層の保証充実を図るために、学研災に追加して「24時間の補償」やケガだけではなく、「病気の補償」などを基本として、追加オプションを選択できる任意加入の制度です。

この保険の加入手続きは、各自が直接保険会社に行っていただく必要があります。加入に際しては、学生教育研究災害傷害保険の運営者である（公財）日本国際教育支援協会のホームページ（<http://www.jees.or.jp/>）を確認の上手続きを行ってください（新入生については、入学案内に併せて保険の案内をしています。加入の有無を確認しておいてください）。

9 自動四輪車・バイクによる通学

自動四輪車及びバイクでの通学を必要とする学生は、「自動車等通学許可願」に「自賠責保険証の写し」、「任意保険の写し」、「自動車検査証の写し（自動車及び総排気量250ccを超える自動二輪車）」、「登録証（標識交付証明書）の写し（総排気量250cc以下の自動二輪車及び原動機付自転車）」を添付し、本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出して許可を受けてください。許可願提出の翌日から3営業日後に許可証・許可ステッカーを渡しますので、必ず受け取りに来てください。許可願は本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットの中にあります。

※許可期間は、許可日より当該年度の3月末までの1年限りです。翌年度も自動四輪車・バイクで通学する場合は、新たに申請を行ってください。

※許可基準等の注意事項が「自動車等通学許可願」裏面に記載されていますので、確認してください。

※学生寮、国際交流会館の入寮生については、自動四輪車・バイクによる通学は認めません。

※通学で自動四輪車及びバイクを使用する学生は特に自賠責保険と任意保険の加入・更新手続きを怠らないよう気をつけてください。

◇学内の交通規則

本学では、学内環境の保持及び交通事故の防止を図ることを目的として、交通規制を行っています。事故のない快適な教育環境の下で学生生活を送るために、次の事項を守ってください。

ア. 歩行者の安全を第一として交通標識・標示に従うこと。

イ. 良好な教育環境を保持するため、車両の騒音防止、アイドリング停止を心がけること。

ウ. 車両は、アスファルト部分のみ通行することとし、インターロッキング（レンガ畳）部分は、歩行者専用で危険なため通行しないこと。

エ. 運行速度は時速30km以下とし、常に徐行して通行すること。

オ. 自動四輪車は体育館横の駐車場、バイクは駐輪場に駐車することとし、それ以外は、通行の妨げになるため駐車しないこと（講義・研究棟前、メディアセンター前、本部棟前、浜田市総合福祉センター前には駐車しないこと）。

10 事故・災害等が発生した時の対応

(1) 「事故等報告書」の提出について

自らが交通事故その他の事故又は事件等の当事者となったときや、自らまたは保証人や保護者等が火災、風水害等により被災したときは、速やかに「事故等報告書」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出してください。様式は、本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットにあります。

(2) 学内で事故があったとき

学内で事故に遭った場合や、事故を目撃した場合は、直ちに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に連絡してください。時間外の場合は、代表番号（Tel 0855-24-2200）に連絡してください。

(3) 交通事故を起こしたとき

事故を起こしたときは、事故状況の確認、被害者の救護、危険防止、警察への連絡等冷静に必要な措置をとり、その後直ちに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ（時間外の場合は守衛室に）連絡してください。また、速やかに「事故等報告書」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出してください。

本学学生による交通事故が多発しており、その中には重傷・長期入院に至るケースも発生しています。ひとたび事故が起きると被害者・加害者を問わず、本人の学業に支障が出るばかりでなく、家族にとっても精神的・経済的に多大な負担が生じます。学生のみなさんは、交通事故を起こさないよう、自動四輪車・バイクの運転には細心の注意を払い、慎重な運転を心がけてください。

11 学生生活を送るうえでの安全対策

(1) 夜間等の安全対策

学内外での安全確保については、浜田市とも協力し、照明の増設や防犯カメラの設置、道路の樹木伐採などの対策を進めていますが、学生のみなさんも各自でできる安全対策（夜道は一人で歩かない、できるだけバス等の公共交通機関を利用する、非常時に備えて防犯ブザーを携帯する等）をしっかりと行ってください。

◇防犯ブザーの貸出しについて

本学では、安全対策として防犯ブザーの貸出を行っています。貸出を希望される方は本部棟1階事務室（学務課学生支援係）で手続きを行ってください。手続きには「学生証」が必要です。使用終了後は本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に返却してください。なお、貸出最長期間は卒業年度の2月末とします。

(2) 節度ある消費生活

学生ローン、クレジットカード及び消費者金融等を利用する場合は、自己の支払能力を十分認識し必要最小限の利用にとどめ、節度ある消費生活に努めてください。

(3) 悪徳商法、宗教等の勧誘

学生は、社会経験が少ないため悪徳商法の標的にされやすいようです。

街頭で勧誘されても、毅然とした態度で「要らない」と意思表示をし、住所や携帯電話番号などの個人情報をもやみに外部に漏らさないように注意してください。

困ったことがあれば一人で悩まず身近な教職員や専門の相談機関に相談してください。

(4) インターネットの利用

SNSでのトラブルが多発しています。SNSに投稿する時は細心の注意を心がけ、責任を持って行ってください。SNSの投稿からストーカー被害に発展した事例もありますので、動画や写真の投稿には注意してください。

困った時は

◆消費者ホットライン
188（局番なし）

◆島根県消費者センター
石見地区相談室（益田市）
Tel 0856-23-3657

◆若者の消費者トラブル
（国民生活センター）



◆インターネット消費者トラブル
防止キャンペーン
（消費者庁）



◆インターネットトラブル
事例集（総務省）



(5) 薬物の乱用防止

薬物の乱用は、乱用者の身体、生命に危害を及ぼすのみならず、重大な犯罪を誘発し、社会の秩序を乱す等計り知れない影響を及ぼします。このため、薬物を所持・使用することは法律で厳しく規制されており、違反した場合には法令に基づき処罰されます。

また、危険ドラッグも大変危険で違法なドラッグです。既に規制されている麻薬や覚醒剤の科学構造を少しだけ変えた物質が含まれており、体への影響は麻薬や覚醒剤と変わりません。それどころか、麻薬や覚醒剤より危険な成分が含まれていることもあります。「お香」「バスソルト」「ハーブ」「アロマ」など目的を偽装して販売され、デザインされたパッケージはおしゃれに見えるかもしれませんが、「合法」や「安全」とはほど遠い、恐ろしい薬物です。

薬物乱用の甘い誘いには気をつけるとともに、誘われても断る勇気を持ってください。

(6) デートDV

DVとは「domestic violence」の略で、一般的には夫婦やパートナーなどの親密な男女間で起きる暴力をいいます。DVはおとなの問題と思われがちですが、実際には、大学生などの恋人同士の間でも起きており、若者の間で起きる暴力のことを「デートDV」と呼んでいます。気になることがあれば身近な教職員や専門の相談機関に相談してください。

◆あすてらす女性相談室（大田市）：TEL 0854-84-5661

◆浜田児童相談所（浜田市）：TEL 0855-28-3560

12 アパート・下宿

本学ではアパート・下宿等の斡旋は行っていません。

民間賃貸物件を探す際は、浜田宅建センターのホームページ（<http://www.hamada-takken.jp>）の物件情報を参考にしてください。

また、秋学期に入寮生を対象に「一人暮らしセミナー」を開催し、アパート・下宿入居についての基礎知識や物件情報の見方について周知を図っています。

13 アルバイト

(1) 学外でのアルバイト

アルバイト求人情報について、UNIPA及び、本部棟1階事務室①番窓口前のアルバイト求人票ファイルで確認することができます。アルバイトを希望する場合は、直接アルバイト先と連絡を取ってください。

※勤務条件が求人票の内容と異なっていた場合は、アルバイトを断るとともに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に直ちに連絡してください。

※本学では、アルバイト求人内容を個別に審査し、危険を伴う職種、深夜（午後10時以降）に及ぶ職種、教育上不適当であると思われる職種については紹介していません。

これらの問題を含め
アルバイトのトラブルで困ったときは

フリーダイヤルで相談したいとき

「労働条件相談ほっとライン」にご連絡ください。

はい！ろどう

0120-811-610 月～金：午後5時～午後10時
土・日：午前9時～午後9時

（厚生労働省ホームページより）



(2) 学内でのアルバイト

教員や事務局から研究補助やイベント手伝いなど個別にアルバイトを依頼されることがあります。

14 学生の集会・掲示等

(1) 集会

学生又は学生団体が学内において集会又は行事を開催しようとする場合は、開催日の7日前までに「集会等開催許可願」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出し、許可を受ける必要があります。

許可願は、本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットの中にあります。

(2) 掲示

学生又は学生団体が学内において文書・ポスター等を掲示しようとする場合は、掲示開始希望日の3営業日前までに「文書等掲示許可願」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出し、許可を受ける必要があります。

許可願は、本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットの中にあります。

※内容が全学生に関係する事項、案内の場合のみ許可ができます（個別のサークル活動に係る掲示は原則不可）。

※掲示場所は指定された場所のみ許可ができます。

(3) 印刷物の配布等

学生又は学生団体が学内において新聞・ビラ等の印刷物を配布または学内メールにて発信しようとする場合は、配布開始希望日の3営業日前までに「印刷物等配布許可願」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出し、許可を受ける必要があります。

許可願は、本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットの中にあります。

※学生団体の勧誘による印刷物の配布は年度当初のみです。但し、年度途中に設立した団体については、設立許可後1ヶ月以内に限り配布を認めます。

(4) 募金活動等

学生又は学生団体が学内において募金、物品販売、署名活動等の行為をしようとする場合は、募金活動等実施の7日前までに「募金活動等許可願」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出し、許可を受ける必要があります。

許可願は、本部棟1階事務室①番窓口前のキャビネットの中にあります。

(5) 卒業研究・論文・授業に関する調査依頼

卒業研究や授業等で調査が必要な際は、指導教員もしくは本部棟1階事務室（学務課教務係）へお問合せください。

15 課外活動

(1) 学生団体の設立等

ア. 学生団体の設立方法	<p>「団体設立許可願」及び添付書類を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出し、設立許可を受けてください。 ※設立時は「同好会」として許可されます。 添付書類：規約、構成員名簿、活動計画書 許可条件： ・活動内容、目的等が明確かつ妥当であること。 ・5名以上の構成員があり、代表責任者が定められていること。 ・本学の専任教員（講師以上）を指導・助言を行う顧問として置くこと。 ・活動経費として会費を徴収する場合は、経理のための会計責任者を置くこと。 ・活動目的等が同一もしくは類似した既存団体がないこと。 ・学生生活委員会にて設立が妥当であると判断されること。</p>						
イ. 団体設立事項(規約、代表者、構成員、顧問等)の変更	<p>「団体設立事項変更承認願」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出してください。</p>						
ウ. 団体の継続	<p>「団体継続許可願」及び添付書類を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）へ提出してください。提出がない場合は、解散したものとみなします。 ※「同好会」として1年以上の活動実績を有し、継続許可された団体は「サークル」に昇格します。</p>						
	提出期限	<p>毎年秋学期試験後に開催される「学生団体代表者説明会」にて通知します。</p>					
エ. 団体の解散	<p>「団体解散届」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出してください。</p>						
オ. 学外活動	<p>「学外における課外活動届」を本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出してください。</p>						
	提出期限	<table border="0"> <tr> <td>海外において行う場合</td> <td>30日前</td> </tr> <tr> <td>学外施設を使用し合宿して行う場合</td> <td>10日前</td> </tr> <tr> <td>その他の場合</td> <td>7日前</td> </tr> </table>	海外において行う場合	30日前	学外施設を使用し合宿して行う場合	10日前	その他の場合
海外において行う場合	30日前						
学外施設を使用し合宿して行う場合	10日前						
その他の場合	7日前						

(2) 学外団体への加入

ア. 学外団体加入 (設立、継続の許可を受けた学生団体に限る)	<p>「学外団体(継続)加入許可願」を本部棟1階事務室(学務課学生支援係)に提出し、許可を受けて下さい。</p>	
イ. 加入の継続	<p>「学外団体(継続)加入許可願」及び添付書類を本部棟1階事務室(学務課学生支援係)へ提出して下さい。提出がない場合は、脱退したものとみなします。</p>	
ウ. 脱退	<p>「学外団体脱退届」を本部棟1階事務室(学務課学生支援係)に提出してください。</p>	

(3) 学友会

学友会は、本学の全学生により組織され、学生の自主的な運営のもとに、会員相互の親睦を図り学生生活の充実のために活動することを目的とする学生団体です。学生のみなさんは、学友会の一員としての自覚をもち、大学祭や学友会が企画するイベントに積極的に参加してください。

(4) 後援会補助金

浜田キャンパス後援会では、学生支援事業として学生団体活動補助金やキャンパス交流補助金、スポーツ・文化活動奨励費等を交付しています。詳細や申請については、本部棟1階（学務課内・後援会事務局）へ相談してください（P30「18 浜田キャンパス後援会」参照）。

(5) 学生団体一覧（令和6年（2024年）2月1日現在）

『学友会』

番号	団体名	目的
1	執行委員会	学友会会員相互の親睦を図り、学生生活の充実発展のために活動する。
2	選挙管理部	学友会委員選挙が、公明正大かつ円滑に行われることを確保する。
3	監査部	学友会に直属する組織への監査活動を行い、定期総会で監査報告を行う。
4	海遊祭実行部	学友会会員による学問的活動や文化的活動などの成果を発表し、また島根県民並びに浜田市民との交流を促進し、大学のさらなる発展を目指す。

『体育系』

番号	団体名	目的
1	バレーボール部	バレーボールというスポーツを通して、人との交流を深め、健康的な大学生活を送ることを目的とする。
2	男子バスケットボール部	バスケットボールを通じて体力の向上を図るとともにスポーツの楽しさと厳しさを学び、次代を担う人間として成長することを目的とする。
3	島根県立大学バドミントン部（SBC）	バドミントンを通じて親睦を深めると共に、体力の向上を図りバドミントンの楽しさを皆で共有することを目的とする。
4	陸上競技部	陸上を通じて、体力の向上と健康維持を図ると共に、仲間と切磋琢磨し合いながらお互いを高め合うことが目的である。
5	硬式野球部	春と秋のリーグ戦、新人戦、OP戦へ向けて練習を重ね、好成績を残すことを目指す。野球の技術向上のみならず、協調性や社会性の向上もめざす。
6	硬式テニス部	テニスを通じて、体力の向上と技術の上達を図ると共に、市民の方々との交流の場に積極的に参加し、人間として成長することを目的とする。
7	弓道部	弓道を通じて精神と身体の実を深め、自我の形成、人間性の向上、社会の常識を学び、身につけていくことを目的とする。
8	ダンス部	ダンスを通して豊かな表現力を身に付けたり、体力の向上を図ることを目的としている。また、校内ライブを開催したり、地域のイベントに出演することにより、地域の方々や地域振興を図ることを目的とする。
9	サッカー部	島根県リーグ2部に昇格できるように努力し、大学生でも他の方に応援していただけるような姿勢を身につける。
10	ソフトテニス部	ソフトテニスを通じて、体力と精神の向上を図り、人間としての成長を目指すことを目的とする。
11	卓球部	卓球を通して心身ともに成長させ、また普段勉強に励んでいる中での息抜きにする。
12	軟式野球部	野球を通して人間力、体力の育成を図り、スポーツの楽しさを知るために日々精進する。
13	剣道部	学生同士切磋琢磨し稽古に励み、自分の体の心を磨く。ただ試合に勝つだけでなく、競技を通じて人間的に成長することを目指す。
14	よさこい橙蘭	地域で開催されるイベントに参加し、お祭りを盛り上げることはもちろん、地域の方々との交流等を通して地域貢献を図る。また、仲間と切磋琢磨したり、目標を持ち、ゴールに向けて努力する等、部員の心身向上を図る。
15	ソフトボール部	ソフトボールを通じて仲間との協力、多くの人と交流し、人間性を高める。
16	AWE SOME	島根の自然と親しみながら日頃の運動不足解消や健康維持を行う。また、サークル活動において学生同士だけでなくボランティアなどを通して地域の人々との交流をはかる。
17	男女BBサークル	バスケットボールを通じて、学年や学年や性別の隔たりなく交流を深めることと、技術・体力の向上を目的とする。
18	登山サークル「LINK」	中国地方に住む地域の方々や交流を深め、実際に起きている諸問題を聞き、大学生の立場から様々な意見を出し、地域の方々と共に解決に向けて取り組む。

『文化系』

番号	団体名	目的
1	Yellow Kite	アカペラ、合唱、ゴスペルなどの音楽を通して、その文化や言語などに触れ、様々な活動をする。
2	吹奏楽部	音楽を通じて、新たな人間関係の育成や地域の方とのつながりを持ち、人間性を向上させることを目的とする。
3	茶道部	茶道を通じて日本の文化や作法を学ぶとともに、多くの人と交流を深め、茶道を楽しむ。
4	ディベート倶楽部「Q.C.L.C.」	ディベートを通して相手に意見を伝える能力を身に付けていく。また、社会において必要とされる能力をディベートの中で身に付ける。
5	軽音楽部	音楽を通じて人との交流を図る。また、部活を通して、信頼関係を構築したり、協調性を学ぶことを目的とする。
6	華道部	華道を通して、地域との関わりを活発にする。講師の指導を受け、個々の技術の向上させる。
7	環境倶楽部「しまえっこ」	エコについて学びエコについて考えるサークル。エコの意識を高める。エコを通じて地域との交流を図る。
8	島根県立大学BBSサークル	非行少年や様々な悩みを抱える子どもたちの兄や姉として共に学び、楽しみながら成長を支援することで「更生保護」に協力することを目的とする。非行や犯罪を未然に防ぎ、再非行・再犯が起こらない地域社会を目指す。
9	総合芸術サークルC-Artis	総合的な創作活動を通じて大学の内外部の人々と交流を持ち、自己の興味を広げる。
10	将棋部	将棋の礼儀作法を学びながら、地域の方々や他大学生との交流を通じて棋力の向上を目指す。
11	しまね防犯サークルSCOT	平成21年10月に発生した平岡都さんに関する事件と同様の悲劇を繰り返さないため、浜田を安全・安心なまちにするために活動することを目的とする。
12	石見神楽舞演社中	石見地方の伝統芸能である石見神楽を通じ、地域の方々との交流を推進すること、石見神楽の習得及び学生への周知度を高めることを目的とする。
13	しまね県大政経塾（PDC）	政治や経済について学術的に考察し、より多くの人と知識を共有し、周辺地域の方々と共に学び自己研鑽をすることを目的とする。
14	国際系サークル「セカイハ」	本団体は、国際分野に関わる全ての事柄を活動の対象にし、本部員の国際分野への興味、関心を養うことを目的とする。また、島根県立大学浜田キャンパス内での国際分野に関する興味関心を養うこと、学校外のイベントに参加し地域の方や国際分野に長けている人との交流を通して、自己のみならず周囲の人との国際理解を深める。
15	歴史会	歴史に触れて学び楽しむことで、心に豊かさや潤いをもたらすことを目的とする。
16	ESS	英語のスピーキング能力を高め、英語力を使って社会に貢献することを通じ、リーダーシップを育成する。
17	地域活動団体 Go next (コネクト)	地域政策学部の設立をきっかけに、地域の方と大学生が関わる機会を増やし、島根県西部に関係人口を増やすことを目的とする。
18	Kカルチャー探求サークル(어깨동무)	韓国文化や韓国語の学習に関心のある学生が集い、韓国文化に対する理解を深めると共に、活動内で積極的に韓国語を用いることにより、語学力を高めることを目的とする。留学生との交流を通して、異文化理解の向上をはかる。
19	写真部	写真の撮影技術を向上及び写真撮影に必要である豊かな知識を育み、地域の魅力を発見し発信する。
20	Peace Line	昨今の国際情勢や国際関係について理解を深めるための学習と、小学校・中学校・高校と連携した平和学習の実施、被爆者の体験や記憶を後世に継承していくことを目的とする。
21	放送サークル「オロCas!」	ラジオ番組の制作を通じ、部員のアナウンス力、また脚本作製技術の向上に努める。
22	STUDY FOR TWO 島根県立大学支部	中古の教科書を寄付していただき、それらを販売し利益を寄付に回し、世界中の勉強したい子ども達が勉強できる世界・私たちのため相手のためのボランティアが当たり前となる世界を目指す。

16 ボランティア活動

本学では、みなさんにボランティア活動への積極的な参加を呼びかけています。それは、みなさんにとって必ずや大きな財産になると考えるからです。

例えば、ボランティア活動を通じて、様々な年齢層や職業の人たちと触れ合うことで、コミュニケーション力や調整力が高まります。地域が抱える多様な問題を知り、その解決策を考えることを通じて、分析力や問題解決能力が高まります。

また、地域の人から感謝されたり、頼りにされることは、素直にうれしいことであり、大きな励みとなるでしょう。もしかしたら、就職活動の時に自信を持って自己紹介、自己アピールできるかもしれません。

そして、みなさんの小さな活動の積み重ねが、大学憲章の目指す「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現することにもつながるのです。

◆ボランティア情報の紹介

みなさんが安心してボランティア活動に参加できるよう、本学では、信頼できる市町村やNPO等から集めたボランティア募集の情報を整理して、提供しています。

ボランティア情報はUNI PAにて配信しています。また、詳しい情報は、学生会館（売店横）掲示板及びメディアセンター2階事務室（連携交流課）で得ることができます。



▲学生会館（売店横）掲示板

▼ボランティア活動の様子



三瓶青少年交流の家



田んぼアート



学習サポート

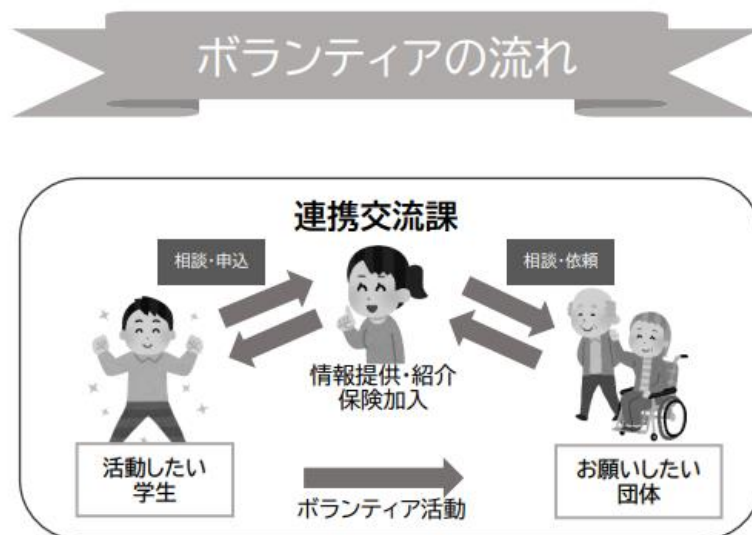


駅北医療フェスタ

◆ボランティア活動保険

みなさんが安心してボランティア活動に参加できるよう、活動中や移動中のけがや事故が起きた時に補償が受けられる「ボランティア活動保険」に加入していただきます。

保険手続きはボランティア申し込み時に行い、最長1年間の保険に加入できます(毎年1回、加入手続きが必要です)。保険料は大学が負担しますので、費用はかかりません。



◆ボランティア・ポイント

本学では、みなさんがボランティア活動に参加することを大学として積極的に評価し、継続してボランティア活動に参加していただくきっかけとしてもらうため、参加した回数や内容に応じたボランティア・ポイントを発行します。貯まったボランティア・ポイントの活用法(特典)は、年ごとに検討します。



◆災害ボランティア活動

学生の自発的な災害ボランティア活動を支援するために、本学では「公立大学法人島根県立大学災害ボランティア活動支援費取扱要領」を定め、学生の災害ボランティア参加にかかる交通費等の一部助成を行っています。

その他、災害ボランティアへ参加する学生に対して、以下の支援を行っています。

- ・ボランティア活動保険(天災タイプ)の加入手続・保険料全額助成
- ・災害ボランティア装備品(ヘルメット、防塵マスク、踏抜き防止長靴等)の貸与・支給

また、島根県社会福祉協議会とも連携をとり、情報共有を行います。災害ボランティア活動を考えている学生は、被災地のボランティアセンター(社会福祉協議会)のホームページ等で募集状況を確認し、メディアセンター2階事務室(連携交流課)にお越しくください。



◆地域貢献活動証明書

地域連携推進委員会では、みなさんのボランティア活動を支援しており、ボランティア活動に取り組んだことを大学として認証する「地域貢献活動証明書」を発行しています。

申請窓口は、メディアセンター2階事務室（連携交流課）です。窓口備え付けの交付願に必要事項を記載の上、申し出てください。

なお、証明書発行には日数がかかります。余裕（概ね2週間以上）を持って、手続きをしてください。

地域貢献活動証明書

所属 島根県立大学地域政策学部
氏名

あなたは地域貢献活動に積極的に取り組み以下の活動に従事したことを証明します

活動状況（期間：令和〇〇年〇月〇日～令和〇〇年〇月〇日）

活 動 内 容	活動日数
日本学生支援機構ボランティア	〇〇
NPOの非営利活動の支援	〇〇

注：本学キャンパス・マイレージ事業で記録している学外活動

令和 年 月 日  University of Shimane

島根県立大学
学長 山 下 一 也 画

17 施設利用案内

(1) 学生会館

学生会館では、カフェテリア、売店、自動販売機を利用できます。

ア. カフェテリア

営業日 : 土曜日、日曜日及び祝日、夏季・冬季・春季休業を除く日

営業時間 : 朝食 8 : 15 ~ 9 : 30

昼食 11 : 00 ~ 15 : 00 (オーダーストップ 14 : 50)

上記に関わらず大学行事などに伴い変更になる場合があります。

イ. 売店

営業日 : 土曜日、日曜日及び祝日を除く日

営業時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00

上記に関わらず大学行事などに伴い変更になる場合があります。

また、大学の夏季・冬季・春季休業中は営業時間を短縮することがあります。

営業内容 : 飲食物、日用雑貨類をはじめ、コピー、宅配便、自動車学校の取り次ぎ等のサービスを行っています。

(2) クラブハウス

文化系クラブハウスと体育系クラブハウスがあります。

文化系クラブハウス及び体育系クラブハウス内の部室は、原則、許可を受けて設立された学生団体 (P21「15 課外活動」参照) に対し使用を許可しますので、部室の使用を希望する学生団体は、部室使用許可願を学友会執行委員会に提出してください (ただし、全ての申請が許可されるわけではありません)。申請書は本部棟 1 階事務室①番窓口前のキャビネットの中にあります。

その他文化系クラブハウス内のアトリエ及び学生集会室は学生個人でも使用することができます。

◇使用可能日

8月13日～8月15日、12月28日～翌年1月4日を除く日、大学が使用を禁じた日を除く日

◇使用可能時間 8 : 00 ~ 21 : 00

◇使用日当日の受付 (鍵の受取など)

部室を使用する場合	<ul style="list-style-type: none">各学生団体用のレターボックスから鍵を取り出し使用してください。レターボックスの暗証番号は、各学生団体のアドレスのみ通知します。鍵の管理は厳重に行ってください。 (注)利用に当たって不適切な取扱が続く場合は、部室の使用を停止する等の処分を行います。
アトリエを使用する場合	【平日 8 : 40 ~ 17 : 00 (11 : 10 ~ 12 : 10 を除く) に使用する場合】 本部棟 1 階事務室窓口で受付し、鍵の受け渡しを行います。 【上記以外の時間に使用する場合】 守衛室で受付し、鍵の受け渡しを行います。
学生集会室を使用する場合	文化系クラブハウス集会室は共有スペースです。譲り合ってご利用ください。使用を希望する場合は、学友会執行委員会に使用予定日 2 週間前にメールにて申請いただき、承認されれば使用ができます。 e-mail : gakuyusk@u-shimane.ac.jp

◇冷暖房の使用 (文化系クラブハウス)

冷暖房を使用の際は、管理センター (Tel 0855-24-2350 または内線 113) に使用時間と部室名を申し出てください。ただし、メディアセンターと同じ熱源 (機械) を使用していますので、メディアセンター休館日 (P62「5 島根県立大学浜田キャンパス図書館 開館カレンダー」参照) には使用できません。

(3) 課外活動等で開放する施設及び開放時間

課外活動等で下表の施設を利用することができます。施設の予約状況はUNI PAの「授業・教室予約」で確認することができます。

◇予約方法

【定期の予約】

- ア. 学生団体が年間を通して（長期休業期間を除く）施設を予約する場合
年間使用計画（6月1日～翌年5月末日）を記入した「体育施設使用許可申請書」または「交流センター使用許可申請書」を、4月末日までに学友会執行委員会に提出してください。
- イ. 学生団体が長期休業期間に施設を予約する場合
休業期間中における活動計画書を事務局が指定する日までに本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出し許可を受けてください。

【臨時の予約】

- ア. 学生または学生団体が臨時で施設を予約する場合
使用しようとする7日前までに「施設等使用許可願」を、本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に提出し許可を受けてください。それ以降は受付できません。
ただし、集会等に類するものは、P20「14 学生の集会・掲示等(1)集会」に記載してある要領で予約を行ってください。
- イ. 学生または学生団体が体育施設を当日使用する場合
体育施設と作法室は、予約が入っていない場合、当日使用することができます。その場合、平日8:40～17:00（11:10～12:10を除く）は本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に、それ以外は守衛室窓口に申し込んでください。電話での申し出は受付できません。

開放施設		通常講義日 A	休日 B	長期休業期間中 C(B,Dを除く)	8/13～15 12/28～1/4 D	
体育施設	体育館	アリーナ 武道場 トレーニング室	8:30～21:00	同左	同左	×
		会議室	※8:30～16:30 16:30～21:00	8:30～21:00	同左	×
	グラウンド、多目的運動場		8:30～19:00	同左	同左	×
	テニスコート ゴルフ練習場、弓道場		8:30～21:00	同左	同左	×
講堂	ミーティングルーム		8:30～21:00	※8:30～21:00	8:30～21:00	×
	ホール		※8:30～21:00	同左	同左	×
交流センター	作法室		8:30～21:00	※8:30～21:00	8:30～21:00	×
	コンベンションホール 研修室、特別会議室		※8:30～21:00	同左	同左	×

留意事項

- 1) 「施設等使用許可願」は本部棟1階事務室①窓口前のキャビネットの中にあります。
- 2) 授業または行事等に支障があるときは使用することができません。
- 3) 事前予約のものを優先しますので、使用日が重なったときは使用できないことがあります。
- 4) ※印箇所は定期の予約を行うことはできません。

(4) 自習室及び自習場所として開放する施設及び開放時間

自習室及び自習場所として下表の施設を使用することができます。

開放施設	通常講義日 A	休日 B	長期休業期間中 C(B, Dを除く)	8/13～15 12/28～1/4 D
図書館 (メディアセンター1階)	9:00～20:00 試験対応期間中は 21:00まで	9:00～17:00	9:00～17:00	×
学生教員談話室、ラウンジ (講義・研究棟2階)	8:30～21:00	×	9:00～17:00	×
中講義室2 (講義・研究棟1階)	16:30～21:00	×	×	×
学生会館	8:30～20:00	×	8:30～20:00	×

留意事項

- 1) 上記以外の教室、演習室及び会議室を学生が自習室として利用することを禁止します。
- 2) 本学学生以外の者が自習室を利用することを禁止します。
- 3) 上記の開放時間であっても、講義時間の変更や入試等の大学行事のため利用できないことがあります。
- 4) 自習のための利用であっても、講義・研究棟及び図書館（ラーニングコモンズ及びメディアプラザでのみ飲水可）内での飲食はすべて禁止します。
- 5) 本学学生であることを確認する場合がありますので、自習室を利用する学生は、必ず学生証を携帯してください。
- 6) 自習室を最後に退出する学生は、その時刻に関わらず、窓の施錠を確認し、照明を消灯してから退出してください。
- 7) 図書館は、休館日（P62「5 島根県立大学浜田キャンパス図書館 開館カレンダー」参照）には使用できません。

(5) 施設の冷暖房の運転範囲

講義中の教室及び学生利用施設では、下記の範囲で冷暖房を入れています。

◇冷房

原則7、8月に25℃設定で運転しており、室内温度が26℃以上または湿度70%以上の場合のみ運転しています。

◇暖房

原則12～3月に22℃設定で運転しており、室内温度が20℃以下または外気が11℃以下の場合のみ運転しています。

(6) 学生寮

本キャンパスには学生寮、国際交流会館の2つの寮があります。

	学生寮	国際交流会館
定員	146名	64名
入寮対象	1年生 ※入寮については希望をとって入寮者を決定しますが、希望者が多数の場合は、入寮できないこともあります。	留学生、国際交流会館サポーター（2年生以上） ※国際交流会館サポーターについては10月頃メール等で募集しています。
所在地	〒697-0016 島根県浜田市野原町2682番地2 管理人室：0855-24-2399(内線8000)	〒697-0017 島根県浜田市原井町1833番地3 管理人室：0855-23-7435

18 浜田キャンパス後援会 事務局：本部棟1階（学務課内・後援会事務局）

浜田キャンパス後援会では、学生支援事業として以下の助成金等を交付しています。交付については、申請が必要です。助成金の種類によって申請方法等が異なり、審査・承認されると交付されます。

なお、対象は当該年度内に行うものとし、交付金は浜田キャンパス後援会予算の範囲内で決定します。

(1) 補助金・助成金の種類

◇学生団体活動補助金（申請：年1回6月交付、対象：学生団体）

島根県立大学浜田キャンパス学友会に属する学生団体（以下「団体」という）の活動費の一部を補助します。補助金の交付対象となる団体は、島根県立大学浜田キャンパス学生通則第16条により設立を許可された団体とします（学友会を除く）。

毎年、4月下旬に「学生団体補助金説明会」を実施しています。説明会の実施時期については、学内へポスター掲示及び学内メールにてお知らせします。

◇キャンパス交流促進事業補助金（申請：随時、対象：学生団体）

地理的に離れている松江キャンパス、出雲キャンパスの学生と浜田キャンパスの学生との交流促進を図るため、継続的、組織的な交流促進に資する活動に係る経費の一部を補助します。補助金の交付対象は学生団体とし、その補助を受けることができる団体は、島根県立大学浜田キャンパス学生通則第16条により設立を許可された団体とします（学友会も含む）。

◇スポーツ・文化活動奨励金（申請：随時、対象：学生団体、個人）

島根県立大学浜田キャンパスの団体または個人が、その活動目的に沿った課外活動等により優秀な成績若しくは成果を収めた場合、激励並びに健闘を称え奨励費を交付します。奨励費の交付対象は、島根県立大学浜田キャンパスに在学する学生が組織する団体または個人とします。

◇パスポート取得支援助成金（申請：随時、対象：個人）

島根県立大学浜田キャンパスの学生がパスポートを取得した場合、取得費用の一部を助成します。申請窓口は連携交流課となります。

◇感染症予防接種支援助成金（申請：期間あり、対象：個人）

島根県立大学浜田キャンパスの学生が、後援会の指定した感染症に対する予防接種を受けたときに費用の一部を助成します。詳細については、接種時期に合わせて学内へのポスター掲示及び学内メールにてお知らせします。

(2) 補助金・助成金の手続き

各補助金等の詳細、申請については、浜田キャンパス後援会事務局までお問い合わせください。

(3) 学生支援事業について

浜田キャンパス後援会は、在学する学生の保護者又はこれに相当する方を会員とし、学生の充実した学生生活を側面から支援するとともに、あらゆる場面で学生支援を大学と一体となって行っております。

◇島根県立大学浜田キャンパス後援会学生支援事業一覧

新入生歓迎会支援	新入生歓迎会経費助成
生活習慣改善支援	朝・昼食チケット代金一部助成
卒業記念品	記念品購入
学生団体活動支援	サークル活動等への補助
海遊祭実行支援	大学祭運営費用助成、模擬店出店料助成
スポーツ・文化活動奨励支援	優秀な成績を納めた個人・団体への奨励費の交付
キャンパス間交流支援	3キャンパス（松江・出雲・浜田）交流
業界研究・企業研究支援	学内企業フェア開催、就活バス借上げ等 企業説明会運営費用、長期実践型キャリア教育助成等
採用試験対策支援	模擬面接支援
資格取得対策支援	学内での資格対策講座開催 大学が認定する資格試験合格者への受験料の半額補助
キャリアサポートルーム支援	就活用書籍購入(公務員関係資料含む)
島根県立大学保護者進路懇談会開催	保護者進路懇談会開催運営費
キャリアサポーター支援	4年生の就職内定者による相談会実施等
地域・国際交流活動支援	地域交流活動費助成 国際交流活動費助成 国際交流分野での海外渡航準備支援
図書購入（寄贈）	学生が推薦する図書、雑誌購入
感染症・衛生対策支援	感染症に対する予防接種助成 衛生対策物品購入

(4) 資格取得支援金制度

後援会では、学生の自己啓発推進とキャリア形成及び有利な就職活動の展開を目指すことを目的に、本学が指定する各種資格(国家・公的・民間問わず)の合格者に対して受験料(検定料)の一部費用援助を行うこととします。ぜひこの制度を積極的に利用して、自らのスキルアップに努めてください。

【支援内容】

・対象者

1. 後援会費を納めている学部生・大学院生
2. 当該年度内に受験した対象資格(次ページ参照)の合格者又は一定以上のスコア取得者

・申請額：受験料又は検定料の1/2(100円未満切捨)

《例》 受験料5,250円の場合

$$5,250円 \div 2 = 2,625円 \Rightarrow 100円未満切捨 \Rightarrow 申請額 2,600円$$

※対象は受験料(検定料)のみ

【申請方法】

申請期間：2024年4月1日～2025年2月末日

※4年生(卒業生)院生(修了生)については卒業式(修了式)前日までの申請とする。

※3月中に合格発表があったものについては、後援会事務局へ確認する。

※年度を跨いで合格発表があるものについては、翌年度での申請が可能。

申請に必要な書類

1. 資格取得支援制度/助成金申請書(兼口座振込依頼書)
2. 合格証若しくは資格者証又は基準以上のスコアが確認できるものの写し
3. 検定料の領収書原本、券売機で購入した各種申込チケットの原本又はウェブページ(検定名、支払者名、支払金額、支払日等を確認できるもの)の写し
4. 通帳又はキャッシュカードの写し

・提出先：本部棟1階 学務課内 後援会事務局

【補助金振込方法】

・振込時期：申請月の翌月末日までに振込

・振込口座：助成金申請書に記載された**名義の口座**

【対象資格一覧】

種 類	資 格 名	公/民	認 定 級
独立系	司法書士	国家	
	行政書士	国家	
不動産・建築	宅地建物取引士	国家	
	インテリアコーディネーター	民間	
	福祉住環境コーディネーター	公的	
情報系	基本情報技術者試験	国家	
	ウェブデザイン技能検定	国家	3級～1級
	ITパスポート試験	国家	
	オラクルマスター	民間	Bronze以上
	L P I C (Linux技術者認定試験)	民間	レベル1～レベル3
	M O S (Microsoft Office Specialist)	民間	Specialist、Expert
	Microsoft Business Certification	民間	
販売・営業	販売士検定	公的	3級～1級
	国内旅行業務取扱管理者	国家	
	総合旅行業務取扱管理者	国家	
	カラーコーディネーター検定試験	公的	3級～1級
	ビジネス実務マナー技能検定	公的	3級～1級
	サービス接客実務検定	公的	3級～1級
	ビジネス能力検定	公的	3級～1級
	ビジネス実務法務検定試験	公的	3級～1級
Eco (エコ) 検定	公的		
語学系	TOE I C (公開テスト：学外で行われる公開試験)	民間	500点以上
	TOE I C - I P (授業で行う以外の任意受検のみ)	民間	500点以上
	実用英語技能検定 (英検)	民間	2級～1級
	TOE F L - i B T (公開テスト：学外で行われる公開試験)	民間	61点以上
	I E L T S (公開テスト：学外で行われる公開試験)	民間	5.5以上
	中国語検定試験	民間	準4級～1級
	韓国語能力試験	民間	TOPIK I (1～2級) TOPIK II (3～6級)
	ハングル能力検定	民間	5級～1級
	日本語検定	民間	3級～1級
	漢字能力検定	民間	準2級～1級
	日本語能力試験	民間	4級～1級
	ロシア語能力検定試験	民間	4級～1級
安全管理	危険物取扱者	国家	乙種・丙種
経営・金融	社会保険労務士	国家	
	ファイナンシャル・プランニング技能士	国家	3級～1級
	A F P、C F P資格	民間	
	秘書技能検定	公的	3級～1級
	簿記検定	公的	3級～1級
	金融窓口サービス技能検定	国家	3級～1級
	証券外務員試験	公的	2種～1種
日経テスト	民間	485点以上	
国際系	通関士	国家	
	貿易実務検定試験	民間	C級～A級

※学内で受験および受験申請ができるもの

- ・ TOE I C - I P 試験 (年2回：春学期1回、秋学期1回)
- ・ 中国語検定 (年2回：6月、11月)
- ・ 秘書検定試験 (年2回：6月、11月)
- ・ 日本語検定試験 (年1回：6月)
- ・ 韓国語能力検定試験 (年1回：10月) ※試験会場は学外ですが、大学からバスを出します。

※受験料助成に該当しないもの

- ・ 授業内で行われる TOE I C - I P 試験。
- ・ 内定先等から助成金が出るもの。

Ⅲ キャリア支援

～自分の人生を切り拓くために

大学卒業後の進路が就職であろうと進学であろうと、みなさんは近い将来、社会の一員として生きていかなければならないことには変わりありません。従って、みなさんは社会から必要とされる人材となれるよう絶えず意識して学生生活を送らなければなりません。

社会から必要とされる人材とはどういう人を指すのでしょうか。多くの職場で求められるのは、基礎的な学力はもちろんのこと、主体性、コミュニケーション能力、チャレンジ精神、問題解決力、協調性など総合的な人間力を有する人材です。しかしながら、こうした能力は一朝一夕に身に付くものではありません。

何よりも、学生の本分である学業に真剣に取り組むことが重要です。そして、クラブやサークル活動、ボランティア・地域活動、海外での異文化体験等、興味を持ったことにはどんどんチャレンジしましょう。教室の中と外での主体的・積極的な取り組みが、人間力を育むのです。

変化の激しい現代社会にあっては、これまでの「当たり前」が通用しなくなっています。業界の再編、企業間の統合は日常的に耳にしますし、苦勞して身に付けた知識や技術が数年後には不要となることも珍しくはありません。英語を採用や昇進の基準とする企業も増えてきました。どのような職場であれ、「これからどうやって生きていくか」を常に意識しながら働かなければならない時代なのです。

大学時代は、意外と早く過ぎ去っていきます。その貴重な学生時代にみなさんがしなければならないのは、自分の望む生き方・働き方が何であるかを明確にし、どのようにキャリアを積み上げるべきか（＝キャリア形成）の長期的・短期的な設計図を描き（＝キャリアプランニング）、その実現に向けて真剣に学生生活を送ることなのです。

1 キャリア支援プログラムと学務課キャリア支援室

キャリア教育を基幹的教育の一つと考える本学では、入学時から将来を見据えてキャリア形成が進められるように、段階的かつ幅広い分野の内容を盛り込み、授業と一体化した「キャリア支援プログラム」を提供しています（次頁参照）。

そして、みなさんのキャリア形成を支援する部署として、本部棟1階に「学務課キャリア支援室」を設置しています。相談スペース（開放・個室）を設けていますので、学年を問わず、就職活動、進学、自分の将来についてなど、どのようなことでも構いませんので、お気軽にご相談ください（相談について知り得た情報は、キャリア支援・学生支援以外の目的で利用することはありません）。

また、就職対策情報誌、公務員試験対策用参考書・問題集、企業ガイドブックも配置しています。積極的に活用し、情報収集につとめてください。

次頁から、キャリア支援プログラムの概要や就職活動を行うに当たっての留意点などを記載します。個別の事業の日程・内容等の詳細については、チラシ、メール、情報誌等でお知らせしますので、見逃さないようにしてください。

国際関係学部・地域政策学部 キャリア支援プログラム							
CONTENTS	1年		2年		3年		4年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期
基本的考え方	<p>◇ 自律的・積極的に学ぶ姿勢を確立し、視野を広げる。</p> <p>◇ 社会との関わりの中かで、働く意義や求められる人材像・職業について理解する。</p> <p>◇ 自分の具体的な将来像から進路を決定し、準備を進める。</p>						
国際関係学部 地域政策学部 「キャリア科目」	<p>(1) キャリアデザイン【選択 春学期 集中講義】</p>				<p>(2) キャリアプランニング 【必修】</p>		<p>(3) 就職対策セミナー 【選択】</p>
地域政策学部 専門基礎科目群 「実習科目」	<p>(4)① キャリアプラクティス(旧授業名「インターンシップ実習I」) 【選択】</p>						
	<p>(4)② 自治体・NPO等キャリアプラクティス(旧授業名「自治体・NPO等インターンシップ」)(「地域政策学部」の科目) 【選択】</p>						
就活準備ガイダンス 就活ガイダンス・セミナー 採用試験対策	<p>(5) 就活準備ガイダンス</p>		<p>(5) 就活準備ガイダンス</p>		<p>(6) 就活ガイダンス・セミナー、模擬面接</p>		
業界・企業研究	<p>インターンシップ等就業体験</p>				<p>(7) 企業バスツアー</p>		<p>(8) 業界研究会</p> <p>(9) 学内個別企業説明会</p>
公務員試験対策	<p>(10) 公務員ガイダンス</p>		<p>(10) 公務員ガイダンス</p>		<p>(10) 公務員ガイダンス</p>		<p>(10) 対策講座(作文・面接) 勉強会</p>
	<p>(10) 公務員模擬試験</p>						
個別支援	<p>(11) キャリア支援室職員による個別キャリア支援(自己分析補助、エントリーシート添削、面接練習、その他相談等)、なんでもキャリア相談会</p>						
資格取得支援	<p>(13) 資格取得支援金制度 ※合格すれば受験料の半額を助成</p>						<p>(12) 学生キャリアサポーターの個別キャリア支援</p>
ゼミナール	<p>それぞれのコースおよび担当教員の指導の下で、文献調査、文献講読、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を通して、キャリア形成に資する能力が培う。</p>						

2 キャリア支援プログラムの概要

(1) 国際関係学部・地域政策学部 「キャリアデザイン」(1～3年生対象:選択科目 春学期集中講義)

本授業は、「大学の学び」と「社会やキャリア」との結びつきについて、具体的事例に基づいて学ぶ機会を提供します。また、授業を通じて、キャリア形成への内発的動機を育てつつ、自分の考えを明確に伝える「発信力」の強化を図ります。本授業の目的は、学生のみなさんが充実した大学生活を送り、人間のライフスタイルや働き方の変化などを踏まえ、主体的な生き方・進路選択をすることができるようにすることです。

(2) 国際関係学部・地域政策学部 「キャリアプランニング」(3年生対象:必修科目)

本授業では、これまでの学生生活の振り返りから自己理解・自己PRの仕方について、さらには、社会の多様な業界・企業・職種・働き方について学びます。

さらに、企業等で働いている社会人の講演等を通じて、業界動向や求められる人材像について学び、自己のキャリア形成に活用します。長い職業生活で直面する課題に対処する考え方・キャリアマネジメントについても理解を深めます。本授業を通じて、職業生活という本格的なキャリアのスタートを切る前に、自分らしく、たくましく生きるために必要なことを実践的に身に付けます。

(3) 国際関係学部・地域政策学部 「就職対策セミナー」(3年生対象:非正規科目)

3年次に、就職活動に必要な実践的な知識を身に付けます。具体的には、筆記試験対策や業界研究、面接対策など、外部機関とも連携しながら、学生自身が自分で考え、書き、実践しながら、就職活動に向けて準備を進めていきます。

非正規科目のため、単位認定はありませんが、就職活動に向けた有益な情報を得て、スキルを身に付けることができます。民間企業志望者だけでなく、公務員志望者の方も、また民間企業に就職するか、公務員を志望するかどうかについて迷っている方も是非参加してください。

※「就職対策セミナー」は、非正規科目のため、履修登録は不要です。



(4) 「キャリアプラクティス」(旧授業名「インターンシップ実習」)・「自治体・NPO等キャリアプラクティス」(旧授業名「自治体・NPO等インターンシップ」)(1～3年生対象:選択科目)

① 国際関係学部・地域政策学部「キャリアプラクティス」(1～3年生対象:選択科目)

「キャリアプラクティス」では、国内の企業等での就業体験を通じて、業界・企業・職種に関する活きた情報を入手し、社会で求められる人材像や自分自身の長所・短所を知り、ビジネスマナー等の実践力を培います。

就業体験先の探し方や単位認定要件について学内で説明会を開催します。就業体験への参加を考えている人は、インターンシップ等説明会に参加してください。単位認定を希望するか否かに関わらず、就業体験への参加が確定したら、必ず学務課キャリア支援室に「就業体験届」を提出してください。

② 地域政策学部「自治体・NPO等キャリアプラクティス」(1～3年生対象:選択科目)

本授業は、主に事前研修、役場・市役所・県庁等の自治体の公共機関、NPO等での現場研修、事後指導等によって構成されています。本授業を通して、役場・市役所・県庁等の自治体の公共機関、NPO等の公共的な仕事を担う職業を体験し、公共的な仕事に携わる際に求められる知識・能力・働く姿勢等について理解を深めます。

このインターンシップに参加を考えている人は、(4)①に記載したインターンシップ等説明会に参加してください。なお必ずしも希望者全員が、「自治体・NPO等キャリアプラクティス」に参加できるとは限りませんので、注意してください。

※「キャリアプラクティス」および「自治体・NPO等キャリアプラクティス」は、就業体験先が決定してから、本部棟1階事務室(学務課教務係)が学生に代わって履修登録をします。

(5) 就活準備ガイダンス

1、2年生を対象にした就活準備のためのセミナーや、社会人と交流し仕事への理解を深める体験型のイベントを実施しています。

(6) 就活ガイダンス・セミナー、模擬面接

3年生を対象に月1回程度でガイダンスを実施しています。就職サイト登録、業界仕事研究、自己分析対策、筆記・SPI試験対策、面接対策、OBOG交流会など就活全体をフォローする内容です。また、実践を意識した模擬面接も実施しています。

(7) 企業バスツアー

HPの情報だけでは分からない、会社の雰囲気や仕事内容を直接見て感じることができるバスツアーを実施しています。

(8) 業界研究会

数十社の企業が一同に会し、業界・企業の比較研究ができる業界研究会を実施しています。

(9) 学内個別企業説明会

企業1社から企業情報や採用情報をじっくり聞くことができる学内個別企業説明会を実施しています。

(10) 公務員試験対策

公務員志望者を対象に、公務員採用試験の概要や学習方法を学べる公務員試験ガイダンス、作文・面接対策講座、勉強会を実施しています。また実際の試験に対応できるよう模擬試験を実施しています。

(11) キャリア支援室職員の個別キャリア支援

学生のみなさんそれぞれが抱える細かな悩みや疑問に対応できるように、個別キャリア支援を実施しています。自己分析の補助やエントリーシートの添削、面接練習、その他就職相談などに対応しています。また、予約のいらないなんでもキャリア相談を定期的にも実施しています。

(12) 学生キャリアサポーターの個別キャリア支援

就職活動を終えた4年生の有志が後輩のキャリア支援を実施しています。就活のリアルタイムな情報を聞くことができます。

3 就職活動と授業や試験が重なる場合について

(注意！「就職活動による欠席届」の提出は4年生以上のみ可能で、集中講義を除く)

◆就職活動により授業を欠席する場合

就職活動により授業（集中講義は除く）を欠席する場合は、原則として、欠席後1週間以内に科目ごとの「就職活動による欠席届」（4年生以上のみ提出可能）を授業担当教員に提出してください。公欠にはなりません。授業担当教員の判断により適切な措置が講じられる可能性があります。なお、「就職活動による欠席届」を提出する際には就職活動の内容（日時、場所、活動内容）を明らかにして、本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認を受けてください。本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認印がない欠席届は無効になりますので注意してください。

ただし、各学部の履修規程第5条により授業科目の出席時間数が全時間数の3分の2に満たない場合には試験を受けることができませんので、就職活動といえども安易に授業を欠席することがないように計画的に就職活動を行うようにしてください。

※「就職活動による欠席届」は本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）にあります。

◆就職活動と学期末試験が重複した場合

就職活動のために学期末試験を受けることができなかつた場合は、以下に該当する場合のみ追試験の対象となります。就職活動のために授業を欠席する場合と同様、調整ができる場合には学期末試験を最優先してください。

- (1) 企業等の指定する日時に選考試験（面接を含む）を受ける場合。
- (2) 企業等の指定する日時に当該企業等を訪問又は当該企業が開催する説明会に参加する場合。
- (3) 内定企業から呼び出しを受けた場合は、(1)(2)に準じて取り扱うものとする。

ただし、学期末試験と重複しない日時を選択できる余地がある場合は、選考試験や説明会等の日時調整をすること。調整可能であるにもかかわらず、選考や説明会等に参加して試験を欠席した場合は、追試験の受験を認めません。

どうしても調整できず学期末試験を欠席する場合には、原則として、欠席後1週間以内に科目ごとの「就職活動による欠席届」を授業担当教員に提出してください。なお、「就職活動による欠席届」を提出する際には就職活動の内容（日時、場所、活動内容）を明らかにして、本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認を受けてください。

さらに、当該科目の試験終了後1週間以内に、「就職活動による欠席届」（学務課キャリア支援室の確認を受けたもの）の写しを添付の上、「追試験願」を本部棟1階事務室（学務課教務係）まで提出してください。

4 就職活動における各種証明書の発行について

就職活動を行うに当たって、成績証明書、卒業見込証明書等の提出を求められることがあります。証明書に関する申請、受け取り等の詳細については、P 8～10「II 学生生活 1 証明書の発行」をご確認ください。

郵送による証明書発行申請の場合、相当な時間がかかりますので、余裕を持って申請をしてください。

IV 学 生 相 谈

●みなさんには、適切なサポートを受ける権利があります

大学生活を送るうえで、学修面、対人関係、障がいや特性にかかること等、各場面で困りごとが生じた場合は、一人で悩まず、下記の相談窓口にご相談してください。学生のみなさんには、適切なサポートを受ける権利があります。みなさんの意見を尊重しながら、負担感が少しでも軽くなるような環境づくりを行っていきます。

●サポートを受けることは、特別扱いを受けることではありません

学生のみなさんは全員が等しく学ぶ権利を持っています。困りごとを抱える方へのサポートは、その方が他のみなさんと同じスタートラインに立って学んでいくための環境の調整であり、決して特別扱いではありません。みなさんが互いの個性を尊重し、支えあいながら、人々の多様なあり方を相互に認め合っていくことが、誰もが気持ちよく過ごせる大学につながります。

●学生相談では、あなたの悩みが少しでも良い方向に解決するような支援をします

大学生活においては、修学、健康、対人関係、就職・進路、経済的困窮、キャンパス・ハラスメントなどさまざまな問題・悩みに直面することが少なくありません。

悩んだときは、一人で問題を抱え込まないことが大切です。誰かに相談をしたり、カウンセリングを受けたりすることは決して恥ずかしいことはありません。困ったことがあれば、相談の窓口を利用してください。学生相談では、プライバシーに十分配慮し、個人の秘密は厳守します。ここでは、いくつかの相談窓口を紹介します。

どこに相談するかを迷うときには、学生サポート室を訪ねてみてください。



◇学生サポート室

学生サポート室には、常駐の相談員がいます。どんな相談にも応じますので、ひとりで悩まずに、気軽に相談してください。みなさんがくつろぐことのできる談話スペースもあり、読書や勉強もできます。保護者からの相談も受けます。

○開室日時：月曜日・水曜日～金曜日 9：00～16：30（高木）

火曜日 9：00～17：00

※火曜日の各種相談は、13:00 から予約制で対応します（P 42 心理相談参照）。

開室中の部屋利用はできます。

○相談場所：学生サポート室（メディアセンター2階）

○相談方法：直接来室してください。事前に予約されれば優先的に時間を取ります。

○連絡先：直通電話 0855-24-2391（直通）

e-mail：y-takagi@admin.u-shimane.ac.jp

○相談員：高木 由香子（認定心理カウンセラー）

◇心理相談

修学上の問題や学生生活における様々な悩みの相談に臨床心理士が応じます。希望者には心理検査もできます。予約の上、お越しください。

○相談日：火曜日 13：00～17：00（予約時に時間を決めます。）

○相談場所：学生サポート室内 相談室（メディアセンター2階）

○連絡先：直通電話 0855-24-2214（医務室）0855-24-2391（学生サポート室）
e-mail：h-imushitsu@u-shimane.ac.jp

○担当者：東 孝子（臨床心理士）

※初回の予約は看護師が相談日程を調整します。2回目以降は、東臨床心理士にご相談ください。

◇精神保健相談

学生本人及び家族の精神保健に関する医学的な相談に精神科医が応じます。予約制となっていますので、下記連絡先に連絡してください。相談者の都合に合わせて日程調整を行います。

○相談日：学内メール又は掲示にてお知らせします。

○相談場所：学生サポート室内 相談室（メディアセンター2階）

○連絡先：予約を医務室で受け付けます。

医務室（本部棟1階） 直通電話 0855-24-2214

e-mail：h-imushitsu@u-shimane.ac.jp

○担当者：松本 貴久（校医、西川病院精神科医）

◇医務室（身体・健康相談）

看護師が医務室で身体の健康、栄養や運動、障がい者の職業生活全般について相談・指導を行います。専門医療機関の紹介も行っています。

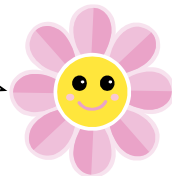
○開室日時：月曜日～金曜日 8：40～17：15

○相談場所：医務室（本部棟1階）

○連絡先：直通電話 0855-24-2214

e-mail：h-imushitsu@u-shimane.ac.jp

相談に応じるのは専門スタッフだけではありません。
誰かに話すことが大切です。
何かあれば、遠慮なく身近な先生や事務局に相談をして
ください。



◇ゼミ・演習科目担当の先生

ゼミ・演習科目担当の先生は、みなさんにとって身近で、かつ、みなさんのことを、気にかけてくれる存在でもあります。学生生活の中で何か気になることや、悩んでいること等があれば、気軽に相談してみてください。

◇学生生活なんでも相談

学生生活委員の先生方が、学生生活に関する様々な相談に応じます。

学生の希望に応じて対面・メール・オンライン等により対応しますので、まずは担当の先生までお気軽にご相談ください。

※担当教員はUNIPA・学内の掲示等でお知らせします。

◇ハラスメントに関する相談

本学では、学内におけるアカデミック・ハラスメントやセクシュアル・ハラスメント等のキャンパス・ハラスメントについても相談窓口を設けています。相談や申し出が相談者の不利益になることはありませんので、安心して相談してください。メールによる相談、または、本部棟1階事務室（学務課）でも相談可能です。担当の相談員が対応します。

○e-mail: h-harassment@u-shimane.ac.jp

○相談後の対応について：

相談の内容が、ハラスメントに該当し、かつ相談者が希望した場合には、キャンパス・ハラスメント防止委員会が、必要な調査を行います。ハラスメントの事実があったと認めるときは、ハラスメント解消に向けた対策をとります。

◇学務課学生支援係

障がいや特性にかかる困りごと等、学生生活を送る上で大学に対し支援や配慮を求めたい場合は、本部棟1階事務室（学務課学生支援係）に相談してください。

◇その他

寮に関することは寮務主事が、サークルなどの学生団体に関することは顧問の先生が相談に応じます。



本学の教職員は、みなさんが安心して学生生活を送ることを願っています。

ハラスメントとは

■キャンパス・ハラスメント

本学の学内及び学外において、教職員、学生及び関係者等が、他の教職員や学生等に対し、次に掲げるハラスメントにより、就労又は修学の環境を悪化させる行為並びにその対応によって不利益を被らせる行為をいう。

(1) セクシュアル・ハラスメント

教職員や学生等が、他の教職員や学生等を不快にさせる性的な言動をいう。

(2) アカデミック・ハラスメント

教職員が、教育・研究の場における地位又は権限を不当に利用し、他の教職員又は学生等に不利益を被らせる行為をいう。

(3) その他のハラスメント

教職員や学生等が、相手方の意に反する不当な要求や圧力等によって、他の教職員や学生等を不快にさせる人権侵害の行為をいう。

■キャンパス・ハラスメントに起因する問題

キャンパス・ハラスメントにより、教職員や学生等の就労又は修学上の環境が害されること若しくは不利益や損害を受けることをいう。

■ハラスメントの主な例

(1) セクシュアル・ハラスメント

- ・修学上、研究上又は学生生活における利益又は不利益を条件として、性的関係を強要すること。
- ・執拗若しくは強制的な性的行為への誘い、あるいは交際の働きかけをすること。
- ・性的な面で、不快感をもよおすような話題、行動及び状況をつくること。

(2) アカデミック・ハラスメント

- ・学生の進級・卒業を正当な理由なく認めないこと。
- ・研究データの捏造・改ざんの強要をすること。

(3) その他のハラスメント

- ・教職員や学生等が、相手の人格・尊厳を否定するような暴言を吐くこと。
- ・教員、上級生など優位な立場にあるものが、その立場を利用して無理なことを要求し、それにさからったり反発したりすると不利益な扱いをすること。

V 国 際 交 流

本学では、みなさんに国際的な視野を持ってもらうため、協定校への交換留学をはじめとした、さまざまな留学の機会を用意しています。

また、異文化理解や国際交流を目的とした学生団体やイベントもあります。学内は最も身近な国際交流の場です。日本人学生のみなさんも、留学生のみなさんも、寮生活、ゼミ、サークル活動などの出会いを大切に、異文化交流を積極的に行ってください。

1 海外大学との交流 ～交流協定締結校紹介～

本学では、37 大学・機関と交流協定を締結し、学術研究交流や、英語教育・異文化理解科目とも関連づけた学生交流を進めています。

国際交流協定校等一覧

(2024年2月1日現在)

国	大学・研究機関	締結年月日	主な交流
アメリカ	私 シアトル大学	1998. 7. 1	学生交流【出雲C】
	公 セントラル・ワシントン大学	2000. 10. 8	留学(派遣)、海外短期研修
	公 イースト・カロライナ大学	2012. 5. 7	授業「異文化理解特別演習」
	公 ワナチ・バレーカレッジ	2014. 3. 4	留学(派遣)、学生交流
中国	国 北京大学 国際関係学院	2000. 10. 8	学術研究
	国 寧夏大学	2004. 10. 11	留学(交流県による受入)、学生交流
	国 復旦大学 国際問題研究院	2005. 6. 10	学術研究
	国 吉林大学	2000. 10. 8	留学(交流県による派遣・受入)
	国 吉林大学 東北亜研究院	2007. 5. 21	学術研究
	国 中国社会科学院 日本研究所	2007. 9. 20	学術研究
	国 中央民族大学	2010. 11. 9	留学(交換)、海外短期研修
	国 東北師範大学 東亜文明研究中心	2013. 9. 19	学術研究
	国 安徽財経大学	2015. 4. 28	留学(受入)、学生交流
	国 華僑大学	2015. 11. 12	留学(受入)、学生交流
	国 内モンゴル工業大学	2018. 9. 2	学術研究、学生交流
	国 北京農学院	2019. 5. 27	学術研究、学生交流
国 北京語言大学	2022. 10. 4	学術研究、学生交流	
韓国	私 蔚山大学校	2001. 5. 9	学術研究、留学(交換)、海外短期研修、学生交流
	道 慶北道立大学校 (旧:慶道大学校)	2001. 9. 12	学生交流
	私 啓明大学校	2011. 6. 1	学術研究、留学(交換)、海外短期研修、学生交流
	私 培材大学校	2013. 4. 26	学術研究、留学(交換)
	私 大邱韓医大学校	2014. 2. 4	学術研究、海外短期研修、学生交流【出雲C】
	私 世宗大学校	2016. 8. 31	留学(交換)
	私 高麗大学校 グローバル日本研究院	2017. 6. 2	学術研究
	私 江原大学校 人文科学研究所	2017. 11. 17	学術研究
	私 大邱保健大学校	2018. 11. 5	学術研究、学生交流【出雲C】
	私 国民大学校	2023. 7. 14	学術研究、学生交流
モンゴル	国 モンゴル国立科学技術大学(人文学院含む)	2008. 6. 26	学術研究
ロシア	国 ロシア海洋国立大学	2010. 8. 27	留学(交換)、学生交流
	国 タタールスタン共和国科学アカデミー 歴史研究所	2015. 1. 23	学術研究
台湾	国 台中科技大学	2014. 11. 14	留学(交換)、海外短期研修、学生交流
	私 世新大学	2016. 6. 17	留学(交換)、学生交流
	私 中山医学大学	2020. 7. 14	学術研究【出雲C】
	私 台北医学大学 護理学院・栄養学院	2020. 9. 17	学術研究【出雲C】
インド	私 アチャリヤ経営科学大学(AIMS)	2015. 7. 7	学生交流
カナダ	州 ランガラ・カレッジ	2018. 3. 31	学術研究、海外短期研修
マレーシア	私 アジアパシフィック大学	2019. 1. 4	留学(派遣)、海外短期研修
インド	私 クリダワチャナクリスチャン大学	2019. 11. 20	学術研究、学生交流【出雲C】
ネシア	インドネシア栄養学会	2019. 11. 21	学術研究、学生交流【出雲C】

2 留学

本学は、大学憲章に「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を目標として掲げており、国際的な視野を持ち多様な価値観を認める人材を育成するため、学生のみなさんの留学を支援しています。

(1) 留学の種類について

本学に在籍しながら海外の大学に留学するには、学則第 25 条の留学許可を得て行く場合（協定留学、認定留学）と学則第 26 条の休学許可を得て行く場合（休学留学）があります。

ア. 学則第 25 条による許可（留学許可）を得て行く場合＜25 条留学＞

25 条留学には、次の 2 種類があります。いずれも学長の許可を得る必要があります。

- 協定留学…本学と海外大学等が学生交流の覚書等を締結し、学内で選考した優秀な学生を留学させるもの
- 認定留学…学生本人が希望する留学先を選定・出願し、その入学許可証を得て留学することを許可して留学させるもの

イ. 学則第 26 条の許可（休学許可）を受けて行く場合＜26 条留学＞

学則第 25 条で規定する留学に該当しない海外大学等での学修は、休学許可を得てから留学することになります。この場合も学長の許可を得る必要があります。

ウ. 25 条留学と 26 条留学の制度上の違い

	手続き	卒業に必要な在学年数	本学の授業料	卒業要件としての単位
25 条留学	留学願	算入できる	徴収する	審査により認められる
26 条留学	休学願	算入できない	徴収しない	認められない

(2) 協定留学について

ア. 協定留学スケジュール（予定）

※変更の場合があります。詳細はオリエンテーションのときにお知らせします。

〈秋季派遣〉		〈春季派遣〉	
12 月	・オリエンテーション→受付開始	7 月	・オリエンテーション→受付開始
1 月	・学内公募出願締切	9 月	・学内公募出願締切
2 月	・学内選考試験（面接試験）実施 →協定留学候補者を決定	10 月	・学内選考試験（面接試験）実施 →協定留学候補者を決定
6 月	・入学許可書発行 （以後、各自でビザ申請）	12 月	・入学許可書発行 （以後、各自でビザ申請）
7 月	・ゼミ・演習科目担当教員と、留学中の 指導計画を決定	1 月	・ゼミ・演習科目担当教員と、留学中の 指導計画を決定
8～9 月	・渡航、留学開始	2～3 月	・渡航、留学開始

※各大学により派遣期間が異なります

イ. 協定留学先について ※詳細は、オリエンテーション時にお知らせします。

地 域	大学名	大学概要 (所在地・学生数・学部数)	授業料	備 考
アメリカ	セントラル ワシントン 大学	・ワシントン州エレンズバーグ市 ・約 11,000 人 ・ 4 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 附属英語学校あり
	ワナチパレー カレッジ	・ワシントン州ワナチ市 ・約 6,000 人 ・ 6 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 留学生用の英語科目あり
中国	中央民族大学	・北京市 ・約 16,000 人 ・ 23 学部	・ 協定により免除	
	吉林大学	・吉林省長春市 ・約 66,000 人 ・ 12 学部	・ 交流県制度により 授業料と寮費 免除	・ 吉林省より奨学金の支給あり
台湾	台中科技大学	・台中市 ・約 7,000 人 ・ 5 学部	・ 協定により免除	
	世新大学	・台北市 ・約 11,000 人 ・ 4 学部	・ 協定により免除	
韓国	蔚山大学校	・蔚山広域市 ・約 15,000 人 ・ 12 学部	・ 協定により免除	・ダブルディグリー 制度あり
	啓明大学校	・大邱広域市 ・約 26,000 人 ・ 19 学部	・ 協定により免除	
	培材大学校	・大田広域市 ・約 14,000 人 ・ 10 学部	・ 協定により免除	
	世宗大学校	・ソウル特別市 ・約 11,000 人 ・ 9 学部	・ 協定により免除	
	国民大学校	・ソウル特別市 ・約 15,000 人 ・ 16 学部	・ 協定により免除	
ロシア	ロシア海洋 国立大学	・沿海地方ウラジオストク市 ・約 5,000 人 ・ 14 学部	・ 協定により免除	
マレーシア	Asia Pacific University of Technology & Inovation	・クアラルンプール ・約 10,000 人 ・ 8 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 附属英語学校あり

※上記内容は、留学先の事情により変更する可能性があります。

※上記以外に、ビザ取得費用、渡航費、海外留学保険料、生活費等が必要となります。

※語学要件を設定している場合があります。

(3) 留学の手続きについて

	協定留学	認定留学	休学留学
1. 出願資格	留学開始までに本学に1年以上在学し、卒業要件科目の単位を30単位以上取得する見込みがある者。	①留学開始までに本学に1年以上在学し、卒業要件科目の単位を30単位以上取得する見込みがある者。 ②留学希望大学からの入学許可書を得ている者、又は得る見込みがある者。	特になし。
2. 出願方法	学内で公募を行う。	原則として、留学出発月の6ヶ月前までに必要書類を揃えて申請すること。 <申請に必要な書類> ①留学願 ②留学先大学の入学許可書(写) ③成績証明書 ④健康診断書 ⑤留学先大学での身分及び単位取得可能性を示すもの ⑥留学先大学での大学案内及び授業科目の内容がわかるもの ⑦留学期間中の履修計画書 ⑧語学能力を客観的に評価できる書類 ※該当者のみ	原則として、留学出発月の6ヶ月前までに必要書類を揃えて申請すること(P11参照)。 <申請に必要な書類> ①休学願 ②留学先大学の入学許可書(写)等
3. 留学期間	6ヶ月又は1年以内。 ダブル・ディグリー制度の場合2年。	1年以内。	同左
4. 履修範囲	留学先で正規課程の授業を履修し、単位を修得する必要がある。	同左	特になし。
5. 単位認定	留学先で修得した単位は、40単位を上限に卒業要件単位として認定を受けることが可能。 ※単位数は変更する場合がある。	同左	単位認定は行わない。
6. 授業料等	留学期間中は、本学及び留学先大学の両方に授業料等を全額納付しなければならない。 また、寮費等の生活費は全額自己負担となる。 ※ただし、協定により留学先の授業料等が免除される場合がある。	留学期間中は、本学及び留学先大学の両方に授業料等を全額納付しなければならない。 また、寮費等の生活費は全額自己負担となる。	留学期間中は、留学先の授業料のみ支払う。
7. 奨学金	本学の海外留学奨学金制度(給付型)を申請可能(選考あり)。	本学の海外留学奨学金制度は適用されないため、政府等が実施する制度を各自で確認すること。	同左
8. 留学期間中及び留学終了後の手続き	ゼミ担当・もしくは演習科目教員の指導を受けること。 留学先での単位修得状況や学生生活等について、適宜報告を求められることがある。	同左	留学中はゼミ担当・もしくは演習科目教員と、適宜連絡を取り合うこと。留学終了後は、速やかに復学願を提出すること。
9. その他	留学期間中も本学の学則が適用される。 留学期間は、本学の卒業に必要な在籍期間に参入される。 学研災付帯海外留学保険への加入が必要(留学先大学によっては先方の指定する保険に加入する必要があるため、各自確認すること)。留学する国・地域により加入内容が異なるので、各自確認すること。	同左	留学期間中も本学の学則が適用される。 休学中(留学中)は本学の在学期間には算入されない。 学研災付帯海外留学保険への加入が必要な場合や、留学先大学によっては先方の指定する保険に加入する必要があるため、各自確認すること。留学する国・地域により加入内容が異なるので、各自確認すること。
10. 帰国後の手続き	報告書の提出や修得単位認定申請に関連する書類(留学先が発行する成績証明書等)を提出すること。	同左	特になし。 (留学報告書等の提出を求めることがある。)

※内容に修正がある場合は、適宜お知らせします。

※不明な点については、メディアセンター2階(連携交流課)までお問い合わせください。

3 海外短期研修

(1) 異文化理解

異文化（日本とは異なる文化）への理解力向上を主たる目的としています。研修中は語学の授業もあります。詳しくはシラバスで確認してください。

研修先及び費用について（2023 年度実績）

研修先	研修期間	参加費用	県大奨学金（給付）
アメリカ （ホノルル市）	3/3～3/25	41 万円	参加費用の 1/5 程度
カナダ （バンクーバー市）	8/6～8/27	65.5 万円	参加費用の 1/5 程度
中国 （北京市）	8/1～8/30	35 万円	参加費用の 1/5 程度
韓国 （蔚山広域市・ソウル市）	8/6～8/26	24 万円	参加費用の 1/5 程度
ロシア	—	—	参加費用の 1/5 程度

※1 海外旅行保険や個人の食事代など別途費用がかかります。

※2 アメリカとロシアの日程、金額は 2019 年度実績です。なお、2020～2023 年度の実施は中止となりました。

※3 2020 年度より、ロシア研修先はサンクトペテルブルク市へ変更しました。

※4 社会情勢、感染症等の状況により中止となる場合があります。

韓 国（蔚山）



アメリカ（ホノルル）



中 国（北京）



ロシア（ウラジオストク）



アメリカ（ワシントン）

◇海外研修等奨学金制度

本学では、海外での学びのチャンスを広げるため、海外研修に参加する学生全員に参加費用の一部を助成する奨学金制度を設けています。

(2) 海外語学研修

語学運用能力の向上を主たる目的としています。引率者の同行はありません。詳しくはシラバスで確認してください。

※1 参加費用には、生活費、海外旅行保険料等は含まれません。

※2 「島根県立大学海外研修等奨学金」の給付額は、年度により異なります。

※3 社会情勢、感染症等の状況により中止となる場合があります。

ア. 海外英語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
アジア・パシフィック大学 (マレーシア)	2月下旬～3月下旬	未定	参加費用の1/5程度	<秋学期> 10月

イ. 海外韓国語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
啓明大学校・培材大学校 (韓国)	8月上旬～中旬	未定	参加費用の1/5程度	<春学期> 4月

ウ. 海外中国語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
北京語言大学 (中国)	8月上旬～9月上旬	未定	参加費用の1/5程度	<春学期> 4月

エ. 海外ロシア語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
(調整中)	(調整中)	未定	参加費用の1/5程度	<春学期> 4月

(3) 島根県グローバル人材育成支援事業

島根県立大学が実施する、学生の海外活動を支援する制度です。海外での実践活動にあたって、「島根県グローバル人材育成支援事業（旧トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～「地域人材コース」）の仕組みを活用し、海外または国内での事前調査等の実践活動を行う際に必要な経費を支援します。

募集枠	活動場所	活動期間	補助金（上限）	募集時期
海外活動枠	自由	連続した3日以上の活動	30万円/枠×4枠	4月～5月
国内活動枠			10万円/枠×3枠	

※事業詳細は募集要項等で確認してください

(4) その他の海外短期研修

本学と交流協定を締結している諸外国の大学で開催するプログラムや、日本政府や各省庁、島根県が主催する海外派遣プログラムに応募して短期間留学することができます。募集情報は、学内メールや掲示板で情報提供しています。

プログラム名		派遣国 (大学)	時期	期間	内容	募集 時期
青年交流の翼・中国寧夏プログラム		中国	8月	約1週間	ディスカッション、 文化交流	5月頃
短期夏季研修		台湾 (台中科技大学)		約1週間	語学授業、 文化交流	6月頃
日独青年リーダー交流事業		ドイツ	内閣府主催	約2週間	ディスカッション、 現地視察、 文化交流、 ホームステイ 等	4月頃
国際社会青年育成事業	①欧州地域	9月		約3週間		
	②中南米地域			約2週間		
日本・韓国青年親善交流事業		韓国		約2週間	4月頃	
日本・中国青年親善交流事業		中国		約2週間		
東南アジア青年の船事業		ASEAN諸国		10月	約1ヶ月	プレゼンテーション、 ディスカッション、 寄港地での活動、 船内活動 等
世界青年の船事業		世界各国	1月	約1ヶ月		



東南アジア青年の船事業



国際青年育成事業



日本・中国青年親善交流事業



青年交流の翼 中国プログラム



台中科技大学短期夏季研修



日独青年リーダー交流事業

4 学内における国際交流

本学では世界7カ国以上の国と地域から、留学生を受け入れています。
随時イベントや募集案内をしますので、積極的に参加・交流してください。

本学に在籍する留学生と交流しよう！

本学に在籍する留学生と気軽に交流を楽しむための様々なイベントを企画し、日本の学生と留学生をつなぐサポートをしています。



学内での交流の様子
(ラーニング・コモンズにて)



学外での交流の様子
(「ホーランエンヤを見に行こう！」
道の駅「キララ多伎」にて)

◇「国際交流会館サポーター」(P30を参照)

浜田キャンパスの「国際交流会館(寮)」では、本学に在籍する留学生と一緒に生活することができます。日々の生活で国際性を養い、留学生の日本語力向上や日常生活をサポートしながら寮を自主的に運営することができるサポーターを、毎年募集しています。

※10月頃、メール等で募集します。

短期留学生等と交流しよう！

◇日本語・日本文化研修生のサポーター

日本語や日本の文化を学ぶ留学生が、本学に約1週間、滞在します。日本語授業のサポートや学内外での交流を通して、まずは日本語で交流しましょう。



日本語授業の様子



学外での交流

VI メディアセンター

メディアセンターは、図書館としての機能はもちろんのこと、語学教育や情報受発信の支援など、みなさんの学術発展を総合的にサポートする施設です。

蔵書約 22 万冊、雑誌約 1,500 種、新聞 8 紙、電子ジャーナル・オンラインデータベースの閲覧ができます。館内には閲覧室のほかにも、「ラーニングコモンズ」「LLSR（語学学習支援室）」「コンピュータ演習室」など、多様な空間が揃っています（P61「4 メディアセンター配置図」参照）。

メディアセンターは、全国の図書館と結ばれており、他館の資料や文献複写を取り寄せることもできます。特に島根県内の図書館の資料は、連携協定によって送料が無料です。

開館時間・休館日については、P62「5 島根県立大学浜田キャンパス図書館 開館カレンダー」を参照してください。また、以下のホームページやX(旧 twitter)で、メディアセンターの各種サービスや学生図書委員（図書館のサービスや施設の改善について、学生の視点から意見を出し運営に関わる組織です）の活動を紹介しています。

○浜田キャンパス図書館ホームページ

→ <https://www.u-shimane.ac.jp/campus/hamada/library/>

○OPAC（蔵書検索）・マイライブラリ（個人別ページ）

→ <https://opac.u-shimane.ac.jp>

○学生図書委員のX(旧 twitter)

→ <https://twitter.com/gakutoshohamada>

※学生図書委員を募集しています。詳細は浜田キャンパス図書館までお尋ねください。

○問い合わせ先

(図書館) TEL 0855-24-2204 FAX 0855-24-2210

E-mail h-library@u-shimane.ac.jp

(情報) TEL 0855-24-2205 FAX 0855-24-2210

E-mail h-toshojoho@u-shimane.ac.jp

1 図書館サービスの概要

(1) OPACとマイライブラリ

「OPAC」とは、WEB上で蔵書検索ができるサービスです。浜田キャンパス図書館ホームページからお入りください。タイトルや著者名によって検索し、目的の資料の請求番号等を控えて書架を探してください。館内にも検索用PCがあります。

「マイライブラリ」とは、貸出履歴確認、予約申請、貸出延長申請等がWEB上でできるサービスです。詳細はカウンターにお尋ねください。

(2) レファレンス

資料に関する問い合わせなどをカウンターで受け付けます。探している本の書名がわからない時、必要な情報が得られない時、図書館の利用方法がわからない時など、気軽にカウンターでお尋ねください。

(3) 貸出受付

図書等資料の貸出や視聴覚資料の利用は、現物を書架から取り出し、カウンターへ持参して手続きしてください（要学生証）。

(4) 貸出ができないもの

以下の資料は、貸出すことができません。館内において閲覧・視聴してください。

・ 図書のうち「禁帯出」ラベルが貼ってあるもの
・ すべての雑誌・新聞
・ 卒業研究
・ ビデオテープ、DVD、LDなどの映像資料

(5) 貸出冊数と期間

利用者区分	貸出冊数	貸出期間
学部生（1・2年生）	5冊以内 (夏季・冬季・春季休業中は10冊以内)	2週間以内
学部生（3・4年生）	10冊以内	

(6) 予約

借りたい図書が貸出中のとき、予約することができます。

利用手続き	マイライブラリを利用するか、カウンターにお伝えください。
-------	------------------------------

(7) 貸出延長

予約が入ってなければ、1冊について1回まで、貸出期間を延長することができます。

延長の条件	・ 返却期限内に手続きをすること ・ 当該資料に、他の利用者からの予約が入っていないこと
延長できる期間	手続き日から2週間です。再延長は認めません。
利用手続き	マイライブラリを利用するか、資料を持参の上、カウンターにお伝えください。

(8) 返却、延滞

返却期限を厳守してください。延滞すると、返却されるまで新たな貸出を停止します。長期延滞の場合は、返却後も延滞期間に応じた貸出禁止措置をとりますので注意してください。メディアセンター建物の外側2ヶ所に返却ボックスを設けています（入口付近と、南側駐車場付近）。閉館時の返却にご利用ください。

(9) 紛失等

図書館内の資料は、大学の「財産」ですので丁寧に扱ってください。線引きや書き込みなどを「絶対に」しないでください。

万が一、資料を紛失・破損・汚損した場合は、至急カウンターに相談してください。同一物を購入し「弁償」していただきますが、絶版等により代替品入手が困難な場合がありますので、充分注意してください。

(10) 館内複写

著作権法の範囲内で館内資料を複写できます。館内の指定コピー機でのみ可能です。

指定コピー機	カウンター前に設置してあるセルフ式コピー機
料金／1枚	白黒：10円、カラー：50円
利用手続き	「館内複写申込書」をカウンターに提出してください。

(11) 他の図書館を利用する

ア 他の図書館が所蔵する資料を利用する場合（相互利用・ILL）

次の2つのサービスがあります。

- ①現物貸借（他の図書館から図書そのものを取り寄せて借りること）
- ②複写取寄せ（他の図書館から文献のコピーを取り寄せること）

送料・コピー代金とその支払いについて	・送料と、複写取寄せの場合はコピー代金が必要です。ただし、相手館が島根県内であれば送料無料です。 ・資料引渡し時にカウンターにてお支払いください。相手館によっては、金融機関から振込んで頂くこともあります。
引渡しまでの所要日数	申込から1～2週間程度かかります。相手館の事情により変動します。
利用手続き	マイライブラリ経由で申込むか、「相互利用受付票」をカウンターに提出してください。

イ 他の図書館を直接訪問して利用する場合

まず、相手館のホームページ等で開館スケジュールや学外者の利用条件についてご確認ください。本学の図書館が発行する紹介状が必要な場合があります。

紹介状発行までに要する日数	相手館との連絡・調整等により、3～5日程度かかります。訪問日に対して余裕を持って申し込んでください。
紹介状発行手続き	カウンターにお伝えください。
貸出を受けた場合の返却について	相手館に直接返却してください。

※島根県立大学出雲キャンパス図書館（出雲市西林木町）及び松江キャンパス図書館（松江市浜乃木）を利用する際は、学生証を持参してください（そのまま利用者証となります）。また、出雲キャンパスでは、先に職員用事務室にて図書館を利用する旨を伝え、学生証ホルダーを受け取ってから図書館に行ってください。

(12) 購入希望図書リクエスト

学習のために必要な本をリクエストできます。申込用紙及び投函ボックスを新聞架そばに設置していますので、ご利用ください。

(13) オンラインサービス

次のオンラインサービスが利用できます。

新聞記事	朝日新聞クロスサーチ、日経テレコン、PressReader
論文、雑誌	CiNii、PsycINFO、ルーラル電子図書館
電子ジャーナル	JSTOR(欧)、American Antiquarian Society Historical Periodicals Collection(北米の文化・歴史など)、DBpia(韓)、KISS(韓)、CNKI(中)
法律	D1-Law(第一法規法情報統合データベース)、官報情報検索サービス
英語辞書	Oxford English Dictionary

各サービスへは、浜田キャンパス図書館ホームページ「データベース・電子ジャーナル」(<https://www.u-shimane.ac.jp/campus/hamada/library/library-15navi.html>)からアクセスできます。

2 館内の各エリア・コーナー

※①～⑬は、P63「4 メディアセンター配置図」の①～⑬に対応しています。

1 F 南 側	①カウンター	図書館サービス全般の窓口です。お気軽にご相談ください。 なお、平日開館日の10:00～16:00は、奥側の窓口（情報カウンター）にてPCの学内ネットワーク接続やセキュリティに関する相談も受け付けていますが、以下にご注意ください。 ・ハードウェア・ソフトウェアの不具合や利用方法の相談には対応できません。カウンター設置のマニュアル参照やWEB検索等ご自身で解決を図るか、購入先へ連絡してください。 ・授業内容に関する質問には対応できません。 ・保守作業等により、対応可能な職員が不在の場合があります。
	②展示コーナー	新着図書、学生リクエスト、教員推薦図書等を展示しています。 学生図書委員による選書展示のコーナーもあります。
	③卒業研究コーナー	みなさんの先輩が制作された卒業論文を冊子で置いています。2018年度卒業分以降は電子データにして保存されています。閲覧専用端末を貸し出しますので、カウンターにお伝えください（要学生証）。
	④メディアプラザ	学内LAN用情報コンセントを備えた1人用机を35席設けています。 （※蓋付きの飲み物であれば飲んでも構いません。）プリンタ（3台）を利用する場合は、備え付けの手順書に沿って、プリンタドライバのインストールを行ってください（用紙は各自で準備）。 また、国立国会図書館がデジタル化し、入手困難な資料のデジタル画像を専用PCで閲覧・複写できます。ご利用の際はカウンターにお伝えください。
	⑤ラーニングコモンズ	ディスカッションや共同作業がしやすいように、可動式の机と椅子を置いたスペースです。利用ルールが他のエリアと異なります。 ※蓋付きの飲み物であれば飲んでも構いません。 ※会話をしても問題ありませんが、必要以上の大声で騒いだりしないよう、節度をもって利用してください。 ※授業でも使われます。授業使用予定は、当日、各机に掲出しますので、その時間帯は席をお譲りください。 画像・音声・映像編集用のPCを設置しています。設置PCではAdobe Creative Cloud（Photoshop、Illustrator、Premiere Pro等）が利用できます。発表用資料等の制作にご利用ください。データはUSBメモリやSDカード等各自で用意したメディアに保存してください。設置PCのハードディスクには保存できません。
	⑥AVブース	館内のAV資料や放送大学講座等を視聴できます。専用ヘッドホンを貸し出しますので、カウンターにお伝えください（要学生証）。
1 F 北 側	⑦検索PC	OPAC専用端末です。
	⑧指定図書	シラバスにテキストや参考文献として掲載されている図書を集めたコーナーです。
	⑨LLSR（語学学習支援室）	講師が語学学習の相談に対応します。 開設時間：平日の開館日8:00～17:00
	⑩グループ学習室	グループ（2名以上、2時間以内）で学習・研究を行うことができます。カウンターにお伝えください。
2 F	⑪公務員コーナー	国家公務員、地方公務員関係の資料を設置しています。
	⑫学生サポート室	相談員が悩み相談に応じます（P42◇学生サポート室参照）。
	⑬コンピュータ演習室	インターネットや、officeアプリに加え、統計解析ソフト（IBM SPSS）及びGISソフト（ESRI ArcGIS）を利用できるPCを16台設置しています。

3 メディアセンター利用にあたって

教育・研究・学習の目的で利用すること、他の利用者に迷惑をかけないこと、が原則です。

(1) 図書館内での一般的な注意事項

ここには一般的な注意事項のみを記載しますが、その他場所やサービスごとに個別ルールを設けています。掲示や職員の指示を守り、快適な空間の維持にご協力ください。

- ・ゲート内の飲食は原則禁止です。ラーニングcommons・メディアプラザでのみ蓋付き飲料をお飲みいただけます。そのほかの飲食は、エントランスの飲食可能エリアを利用してください。
- ・ラーニングcommonsにおけるディスカッション等を除き、館内では私語を慎んでください。
- ・携帯電話・スマホでの通話、無許可の写真・動画撮影は禁止します。
- ・PC使用時はイヤホンを接続するなど外部に音が漏れないようご注意ください。
- ・盗難防止のため貴重品は携行してください。図書館は一切責任を負えません。
- ・鞆・PC等の私物は一切預かりません。トイレ前のコインロッカー（料金100円は使用後に返却）等を利用し、各自で管理してください。なお、ロッカーの鍵は館外に持ち出さないでください。
- ・長時間、机に荷物のみが置かれている場合は撤去することがあります。

(2) 学内ネットワーク・情報システムを利用する際の注意事項

UNIPA、学内メール、情報ネットワーク等、大学が所有・管理する情報システム（以下、情報システム）は、学術研究及び教育、事務利用のために整備されています。各種の法令順守はもちろんのこと、情報システムの利用は、本学の「情報セキュリティ関連規程」に従ってください。また、利用に関する情報・注意喚起を適宜配信しますので、よく見ておいてください。

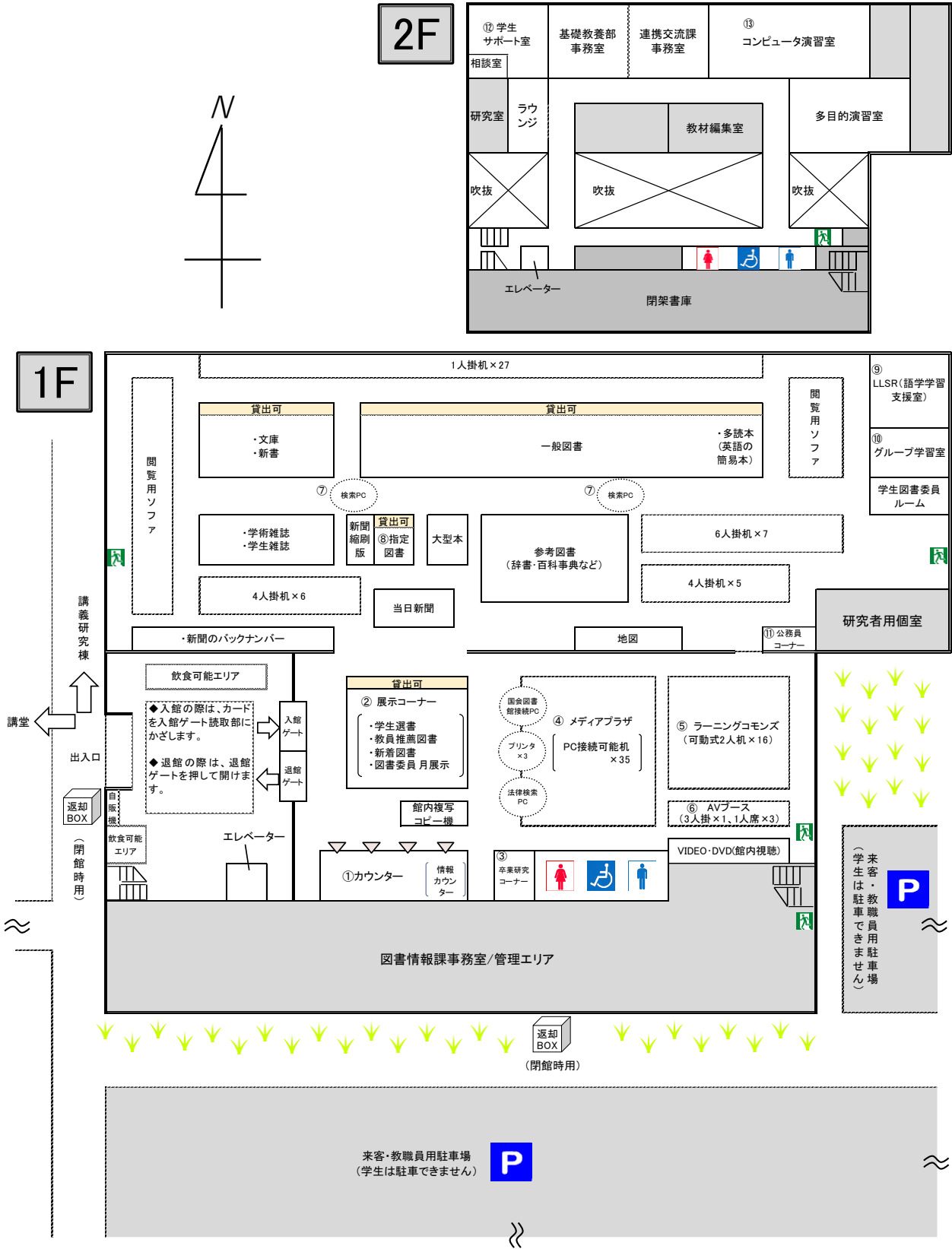
以下に、情報セキュリティ関連規程のうち、特に重要な事項を記載します。

- ・パソコンやスマートフォンに、最新のOSアップデートを適用すること。
- ・パソコンやスマートフォンに、ウイルス対策ソフトをインストールし、最新のパッチを適用すること。
- ・「システム障害」、「ウイルス感染」、「機器の紛失・盗難」等の事態を考慮し、論文や課題レポートを含め、重要なデータは各自で適宜、バックアップをとっておくこと。
- ・ユーザID、パスワードは利用者の責任で管理し、第三者へ不正使用させないこと。
- ・パスワードは、できるだけ長く、複雑で推測されにくいものにすること。また、同じパスワードを他のサービスで使いまわさないこと。
- ・不審なメールを受け取っても、添付ファイルを開封したり、リンクをクリックしたりは、絶対にしないこと。
- ・著作権等知的財産権の侵害・プライバシー侵害・名誉棄損にあたる行為をしないこと（ゲーム、音楽、映画等の違法コピーは著作権を侵害する行為です）。
- ・コンピューターウイルスを配布しないこと（自分のパソコンがウイルスに感染し、その処理を怠ったことにより、他人に被害を及ぼす場合もあります）。
- ・権限のないアクセス、データの改ざん、漏洩をしないこと。
- ・講義室等の共同設備として利用している機器の設定を変更しないこと。

また、「学内メールを使って、私的イベント等の案内を他の学生に送る」、「学内ネットワーク経由で、オンラインゲーム・趣味としての動画視聴・ネットサーフィンに興じる」等、私用目的で情報システムを利用することは厳に慎んでください。なお、学生又は学生団体が、多数の学生にメールを送る場合は、P21「14 学生の集会・掲示等」に従ってください。

4 メディアセンター配置図

※①～⑬は、59ページ「2 館内の各エリア・コーナー」の①～⑬に対応しています。



5 島根県立大学浜田キャンパス図書館 開館カレンダー

メディアセンター 1 F 図書館の開館カレンダーです。変更の際は、浜田キャンパス図書館HPでお知らせします。
 ※ 台風等自然災害警報時や緊急事態が発生した場合は、臨時閉館または閉館時間を変更する場合があります。

日付 9:00-20:00 通常の平日	日付+ 9:00-21:00 試験対応期間の平日
日付 9:00-17:00 土日、大学休業期間など	日付 休館日
	卒論対応期間の平日 祝日・年末年始休館・点検休館など

2024年												2025年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
月 1	水 1	土 1	月 1	木 1	日 1	火 1	金 1	日 1	水 1	土 1	土 1			
火 2	木 2	日 2	火 2	金 2	月 2	水 2	土 2	月 2	木 2	日 2	日 2			
水 3	金 3	月 3	水 3	土 3	火 3	木 3	日 3	火 3	金 3	月 3+	月 3			
木 4	土 4	火 4	木 4	日 4	水 4	金 4	月 4	水 4	土 4	火 4+	火 4			
金 5	日 5	水 5	金 5	月 5	木 5	土 5	火 5	木 5	日 5	水 5+	水 5			
土 6	月 6	木 6	土 6	火 6	金 6	日 6	水 6	金 6	月 6	木 6+	木 6			
日 7	火 7	金 7	日 7	水 7	土 7	月 7	木 7	土 7	火 7	金 7	金 7			
月 8	水 8	土 8	月 8	木 8	日 8	火 8	金 8	日 8	水 8	土 8	土 8			
火 9	木 9	日 9	火 9	金 9	月 9	水 9	土 9	月 9	木 9	日 9	日 9			
水 10	金 10	月 10	水 10	土 10	火 10	木 10	日 10	火 10	金 10	月 10	月 10			
木 11	土 11	火 11	木 11	日 11	水 11	金 11	月 11	水 11	土 11	火 11	火 11			
金 12	日 12	水 12	金 12	月 12	木 12	土 12	火 12	木 12	日 12	水 12	水 12			
土 13	月 13	木 13	土 13	火 13	金 13	日 13	水 13	金 13+	月 13	木 13	木 13			
日 14	火 14	金 14	日 14	水 14	土 14	月 14	木 14	土 14	火 14	金 14	金 14			
月 15	水 15	土 15	月 15	木 15	日 15	火 15	金 15	日 15	水 15	土 15	土 15			
火 16	木 16	日 16	火 16	金 16	月 16	水 16	土 16	月 16+	木 16	日 16	日 16			
水 17	金 17	月 17	水 17+	土 17	火 17	木 17	日 17	火 17+	金 17	月 17	月 17			
木 18	土 18	火 18	木 18+	日 18	水 18	金 18	月 18	水 18+	土 18	火 18	火 18			
金 19	日 19	水 19	金 19+	月 19	木 19	土 19	火 19	木 19	日 19	水 19	水 19			
土 20	月 20	木 20	土 20	火 20	金 20	日 20	水 20	金 20	月 20	木 20	木 20			
日 21	火 21	金 21	日 21	水 21	土 21	月 21	木 21	土 21	火 21	金 21	金 21			
月 22	水 22	土 22	月 22+	木 22	日 22	火 22	金 22	日 22	水 22	土 22	土 22			
火 23	木 23	日 23	火 23+	金 23	月 23	水 23	土 23	月 23	木 23	日 23	日 23			
水 24	金 24	月 24	水 24+	土 24	火 24	木 24	日 24	火 24	金 24	月 24	月 24			
木 25	土 25	火 25	木 25+	日 25	水 25	金 25	月 25	水 25	土 25	火 25	火 25			
金 26	日 26	水 26	金 26+	月 26	木 26	土 26	火 26	木 26	日 26	水 26	水 26			
土 27	月 27	木 27	土 27	火 27	金 27	日 27	水 27	金 27	月 27+	木 27	木 27			
日 28	火 28	金 28	日 28	水 28	土 28	月 28	木 28	土 28	火 28+	金 28	金 28			
月 29	水 29	土 29	月 29+	木 29	日 29	火 29	金 29	日 29	水 29+		土 29			
火 30	木 30	日 30	火 30	金 30	月 30	水 30	土 30	月 30	木 30+		日 30			
	金 31		水 31	土 31		木 31		火 31	金 31+		月 31			

- ・試験対応期間(学外者入館不可) 7/17~7/30 及び 1/27~2/7
- ・夏季休館 8/10~9/1
- ・海遊祭 10/13~10/14
- ・卒論対応期間 12/13~12/18
- ・冬季休館 12/25~1/7
- ・共通テスト 1/18~1/19、共通テスト(再試験)1/25~1/26
- ・春季休館 3/20~

VII 專任教員紹介



学長代行・副学長／教授 ^{はやし}林 ^{しゅう}秀 ^し司 HAYASHI Shushi

(1) プロフィール

福岡県出身

筑波大学第一学群自然科学類地球科学主専攻卒業

筑波大学大学院博士課程地球科学研究科地理学・水文学専攻単位取得満期退学
(理学博士)

(2) 研究テーマ 農業イノベーションの普及過程

(3) メッセージ

私の専門は人文地理学です。上記の研究テーマもその一環として取り組んできました。

最近、その他に、景観や観光の分野にも研究の幅を広げつつあります。こうした自分にとって新しいテーマに取り組むことは、たいへんですが、楽しみでもあります。書物を読んで新しい知識を得、フィールドに出かけて視野を広め、人の話を聞いてさまざまなものの見方に気づき、データを分析して自分の考察を深める。学ぶことの楽しさを改めて感じます。皆さんにも、まずはこの楽しさを味わってほしい。そして、少しずつ自らを高め、この大学の4年間で、たとえささやかであっても何かを達成してほしいと思います。ともに学んでいこうではありませんか。



国際関係学部長・総合政策学部長／教授 ^り李 ^{ぎょう}曉 ^{とう}東 Li Xiaodong

(1) プロフィール

中華人民共和国出身

北京外国語大学日本学研究センター日本文化専攻修士課程修了 (文学修士)

成蹊大学法学政治学研究科博士後期課程修了 (政治学博士)

(2) 研究テーマ 中国の思想、政治と社会

(3) メッセージ

大学での勉強は今までのような進学のための勉強ではなく、社会に役立つ自主独立な人間になるための学習です。大学では、知識を習得するばかりでなく、自分で物事を理解し、考え、判断する能力を鍛えます。私は、皆さんが真なる大人になるために心より応援します。「止於至善 (『大学』)、常に最善を目指しましょう。



地域政策学部長／教授 ^{いわ}岩 ^{もと}本 ^{ひろ}浩 ^し史 IWAMOTO Hiroshi

(1) プロフィール

兵庫県出身

京都大学法学部卒業

京都大学大学院法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得満期退学

(2) 研究テーマ 行政手続法、地方自治法 (条例論など)、環境法 (廃棄物問題など)

(3) メッセージ

……4→3→2→1→1→2→3→4……。なんのこともだかお分かりだろうか。とある競技のランクアップシステムである (前半が級、後半が段)。小さい数字ほど価値が高い場合と、大きい数字ほど価値が高い場合があることが分かる。確かに跳び箱だって段数が多い方が難しい。なぜ段が級より上なのかは知らない。数字そのものに意味はない。単位が重要。ちなみに私が知る限りで唯一、マイナスにならばなるほど価値が上がるのが AC。我ながら、マニアックな自己紹介になってしまった。



教授 ^{いし} ^だ 石 田 ^{とおる} 徹 ISHIDA Toru

(1) プロフィール

新潟県出身

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了（修士(政治学)）

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程満期退学（博士(政治学)）

- (2) 研究テーマ 日本政治史・近世～近代の日朝関係史（政治・外交・思想）・東アジア国際政治史。
近年の研究課題は主に対馬宗家文書史料を用いての「対馬藩と朝鮮との関係」や「近代移行期における華夷秩序と万国公法秩序との関係」について。

(3) メッセージ

諸君がなぜ大学に来たのについてはさまざまな理由があるだろう。ただ1つ言えることは、大学は義務教育ではないのだから、諸君は自らの意志で（つまり、来たいから）大学に来たということだ。では、大学に何をしに来たのだろうか。これもさまざまな目的があるだろうが、原点を見据えたい。大学とは、学問の場であり、自分自身の中にある疑問に気づき、それと向き合い、その疑問の答えを自分で探し出す場である。言い換えるならば、大学は“答え”を教わるところではない。敢えてさらに言えば、私は諸君に知識を伝えることはできても“答え”を教えることはできない。

諸君は、否が応でもこれからの日本を支えていく人々なのだから、一日も早く独立の気概を持ち、この大学で「自分自身の中にある問い」を自分で見つけ出し、その「答え」を見いだせるよう努めてほしい。私もするから、諸君も必死に勉強してください。本当の勉強はこれから始まるのだから。



教授 ^{いぬ} ^{つか} 犬 塚 ^{ゆう} ^じ 優 司 INUZUKA Yuji

(1) プロフィール

福岡県出身

広島大学文学部文学科言語学専攻卒業

広島大学大学院文学研究科言語学専攻博士課程前期修了（文学修士）

広島大学大学院文学研究科言語学専攻博士課程後期単位取得満期退学

- (2) 研究テーマ 中国語の文法研究

(3) メッセージ

「どこで学んだか」ではなく、「何を学んだか」が問われるようになりました。みなさんが、「何を学びたいか」をはっきりさせ、授業に臨むことを期待しています。



教授 ^{いの} ^{うえ} 井 上 ^{おさむ} 治 INOUE Osamu

(1) プロフィール

東京都出身

早稲田大学第一文学部史学科東洋史学専修卒業

早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程史学（東洋史）専攻満期退学博士（文学）

専門はモンゴル史、16世紀以降のモンゴル語文献、モンゴル語

- (2) 研究テーマ モンゴル語や漢語、チベット語で書かれた文献によって、16世紀以降のモンゴル人の政治・経済・社会の状況、異文化接触と文化変容について研究しています。最近では、モンゴル国や中国の研究者と共同して、新発見の史料や文献の研究に携わっています。

(3) メッセージ

悪いところをマイナスに評価するのは案外やさしいけれど、良いところをプラスに評価するのは意外と難しいと感じています。正しい批判の方法を学ぶことが大事だと思います。



教授 ^え ^{ぐち} ^ま ^り ^こ
江口 真理子 EGUCHI Mariko

(1) プロフィール

千葉県出身

成蹊大学文学部英米文学科卒業

成蹊大学大学院文学研究科修士課程修了（文学修士）

イリノイ大学大学院コミュニケーション&シアター学科修士課程修了（Master of Arts）

(2) 研究テーマ 国際的な共同授業、地域観光情報の対外発信

(3) メッセージ

島根県立大学は少人数でアットホームな大学です。友達がたくさんできると思います。私は石見神楽の効果的な情報発信や効果的な英語学習の研究をしています。いろいろな人との出会いを通じて、感性を磨き、成長してもらいたいと思っていますので、メールでいろいろなお誘いをします。積極的に活動に参加していただけると嬉しいです。英語を喋れるようになりたいですか？島根県立大学は実践的な英語のコミュニケーションの機会がたくさんある大学です。どんなことも最初の一步から始まります。何かの縁でこの大学に来られた皆さん、4年後に振り返った時、「こんなに遠くまで来た」と気づくことができるようになることを祈っています。



教授 ケイン・エレナ・アン Eleanor Anne Kane

(1) プロフィール

イギリス スコットランド出身

グラスゴー大学 M. A. (Hons.) English Language and Literature

スターリング大学大学院 M. Phil. Publishing

アストン大学大学院 M. Sc. TESOL

(2) 研究テーマ 内容言語統合形学習、英語教育、多読

(3) メッセージ

It can take a long time and much effort to learn other languages. However, at our university learning languages is enjoyable. Even if you never leave your home country, although all of you should try to visit another country while you are students, you will use other languages in the future. Don't worry about making little mistakes, or about your level compared to your classmates, or your accent. I like these words from Amy Chua, a Chinese-American professor and writer: 'Do you know what a foreign accent is? It's a sign of bravery. Those are people who crossed an ocean to come to this country.'



教授 ^さ ^{とう} ^{たけし}
佐藤 壮 SATO Takeshi

(1) プロフィール

一橋大学法学部卒業、一橋大学大学院法学研究科修士課程修了、一橋大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。南カリフォルニア大学大学院国際関係研究科およびマギル大学大学院政治学研究科留学を経て、2007年4月より本学に勤務

(2) 研究テーマ 国際関係理論、東アジアの安全保障問題、インド・太平洋戦略と国際秩序

(3) メッセージ

映画「プラダを着た悪魔」のワンシーン。無理難題を繰り返す上司に翻弄され、うんざりしつつも要求に応えなければクビになるアシスタントが、理不尽な状況の中で憤りを抑え自らを鼓舞するために、世界中で自分にしか聞こえないぐらいの小さな声で呟く。

“I love my job, I love my job, I love my job.”

孤独で健気な姿が涙を誘う。私もやってみた。大事なものは、映画と違って誰かに聞こえるように呟くことだ。我が家では切羽詰まった時のおまじないとなっており、これを呟くと憐んで優しくしてくれる。早口にならない程度に、しかし3秒以内で呟くのがコツだ。そうやって笑い飛ばしていけばいい。ひとりではないのだから。



教授 シローコフ・ワジム Vadim Shirokov

(1)プロフィール

ロシア連邦 モスクワ市出身
モスクワ国立大学卒業 (国立総合大学付属アジア・アフリカ諸国大学日本史・日本文化学科)
ロシア科学アカデミーの東洋学研究所にある日本研究センターの研究員
日ソ歴史家シンポジウムの事務局長
千葉大学大学院・修士課程修了 修士号 (文学)
千葉大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程退学

(2)研究テーマ ロシアの文化史、日露交流史

(3)メッセージ

モスクワ大学で日本史を勉強しましたので、日露戦争時代、明治期の日露関係史は得意の分野です。

ロシア語クラスの中で島根県以外の学生が多いので、学生の出身地とロシアとのつながりに焦点を置いています。また日露接近に大役を果たした高田屋嘉兵衛の故郷である淡路島出身の学生の方が授業のサポートをしていただいたこともあります。

神戸出身の学生がいましたら、バレンタインデーのお祝いのチョコレート交換を提案したロシア出身の神戸の実業家モロゾフを紹介します。

津和野でしたら、日本初の露和辞典を作った八杉貞利、函館でしたら、ロシアにおける初の日本の大使 榎本武揚、東京でしたら、日露交流を促進させた鳩山家、滋賀県大津でしたら、ニコライと津田三蔵の衝突は話題になります。

最近どこへ行っても、元県立大学の学生から声をかけられます。自分の彼女を紹介してくれたり、自分の社会人としての経験を話してくれたり、県大の時代をととても温かい思い出になっています。

皆さんにとっても、大学で過ごす時間が大切で良い思い出になるようになると幸いです。



教授 すずき じゅんや 鈴木 遵也 SUZUKI Junya

(1)プロフィール

京都府出身
関西学院大学経済学部卒業
関西学院大学大学院経済学研究科修士課程修了 (修士(経済学))
関西学院大学大学院経済学研究科博士課程修了 (博士(経済学))

(2)研究テーマ 地方公共サービスの供給に関する効率性
警察サービスのアウトカムおよび犯罪抑止効果
地方自治体への民間経営手法の導入

(3)メッセージ

「考える力」は仕事、スポーツ、育児といったあらゆるものに応用可能です。漠然と大学で学ぶのではなく、ぜひ主体的に考えながら大学の授業を受けてください。知識を習得することも大事ですが、それ以上に大学での学習を通じてどれだけ考える力を高められるかによって、皆さんの今後の人生は大きく変わると思います。さあ、みんなで一緒に興味の幅を広げながら、深く追求して物事を考えてみましょう。



教授 ^{てら} ^だ ^{てつ} ^し 寺田 哲志 TERADA Tetsushi

(1) プロフィール

神戸市出身

島根県立大学大学院北東アジア研究科博士後期課程単位取得満期退学（博士(社会学)）

(2) 研究テーマ 水資源および水辺環境の計量経済学的分析

(3) メッセージ

私は、社会人として働いているうちに、もう一度勉強をしたくなって本学の大学院に入学しました。「人間、いつからでもやり直せる」といいます。私もそう思うのですが、学べる環境を整えるための経済的負担には苦しみました。(つまり貧乏しました) 今、大学生として学び・生活できる皆さんの時間は貴重なものだと思います。有効に使わないと「モッタイナイ」ですよ。



教授 ^{なか} ^{むら} ^{けい} 中村 圭 NAKAMURA Kei

(1) プロフィール

関西出身

甲南大学文学部英文学科卒業

立命館大学大学院国際関係研究科博士前期課程修了（修士(国際関係学)）

同志社大学大学院社会学研究科、成城大学大学院社会イノベーション研究科、博士後期課程
（博士(社会イノベーション学)）・専門社会調査士

令和元年度 日本マネジメント学会 山城賞(本賞)受賞

(2) 研究テーマ グローバリゼーション論、アジア経営比較論、ジェンダー論、ダイバーシティ・マネジメント

中国人人材の国際流動と転職・経営・投資行動

文化の越境と伝播、インバウンド観光とオーバーツーリズム

国際医療コーディネーターの養成・普及と地域マネジメント

(3) メッセージ

みなさん、時間を見つけて、ぜひゆっくりと広大なキャンパス周辺をお散歩してください。1年中、時期が重ならないようにいつも四季折々の花が咲き、紅葉や銀杏などで彩られるように施設課や町のみなさんが美しく手入れしてくださっています。刻一刻と色と形が変化する雲と三階山の風景、海に沈みゆく壮大な夕陽、そして密になりようがないのびのびとした広い贅沢な空間！まわりに人がいないのを見計らって、ぜひマスクをとってのびのびと深呼吸してください。季節ごとに異なる風の音や香りなど、嗅覚や聴覚、触覚を駆使して豊かな自然を感じてください。いま、ここで生かされている幸せに気付くこと間違いなし！です。

いつも好奇心を持って未知のものにワクワクしましょう。未来は予測不可能だからこそ面白いのです。ここで出会えた縁を大切にしながら、なんだか面白そうなものを一緒に見つけて楽しみましょう。



教授 ^{はま} ^だ ^{やす} ^{ひろ} 濱田 泰弘 HAMADA Yasuhiro

(1) プロフィール

早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）

成蹊大学大学院法学政治学研究科博士後期課程満期退学（博士(政治学)）

早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程

(2) 研究テーマ ドイツ政治思想史・現代政治学・環境政策・高レベル放射性廃棄物最終処分場立地選定法

(3) メッセージ

教養には「型」と「遊び」の両要素があります。学問の礼儀・作法の「型」を学ぶことは重要ですが、学問には「遊び」の要素も備わっています。読解力、表現力等の「型」を身につけるだけではなく、型をルールとして守り行う「遊び」も重要です。知的な遊びから独創的な発想や思考を育むことが出来るはずです。大学時代に、知的な遊びとしての教養を楽しんでください。



教授 ^{ふく} ^{はら} ^{ゆう} ^じ
福原裕二 FUKUHARA Yuji

(1) プロフィール

岡山県出身

広島大学法学部卒業

同大学大学院国際協力研究科博士課程前期及び後期修了（博士(学術)）

韓国・啓明大学校国際学部講師、島根県立大学助手等を経て、現在に至る

(2) 研究テーマ 北東アジア国際関係史、南北朝鮮の政治・外交、近現代の日韓・日朝関係史、朝鮮半島地域研究
ボーダー・スタディーズ、北東アジアの国境漁業

(3) メッセージ

国際関係には定式化された解釈や「正しい」解答などは存在しません。耳目の欲や批判精神を十分に発揮し、果敢に自分なりの像を組み立てて下さい。

また、次のことをお忘れなく。「他人の悪業や腐敗を摘発する人間が、それによって忽ち善人になれる道理はない」。



教授 **ヘネベリー・スティーヴン Stephen Henneberry**

(1) プロフィール

アメリカ合衆国 ニュー・ハンプシャー州出身

マンチェスター大学修士課程修了

ニュー・ハンプシャー大学卒業

(2) 研究テーマ Computer Mediated Communication, Personal Learning Environments, Extensive Reading

(3) メッセージ

Why is it so easy to learn a new game, or to learn the words to your favorite song, but so difficult to study for exams? The answer is simple. Motivation. If you want to learn something, the first step is to find a way to make it both interesting and relevant to your life. Find a way to do this with all of your courses, and your time as a university student will be much more rewarding.



教授 ^{まつ} ^だ ^{よし} ^{たか}
松田善臣 MATSUDA Yoshitaka

(1) プロフィール

沖縄県出身

琉球大学工学部情報工学科卒業

琉球大学大学院理工学研究科情報工学専攻博士前期課程修了

琉球大学大学院理工学研究科総合知能工学専攻博士後期課程修了（博士(工学)）

(2) 研究テーマ 地域公共交通政策

(3) メッセージ

大学での4年間の学生生活は、長いようで結構あっという間に過ぎてしまうものです。みなさんには、この貴重な時間をぜひ有意義に過ごしてもらいたいと思います。何か1つでもいいので、熱中できるものを見つけるとよいでしょう。スポーツでも趣味でも、もちろん学問でも何でもいいので。情熱を持って取り組めば、きっと充実した学生生活を過ごすことができるはずです。みなさんに負けないくらい、私も充実した毎日を過ごせるよう精一杯頑張ります！



教授 ^み ^{うら} ^{くに} ^{ひこ}
三 浦 邦 彦 MIURA Kunihiko

(1) プロフィール

東京都出身
大東文化大学外国語学部英語学科卒業
東京都立中学校に勤務
英国エクセター大学（文部科学省海外派遣研修）
東京大学教育学部附属中等教育学校に勤務
東京大学にて英語科教育法担当（非常勤講師）
英国バーミンガム大学 TEFL/TESL 修士課程修了（TESL/TEFL 修士）
大東文化大学外国語学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学（博士(英語学)）

(2) 研究テーマ 英語教授法、コーパス言語学、第二言語習得研究

(3) メッセージ

英語という「ことば」を色々な視点から皆さんと共に学んでいきたいと思ひます。

最新の ICT を活用した英語学習方法について皆さんと情報交換をして様々な学習方法を共有していければと思ひます。英語を学ぶことを通して、英語という「ことば」の使われ方についての関心、様々な分野に関する関心を共に深めたいと思ひます。



教授 ^{みつ} ^{のぶ} ^{ただ} ^{ひこ}
光 延 忠 彦 MITSUNOBU Tadahiko

(1) プロフィール

学部卒業後、民間放送会社の勤務を経て学問の世界に入りました。
専門は、現代日本政治です。選挙やメディアなど、昨今の政治や行政の課題について一緒に学びましょう。本学では行政学や地方自治論を講じています。
法学修士（東京大学）法学博士（千葉大学）

(2) 研究テーマ 政治学（理論）、公共政策学、行政学、現代日本政治、戦後日本政治史

1. 政治理論の中の統治可能性についての有用性と限界性とを政策過程において検討。
2. 新しい社会現象に対する行政機関の公共政策化への理論的貢献。
3. 戦後日本政治に対するマス・メディアと世論の関与の実証分析。

(3) メッセージ

1. 自身の体を厭うこと。
2. 暇があればスポーツをすること。
3. とにかく物事はよく考えてみること。
4. 親を大切にすること。
5. 「優れた人は静かに身を修め、徳を養う。無欲でなければ志は立たず、穏やかでなければ道は遠い。学問は静から、才能は学から生まれる。学ぶことで才能は開花する。志がなければ学問の完成はない。」（諸葛孔明の『誠子書』より解釈）



教授 ^{むら} ^い ^{しげ} ^き
村 井 重 樹 MURAI Shigeki

(1) プロフィール

香川県出身
慶應義塾大学文学部卒業
慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程修了（修士(社会学)）
慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学（博士(社会学)）

(2) 研究テーマ 社会学理論（特にピエール・ブルデューの研究）・文化社会学（特に食の社会学的研究）

(3) メッセージ

学生時代に多くの人や社会や文化に触れ、多様な経験を積み重ねることで、自分の知的関心を広げるようにしてください。そして、そこで発見した諸問題を、大学での学問やさまざまな現場での体験を通して、とことん考え抜いてください。



教授 ^{むら やま} 村 山 ^{まこと} 誠 MURAYAMA Makoto

(1) プロフィール

神奈川県出身

青山学院大学大学院法学研究科ビジネス法務専攻修士課程修了（修士(ビジネス法務)）

明治大学大学院商学研究科商学専攻博士前期課程修了（修士(商学)）

明治大学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程修了（博士(商学)）

- (2) 研究テーマ 情報の不確実性下における人間の選択行動モデルに関する研究
組織の活性化に関する研究

(3) メッセージ

みなさんは、大学や社会から多くのことを学ぶ過程において、なんとなく理解したつもりであることが多いと思います。なんとなく理解したつもりでは、知識は身につきません。常に「なぜ、どうして」を繰り返し、問題（物事）の本質に迫れるように努力してください。こうした「なぜ、どうして」を繰り返すことによって、みなさんの知識が本物になることを期待しています。



教授 ^{やま もと} 山 本 ^{けん そう} 健 三 YAMAMOTO Kenso

(1) プロフィール

広島県出身

中央大学法学部卒業（法学士）

モスクワ大学哲学部卒業（政治学修士）

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了（博士(学術)）

- (2) 研究テーマ ロシア・ナショナリズム、アナーキズム運動史

(3) メッセージ

どんな学問も、基本的には、身に降りかかってくる様々な問題に「対処」する方法を学ぶことを目的として始まりました（「解決」ではなく、「対処」なのは、問題の解決が常によい結果をもたらすとは限らないからです）。つまり、実生活と関わりのない学問など、ありえません。授業や書物から得た学説が身の回りの出来事とどう関わっているのか、考える習慣をつけることを勧めます。学問は意外に役に立つことに気づかれると思います。



准教授 ^{い どう} 伊 藤 ^{ゆたか} 豊 ITO Yutaka

(1) プロフィール

秋田県出身

東京農工大学工学部卒業（学士(工学)）

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所修士課程修了（修士(経営学)）

東北大学大学院環境科学研究科博士課程（博士(環境科学)）

- (2) 研究テーマ
- ・地域資源を活用したカーボン・ニュートラルと地域課題の解消に関する研究
 - ・乾燥地域での外来種を活用した緑化・温暖化対策の検討
 - ・住民参加型の文化財保全に関するプラットフォームの構築と設計

(3) メッセージ

問題を発見する力や、それを解決するアイデアの創造性や行動力、自分の考えをしっかりと表現して様々な人たちを巻き込む力が、色々な場所で求められています。地域が抱える問題に取り組んで問題を解決することを考える機会は、これらの力を養う良い環境と言えるでしょう。ぜひ、この環境の中で一步を踏み出すことを恐れず、前向きな思考と行動力を身につけて欲しいと思います。



准教授 ^{おかもと} 岡本 ^{ひろし} 寛 OKAMOTO Hiroshi

(1) プロフィール

岡山県出身
 東京都立大学法学部法律学科卒業
 東北大学大学院法学研究科博士課程後期満期退学
 東北大学法学部・法学研究科助教

(2) 研究テーマ 戦間期日本の憲法理論史

(3) メッセージ

「権力の制限」を課題とする立憲主義は、西欧文化の下で築きあげられてきました。その後、文明国家と専制（非文明）国家を分かつものとして、「近代憲法」を備えているか否か、が一つの標識とされてきたのは周知のとおりです。明治期以降、非西欧諸国の中では先駆的に立憲主義の旗を掲げてきた日本社会は、これをどこまで定着させることができたのでしょうか。立憲主義の論理とは何か、立憲主義を駆動させる心理とは何か、立憲政治を可能とする社会・経済的諸条件は何か。これらの点について、皆さんとともに考えてみたいと思います。



准教授 ^{かど} 角 ^{よく} 能 KADO Yoku

(1) プロフィール

京都府出身。
 東京大学教育学部卒業。
 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。
 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学（博士(教育学)。）

(2) 研究テーマ ターミナルケア、家族支援、社会保障

(3) メッセージ

さまざまな人、物、書物に触れて、新しい考え方をたくさん学んでください（何か新しい考え方のヒントがないか探してみてください）。そして学んだことを（自分や世間の常識を見直すことも含めて）自分なりに整理して、活用してみてください。同時に、地道な行動も大切にしてください。大学生活をそのようなきっかけとして活用していただければ、この上なく幸いです。私自身もそのようなきっかけづくりの一役を担いつつ、皆さんからたくさん学びたいと考えています。一緒に楽しんで授業を作っていきましょう。



准教授 ^{かん} 姜 ^{よん} 英 ^{すく} 淑 Kang Youngsuk

(1) プロフィール

東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻言語学専門分野修士課程修了（文学修士）
 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻言語学専門分野博士課程修了（文学博士）

(2) 研究テーマ 音韻論、韓国語諸方言のアクセント研究、韓国語教育

(3) メッセージ

1つの言語を学ぶことは「1つの世界の広がり」を意味し、外国語のコミュニケーション能力を身につけ、異文化理解を深めることはグローバルを目指す学生達に役立つと思います。言語的にも文化的にも共通性のある韓国語はアプローチしやすいと思います。楽しみながら、積極的に学んでいきましょう。



准教授 ^こ高 ^{いる}一 Ko Il

(1)プロフィール

一橋大学大学院法学研究科修士課程修了 修士 (法学)
一橋大学大学院法学研究科博士課程修了 博士 (法学)

(2)研究テーマ 東アジア国際関係史、北朝鮮外交史、冷戦史

(3)メッセージ

この世の中はいろいろな情報であふれています。ニセモノにまどわされないためには、世界をみる眼を養う必要があるのではないのでしょうか。自分の手で集めた事実に向き合い、考え、そして行動できるようになりたいものです。



准教授 ^さ佐 ^さ々 ^き木 ^{しん}真 ^{すけ}佑 SASAKI Shinsuke

(1)プロフィール

熊本県出身
一橋大学商学部経営学科卒業
一橋大学大学院国際企業戦略研究科専門職学位課程修了 (MBA)
日本政策金融公庫 シンクタンク部門
日本政策金融公庫 企画管理部門

(2)研究テーマ 中小企業と事業承継
中小企業と地域金融

(3)メッセージ

心から夢中になれることを見つけて欲しいと思います。不思議に思った瞬間、もっと知りたいと感じた瞬間一つ一つを、ぜひ大切にしてください。そうした瞬間は、多様な経験から生まれます。たくさんの人や本と出逢ったり、時には自分の知らない世界に飛び込んだりすることも必要でしょう。大学は、それができる最高のステージです。皆さんが躍動できるよう、私も精一杯サポートしていきます。



准教授 ^{しま}島 ^だ田 ^{しょう}祥 ^ご吾 SHIMADA Shogo

(1)プロフィール

島根大学大学院教育学研究科修士課程修了 (修士(教育))
広島大学大学院総合科学研究科博士課程単位取得後退学

(2)研究テーマ 英語学、コーパス言語学、辞書学

(3)メッセージ

英語という言語は難しく、しかし面白い言語である。今までの英語学習では知ることのなかった言語現象と一緒に考察していきましょう。



准教授 ^{たて い じゅん こ} 建井 順子 TATEI Junko

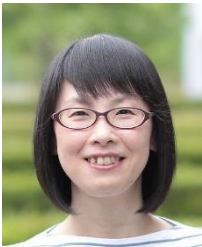
(1) プロフィール

鳥取県出身
 静岡県立大学国際関係学部国際関係学科卒業
 ロンドン大学東洋アフリカ研究学院法学社会科学部経済学科修士課程修了(修士(経済学))
 東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学(博士(経済学))

- (2) 研究テーマ
- ・持続可能な地域経済活性化
 - ・地域産業の成長プロセス
 - ・地域と女性起業家

(3) メッセージ

最近 King Gnu を聴くようになり、大学在学中にバンドを組んでいた時の楽しさとほろ苦さを思い出しました。今ではバンドマンの片鱗すら残っていませんが、あらゆるジャンルの音楽好きの人を応援しています。ぜひ語り合しましょう。



准教授 ^{た なか てる み} 田中 輝美 TANAKA Terumi

(1) プロフィール

島根県浜田市出身、在住
 大阪大学文学部卒業
 山陰中央新報社報道部記者を経て、フリーのローカルジャーナリストに
 大阪大学人間科学研究科修士課程修了(修士 人間科学)
 大阪大学人間科学研究科博士課程修了(博士 人間科学)

- (2) 研究テーマ
- ・人口減少時代の地域づくり
 - ・ローカルジャーナリズム

(3) メッセージ

日本全体の人口が減っていく人口減少時代において、地域づくりのゴールとはなんだと思いますか？人口が増えること、なのでしょうが？簡単には答えが出ない難しい問いですが、だからこそ、考え続ける意味と面白さがあります。そして人口減少の最先端である島根県、中でも浜田キャンパスがある石見地方は、この問いを考える最高のフィールドでもあります。一緒に学びながら、粘り強く向き合っていきましょう。



准教授 ^{ちよう いつ おう} 張 軼 欧 Zhang Yiou

(1) プロフィール

中国の山東省出身
 南昌大学外国語学部英米文学科卒業
 関西大学大学院中国語中国文学研究科修士課程修了(修士(文学))
 関西大学大学院中国語中国文学研究科博士課程(文学) 単位取得満期退学

- (2) 研究テーマ 中国語教育文法、中国語教授法、中国文化、中国文学

(3) メッセージ

中国には古くから「読万卷書、行万里路」という言葉があります。学校内での勉強はいうまでもなく、海外に赴いて異文化を自分の肌で感じ、見聞を広げることも進んで行ってください。

また、「天道酬勤」という言葉もあります。すぐに結果がでないかもしれませんが、基礎を固めて寸暇を惜しんで幅広く勉学に勤しんでください。努力はかならず報われます。自然豊かな県立大学で自身を磨き、皆さんの未来が輝くことを楽しみにしています。



准教授 ^{ちよん} 鄭 ^{せ ふあん} 世 桓 Jeong Saehwan

(1) プロフィール

韓国 釜山出身

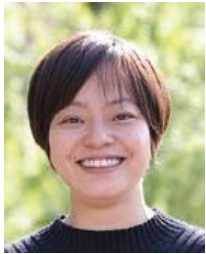
東京外国語大学大学院地域文化研究科博士課程前期課程修了

東北大学大学院国際文化研究科博士課程後期課程修了

(2) 研究テーマ 日韓対照言語学、歴史言語学、韓国語学、日本語学

(3) メッセージ

「大学」は「高校」の延長線にある「教育機関（研究機関と言った方がよりいいでしょう）」とは言え、縛られた教育ではなく、「開かれた教育」が行われるところだと思います。つまり、「大学生」という身分は学生でありつつも、自分の行動に責任を持つべき立派な大人の世界でもあります。立派な大人としてこれからの大学生活をどのように過ごすかは皆さん次第です。恐れず、自分の可能性に挑戦してはどうでしょうか。そしてその挑戦に向かって頑張るよりは思いっきり楽しんでもらいたいです。



准教授 ^{とよ た} 豊 田 ^{とも よ} 知 世 TOYOTA Tomoyo

(1) プロフィール

岡山県出身

広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期修了（博士(学術)）

日本学術振興会特別研究員、総合地球環境学研究所プロジェクト研究員

国際協力機構 JICA 研究所リサーチアソシエイトを経て現職。

(2) 研究テーマ 再生可能エネルギー、木質バイオマス、地域経済循環、環境影響評価など。

(3) メッセージ

自由な時間が増える大学時代は、新しいことにチャレンジできる期間です。大学生活を楽しみながら、たくさん経験の積み、視野を広く持って、いろんなことを吸収してほしいと思います。環境問題をはじめ、私たちが直面している課題は、一つの視点からだけではなく、複合的な視点が不可欠です。大学生活の中で、物事をいろんな角度から見る目を養いつつ、今の自分や自分を取り巻く環境について再考してみましよう。



准教授 ^{はま の} 濱 野 ^{せい いち ろう} 靖 一 郎 HAMANO Seiichiro

(1) プロフィール

東京都出身、前職は海陽中等教育学校教諭

立正大学文学部国文学科卒業

二松学舎大学大学院文学研究科中国学専攻博士前期課程修了（修士(文学)）

法政大学大学院政治学研究科政治学専攻修士課程修了（修士(政治学)）

法政大学大学院政治学研究科政治学専攻博士後期課程修了（博士(政治学)）

(2) 研究テーマ 日本政治思想史（近世から近代にかけて）

日本政治史（近代から終戦にかけて）

政治理論（統治理論・権力論を中心に）

(3) メッセージ

遙か昔から現代に至るまで、この日本列島で暮らしてきた人々は、何を考え・行動してきたのでしょうか。そしてそれらは今を生きる私達の中で、どのように息づいているのでしょうか。「日本政治思想史」とは、それを考えていく学問です。現在の島根県を中心とする地域の人々の、歴史・思想について一緒に勉強していきましょう。それは、皆さんが将来の日本、とりわけ島根県を作っていくための、確かな礎となるのですから。



准教授 ^{はりもと} 播本 ^{たかふみ} 崇史 HARIMOTO Takafumi

(1) プロフィール

東京都出身
 東洋大学文学部中国哲学文学科卒業（学士(文学)）
 東洋大学大学院文学研究科中国哲学専攻博士前期課程修了（修士(文学)）
 東洋大学大学院文学研究科中国哲学専攻博士後期課程修了（博士(文学)）

(2) 研究テーマ 中国哲学（主に朱子学・陽明学）、明末清初期の中国キリスト教思想、近代日本思想（西周の思想哲学）

(3) メッセージ

多様なモノの見方・考え方を身につけることが重要です。狭い知見に囚われず、広範な基礎的知識の獲得を目指しましょう。どんなに些細なことであっても「なぜだろう？」といった疑問をないがしろにせず、「常識」をも疑い、知的謙虚さを忘れず、時には立ち止まって「考える」ことも大切なことだと思います。自分の「足元」を見つめ直すことから、きっと新しい何かが生まれることでしょう。一緒に考えていきましょう。



准教授 ^{ふか} 深 ^{くし} 串 ^と 徹 ^{おる} FUKAKUSHI Toru

(1) プロフィール

埼玉県出身
 青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科卒業
 青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士課程修了（修士(国際政治学)）
 青山学院大学大学院国際政治経済学研究科博士後期課程修了（博士(国際政治学)）

(2) 研究テーマ 中国語圏の政治と社会
 台湾における歴史認識
 東アジアの障害者政策

(3) メッセージ

中国語圏の政治や社会について研究しています。一口に中国語圏と言っても、各地で様々な特色がありますし、歴史的にも大きく変化を遂げてきました。ですから、「中国は」とか、「中国人は」というふうに、単純化して語るのは、実はとても難しいものです。しかし、どんなことでもそうですが、複雑であるがゆえの面白さ、この先どのように変わるか見通せないがゆえの興味深さがあります。分かりにくさを楽しみながら、一緒に学んでいきましょう。



准教授 ^{みや} 宮 ^{した} 下 ^{せい} 聖 ^し 史 MIYASHITA Seishi

(1) プロフィール

長野県出身
 立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程前期課程修了（修士(社会学)）
 立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程後期課程修了（博士(社会学)）
 長野大学復興支援コーディネーター、長野県住民と自治研究所事務局長、立命館大学共通教育推進機構講師（サービスマネジメント担当）等を経て現職

(2) 研究テーマ 人口減少下の地域政策と地域づくり
 多様な生き方やつながり方に関する調査研究
 シチズンシップ教育の実践と方法論の探究

(3) メッセージ

いまは「生き方の正解のない時代」です。そのことは、「なにを学ぶか」＋「だれと学ぶか」という点に学びの価値が見出されるようになってきたことを意味しています。教室での学びと合わせて、地域にでて、いろいろな生き方をする人生の先輩に出会い、一生懸命物事に取り組んでください。自分が自分らしくいられると感じる居場所や一生かけて取りくんでいきたいと思えるテーマをぜひ見つけてください。皆さんとともによい学びの機会を得られることを楽しみにしています。



准教授 ^{むんふだら} 孟 達 来 Mǒngkedalai

(1) プロフィール

中国 内モンゴル自治区出身
 中央民族大学民族言語文学部卒業
 中国社会科学院大学院民族学研究科博士課程修了（博士(文学)）
 東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程単位取得満期退学（博士(学術)）

(2) 研究テーマ モンゴル語とアルタイ諸語、漢語と漢字音訳、中央アジア・北東アジア言語文化交流

(3) メッセージ

私の関心分野は、大まかに言って二通りあります。一つは、アルタイ諸語という、中央アジアから北東アジアにかけて分布する言語のことです。日本語と韓国語もアルタイ型言語と言われます。もう一つは、漢字音訳という、歴史上、漢語の周辺諸言語の表記に長らく用いられてきた言語表記のことです。そして、日本は、アルタイ型言語と漢字文化が接触・融合した国であると言えます。身近なところから広がってゆく言語と文化を、一緒に学んだり考えたりしたいと思っています。



講師 ^{おおむろ} 大室・メリッサ・ハントリー Melissa Huntley Omuro

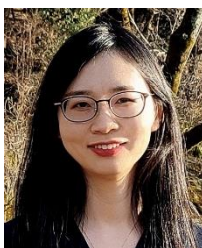
(1) プロフィール

アメリカ合衆国 アイオワ州出身
 サウスイーストミズリー大学院、修士 (TESOL)
 ビューナビスタ大学 (心理学、哲学、宗教学)

(2) 研究テーマ 比較文化心理学、留学から帰国した学生、英語教育

(3) メッセージ

The purpose of language is communication. The purpose of communication is to understand other people and to be understood by other people. Studying a second or third language increases our experiences. And each experience we have is a chance to improve our understanding and connection of the world and ourselves.



講師 ^か 賈 ^{えつ} 悦 Jia Yue

(1) プロフィール

中国寧夏回族自治区出身
 寧夏大学外国語学部卒業
 中央大学大学院法学研究科民事法専攻博士前期課程修了（修士(法学)）
 中央大学大学院法学研究科民事法専攻博士後期課程在学中

(2) 研究テーマ 離婚後の親子関係のあり方

(3) メッセージ

大学時代は、人生で最も自由に時間の使い方を決めることができ、多くの機会や無限の可能性に溢れた時期です。この時期でしか経験できないこともたくさんあります。社会に出る前の大切な時間を過ごすにあたり、皆さんには好奇心を持って物事に積極的に挑戦していただきたいと思っています。学問はもちろん、サークルやアルバイト、ボランティア活動など様々なことを経験して、多くの人と出会うことで、自分の世界を広げてください。皆さんが何か人生の支えとなるようなものに出会えることを願っています。



講師 くわ だ けい た ろ う 桑 田 敬 太 郎 KIWADA Keitaro

1) プロフィール

東京都出身
 東洋大学経営学部経営学科卒業
 神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程経営学専攻（修士（経営学））

(2) 研究テーマ イノベーション・マネジメント、特に、科学技術を基礎としたイノベーション・エコシステムのデザインと社会実装が現在の研究関心となっております。

(3) メッセージ

みなさんには、論理的かつ複眼的な思考をし、自ら実践・行動していく能力を身につけてほしいです。経営学の理論を学ぶことにより、論理的に理解できること、また抽象的な理論と現実の実践との関係を理解できるようになることの面白さを学んでもらいたいと思います。また、地元の産業に興味を持ち、積極的に地元の産業に貢献することはもちろん、グローバル化が急速に進展した国際的な社会でも、自分が思考してそれを実践していく能力を身につけてほしいです。



講師 す はら な つ み 須 原 菜 摘 SUHARA Natsumi

(1) プロフィール

東京都出身
 静岡大学人文社会科学部経済学科卒業
 横浜国立大学大学院国際社会科学府博士課程前期修了（修士（経済学））
 横浜国立大学大学院国際社会科学府博士課程後期修了（博士（経済学））

(2) 研究テーマ 本社機能活動、東京一極集中の問題、産業連関分析、地域経済政策、経済統計

(3) メッセージ

今のあなたに乗り越えられない壁は、目の前に現れてきません。目の前に現れる課題は、ちょうどいい具合に、あなたがもうひと踏ん張りすればクリアできるものということです。すべては最良に向かっていているということを感じて、少しでも動いてみましょう。



講師 にし じま かず ひろ 西 嶋 一 泰 NISHIJIMA Kazuhiro

(1) プロフィール

東京都出身
 立命館大学文学部学際プログラム卒業
 立命館大学大学院（一貫制博士課程）
 先端総合学術研究科満期退学
 一般社団法人しまね協力隊ネットワーク理事

(2) 研究テーマ ・日本の祭り ・地域おこし協力隊 ・デジタルアーカイブ

(3) メッセージ

課題もたくさんある島根ですが、地域で面白いことをはじめている人が数多くいます。まず一歩、地域に出るところから始めましょう。地域のためにできること、自分ならできることを考え、学び、試してみる、そんなことが一緒にできたら嬉しいです。特に、石見神楽、祭り、映像制作、取材記事制作、どれかに興味がある学生は気軽に声をかけてください。



講師 ^{ひら} ^い ^{とし} ^{あき}
平井俊旭 HIRAI Toshiaki

(1) プロフィール

神奈川県出身

武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業

インテリアデザイン事務所 (株)Super Potato 勤務

(株)Smiles にて Soup Stock Tokyo 等のクリエイティブディレクターを務める。

雨上 (アメガル) 株式会社設立 ブランディングや事業のプロデュースを行う。

株式会社共立 (トモダチ) 設立 次世代漬物「10% I am」の運営を行う。

一般社団法人 ヨリシロ設立 石見銀山まちを楽しくするライブラリーの運営を行う。

(2) 研究テーマ 地方での事業の実践とブランディングの試みの検証

(3) メッセージ

自分の仕事にはいつも正解がありません。机上の論理と実践は全く異なります。自分の頭で考えて実践し、振り返って改善する。知った気になっていないでとにかくやってみること。学生のみなさんの新鮮な考え方から、自分も学ばせていただきたいと思っています。



講師 ^{むら} ^{おか} ^し ^{おり}
村岡詩織 MURAOKA Shiori

(1) プロフィール

島根県出身

宮崎大学工学部土木環境工学卒業

宮崎大学大学院工学研究科博士前期課程修了 (修士(工学))

九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻修士課程修了 (修士(芸術工学))

(2) 研究テーマ インクルーシブデザイン手法を用いた有権者の投票体験の改善、子育てサービスの情報デザイン、市民視点の公共政策立案

(3) メッセージ

まちを形成するのは人です。人がまちをどのように知覚し、体験し、どのようなニーズを抱えているのかは様々です。それらの「違い」を「まちの力」に変えるために、自分には何ができるか? 大学というフィールドを存分に使って探究していきましょう。デザインの切り口からそのサポートができると嬉しいです。



講師 ^{わた} ^{なべ} ^{けい}
渡辺圭 WATANABE Kei

(1) プロフィール

東京都出身

桜美林大学経済学部経済学科卒業

ロシア連邦モスクワ国立大学哲学部宗教学科修士課程修了 (修士(宗教学))

千葉大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程修了 (博士(文学))

(2) 研究テーマ ロシア正教会史、ロシア宗教思想史

(3) メッセージ

世界は驚きに満ちています。人は「地域」という視点からも、「グローバル」という視点からも沢山のことを学ぶことが出来ます。島根県に住み、そして海外の文化や言語を学んでいくことは貴重な体験になると思います。本学の学生の皆様が、授業やサークル活動等を通じて様々な体験をし、実り多きキャンパスライフを送ることを願っています。



助教 ^た ^{なか} ^{のり} ^え 田 中 典 枝 TANAKA Norie

(1) プロフィール

カリフォルニア州立大学言語学部第二言語習得法研究科卒業

日本大学大学院総合社会情報研究科修了（修士（文化情報））

駿台クアラルンプール校、バンコク校講師、島根県立大学総合政策学部非常勤講師

(2) 研究テーマ 英語教育学、第二言語習得、英語学習動機づけ

(3) メッセージ

日本から出て、色々な国で働いてみました。中国、マレーシア、シンガポール、アメリカ、香港、タイ。気がついたのは、どの国の人々も同じ人同士であるということでした。話す言語・文化は違っても、全力で理解し歩み寄りたいという気持ちがあれば通じ合えるということでした。反対に理解したいという思いがなければ、同じ言葉を話している者同士でさえも通じ合えないということでした。人と人の繋がりは未来へ繋がります。自分一人の目で物事を見るより、二人、三人で見る方が視野は広がります。皆さんの周りに目を向け、刺激を受け続けてください。



助教 ^{みょう} ^{せい} 苗 婧 Miao Jing

(1) プロフィール

中華人民共和国出身

中国寧夏大学外国語学部日本語学科卒業（文学学士）

島根県立大学大学院北東アジア開発研究科北東アジア専攻

博士前期課程修了（修士（社会学））

島根県立大学大学院北東アジア開発研究科北東アジア超域専攻

博士後期課程修了（博士（社会学））

(2) 研究テーマ 中国近代史、近代中国思想史

(3) メッセージ

大学は、自分を再発見し、自分を成長させる場所だな、と学生生活を振り返った際に思いました。世界に目を向け、他の国と地域を知ることによって、自分が生きている土地を理解します。また、歴史を勉強し、過去と対話することによって、自分が生きている時代を理解します。大学での勉強によって、ある時間と空間の交差点に立つ自分を認識することができます。日本海を望むこの大学で、素晴らしい知的な旅を通して、多くの枠から自分を解放し、自己再発見、自己成長する喜びをぜひ味わっていただきたいです。

VIII 大学概要

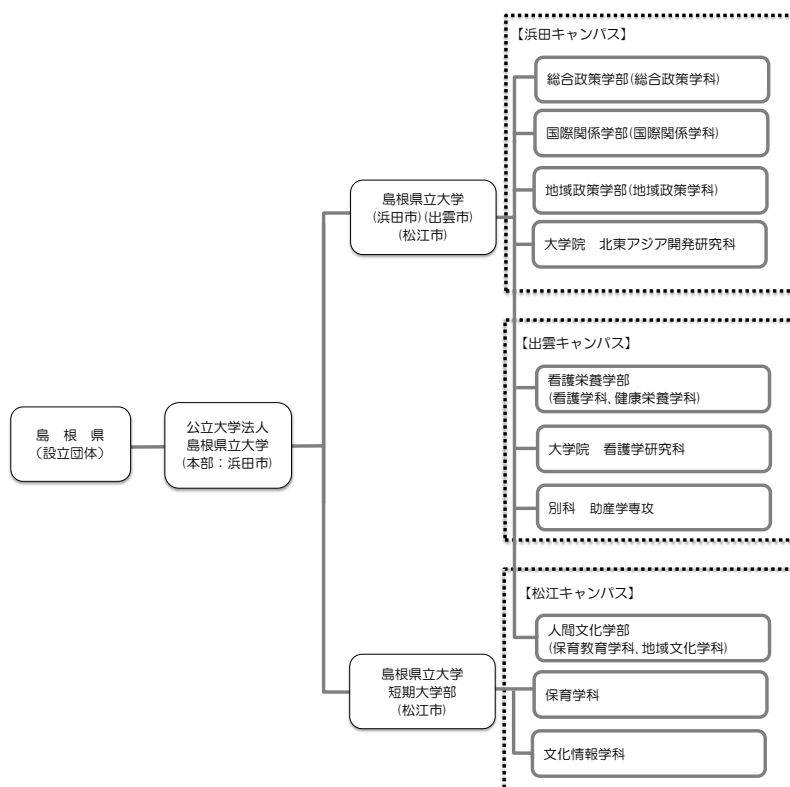
1 大学概要

(1) 沿革

- 平成 5 年 4 月 島根県立国際短期大学開学
- 平成 11 年 4 月 島根県立大学設置認可申請
- 平成 11 年 12 月 島根県立大学設置認可
- 平成 12 年 4 月 島根県立大学開学
- 平成 13 年 3 月 島根県立国際短期大学閉学
- 平成 15 年 4 月 島根県立大学 大学院開設（北東アジア研究科博士課程、開発研究科修士課程）
- 平成 16 年 3 月 島根県立大学第 1 回卒業証書授与式挙行
- 平成 17 年 3 月 島根県立大学大学院第 1 回修士学位記授与式挙行
- 平成 18 年 3 月 島根県立大学大学院第 1 回博士学位記授与式挙行
- 平成 19 年 4 月 公立大学法人島根県立大学設立
- 平成 21 年 4 月 島根県立大学大学院北東アジア開発研究科開設（博士前期課程：北東アジア専攻・地域開発政策専攻、博士後期課程：北東アジア超域専攻）
- 平成 22 年 3 月 島根県立大学大学院開発研究科廃止
- 平成 24 年 4 月 島根県立大学看護学部開設（出雲キャンパス）
- 平成 25 年 10 月 島根県立大学大学院北東アジア研究科廃止
- 平成 27 年 4 月 島根県立大学別科助産学専攻開設（出雲キャンパス）
- 平成 28 年 4 月 島根県立大学院看護研究科開設（看護学専攻：修士課程）
- 平成 30 年 4 月 島根県立大学人間文化学部（松江キャンパス）、看護栄養学部（出雲キャンパス）開設
- 平成 31 年 4 月 島根県立大学大学院看護学研究科博士後期課程開設
島根県立大学大学院看護学研究科修士課程を博士前期課程に変更
- 令和 3 年 4 月 島根県立大学国際関係学部、地域政策学部（いずれも浜田キャンパス）開設

(2) 大学の統合・法人化について

平成 19 年 4 月に新たに設立された公立大学法人島根県立大学が、島根県立大学（浜田キャンパス・出雲キャンパス・松江キャンパス）及び島根県立大学短期大学部（松江キャンパス）を一体的に運営しています。



(3) 大学院、学部・学科の概要（浜田キャンパス）

大学院

研究科	課程	専攻	入学定員	収容定員
北東アジア開発研究科	博士前期課程	北東アジア専攻	5人	10人
		地域開発政策専攻	5人	10人
	博士後期課程	北東アジア超域専攻	2人	6人

学部・学科

学部・学科	コース	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
総合政策学部 総合政策学科	—	(学生募集停止)	(学生募集停止)	900人
国際関係学部 国際関係学科	国際関係コース 国際コミュニケーションコース	90人	4人	368人
地域政策学部 地域政策学科	地域経済経営コース 地域公共コース 地域づくりコース	140人	6人	572人

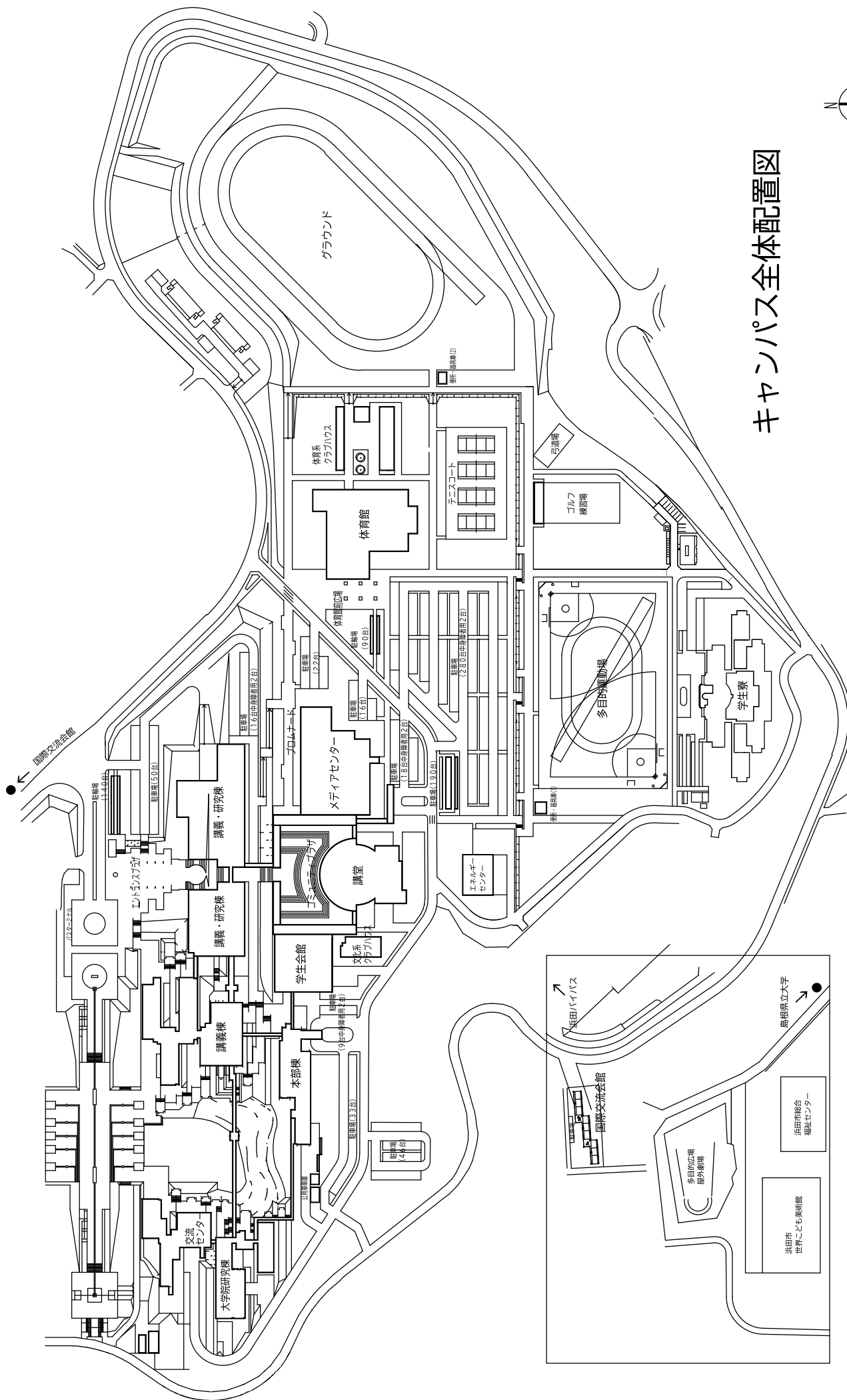
(4) 教員組織

専任教員						非常勤講師
教授	准教授	講師	助教	助手	計	
22人	17人	8人	2人	0人	49人	63人

(注) 上記人数は、大学院及び学部を合わせたものです。

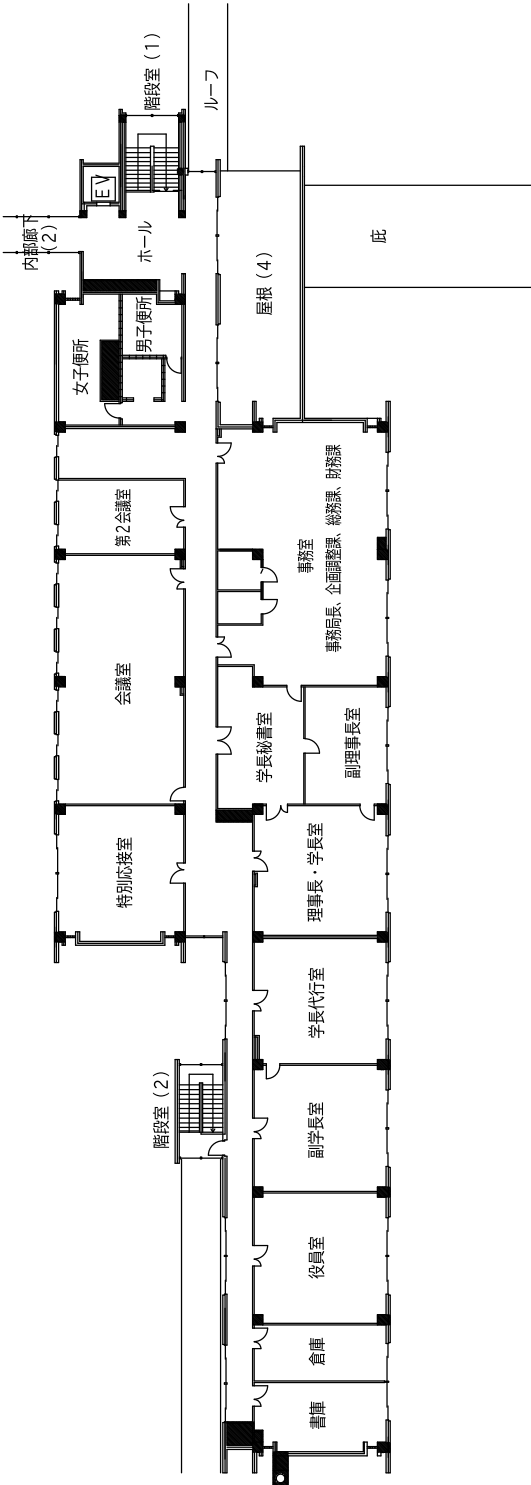
Ⅸ 教室等配置図

施設の名称	施設の主な内容	
本部棟	2階	理事長・学長室、副理事長室、学長代行室、副学長室、役員室 学長秘書室、事務室(事務局長、企画調整課、総務課、財務課) 特別応接室、会議室、第2会議室
	1階	事務室(事務局次長、学務課：教務係、学生支援係) キャリア支援室、アドミッション室 キャリアサポートルーム 医務室、管理センター、守衛室 ミーティングルームA・B 〔♿車椅子設置場所〕 〔★AED設置場所〕
講義・研究棟	3階	教授会用会議室、大演習室1、大演習室2(テレビ会議室) 演習室14・15、研究室301～331、教員談話室、会議室C・D 非常勤研究室
	2階	演習室1～13、ラウンジ、教員・学生談話室、L A r o o m 研究室201～230、共同研究室 会議室A・B 〔★AED設置場所〕
	1階	大講義室1、中講義室1～5 〔♿車椅子設置場所〕
講義棟	2階	大講義室2、中講義室6
	1階	小講義室1～7、演習室16・17、ラウンジ 〔♿車椅子設置場所〕
メディアセンター	2階	コンピュータ演習室、多目的演習室、教材編集室 ラウンジ、研究室、基礎教養部 事務室(連携交流課：地域連携室、国際交流係) 学生サポート室、相談室
	1階	閲覧室、ラーニング・commons、メディアプラザ、語学学習支援室 グループ学習室、研究個室1～6 図書館長室、事務室(図書情報課)、会議室 公務員コーナー
学生会館	食堂、売店、自販機コーナー、談話コーナー	
文化系クラブハウス	学生集会室、学友会室、アトリエ、部室	
体育館	アリーナ、武道場、トレーニング室、シャワー室、体育教官室、会議室 〔♿車椅子設置場所〕〔★AED設置場所〕	
体育系クラブハウス	部室	
講堂	ホール、ミーティングルーム、控室1・2 〔♿車椅子設置場所〕	
大学院研究棟	2階	大学院セミナー室 T A ・ R A 研究室、大学院博士後期課程研究室1～4 大学院ミーティング室、大学院博士前期課程研究室
	1階	(旧)N E A R センター長室 大学院北東アジア開発研究科研究科長室、研究室1・2 客員研究室1・2、事務室、大学院特別資料室・別室 会議室、研究交流室
交流センター	2階	コンベンションホール、作法室、特別会議室、ゲストルーム
	1階	研修室、国際展示ホール、ゲストルーム

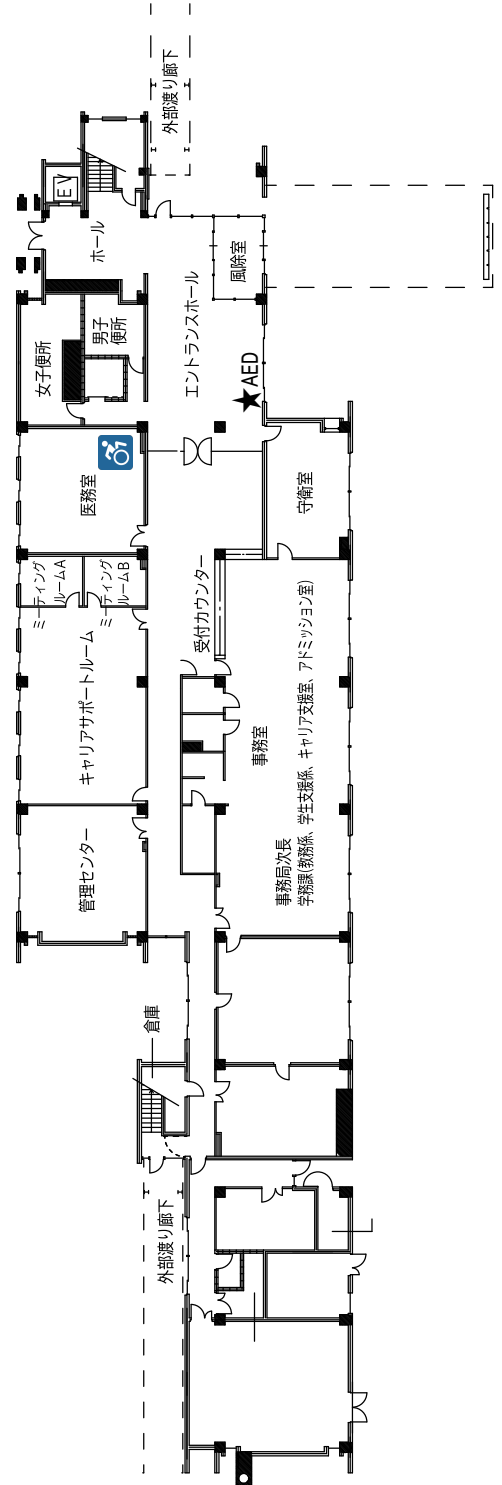


キャンパス全体配置図

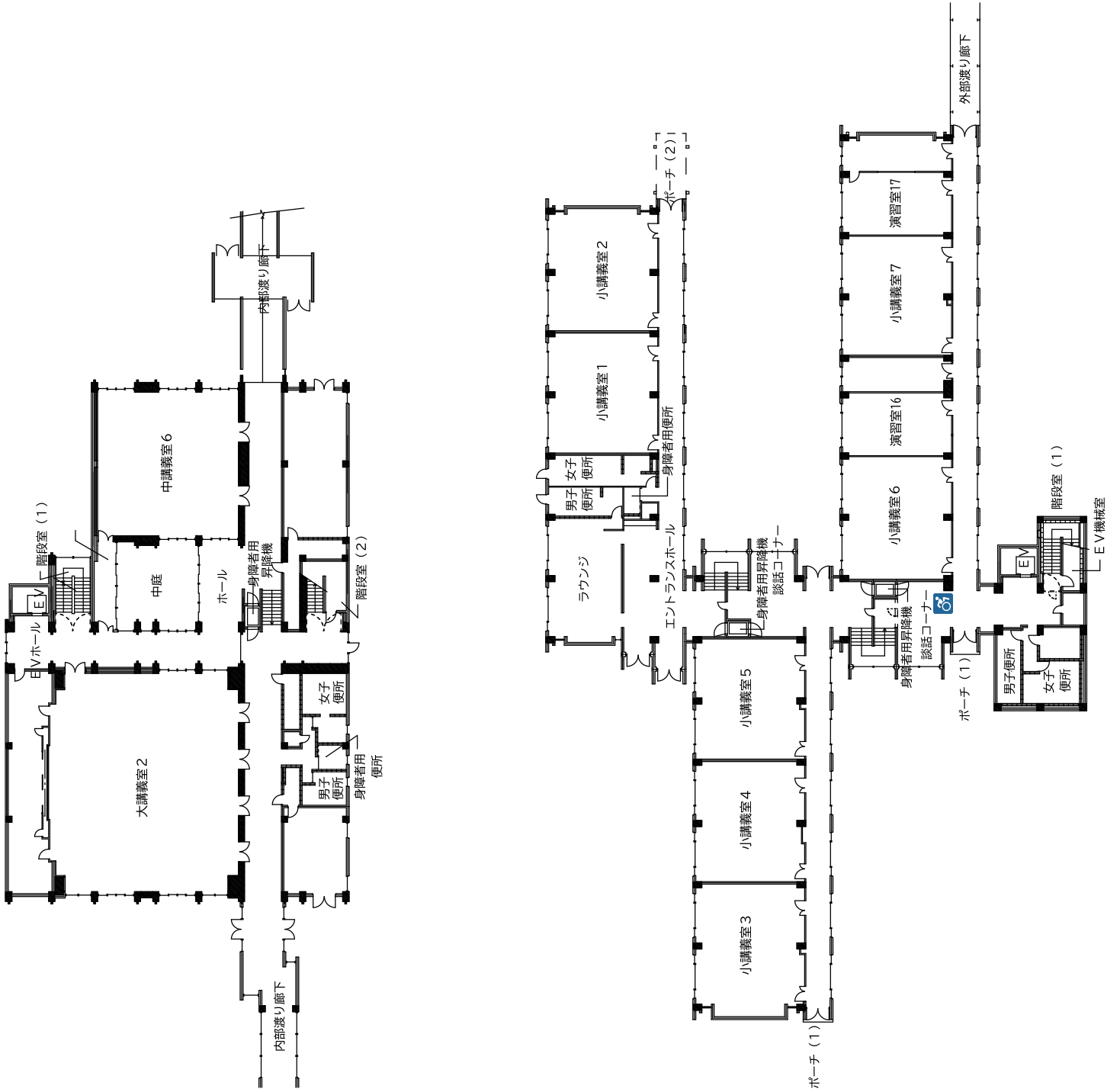
本部棟 2階平面図



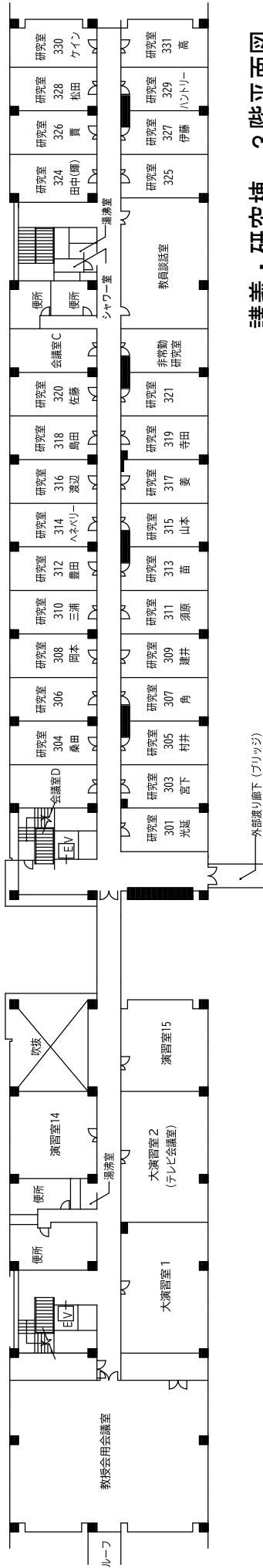
本部棟 1階平面図



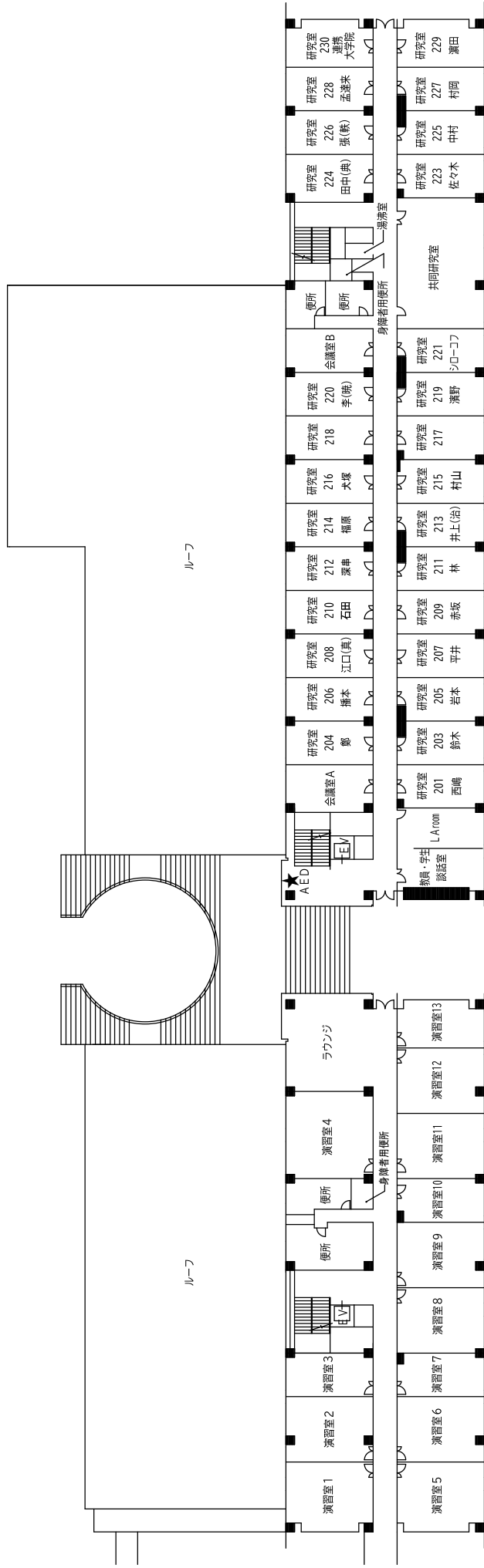
講義棟 2階平面図



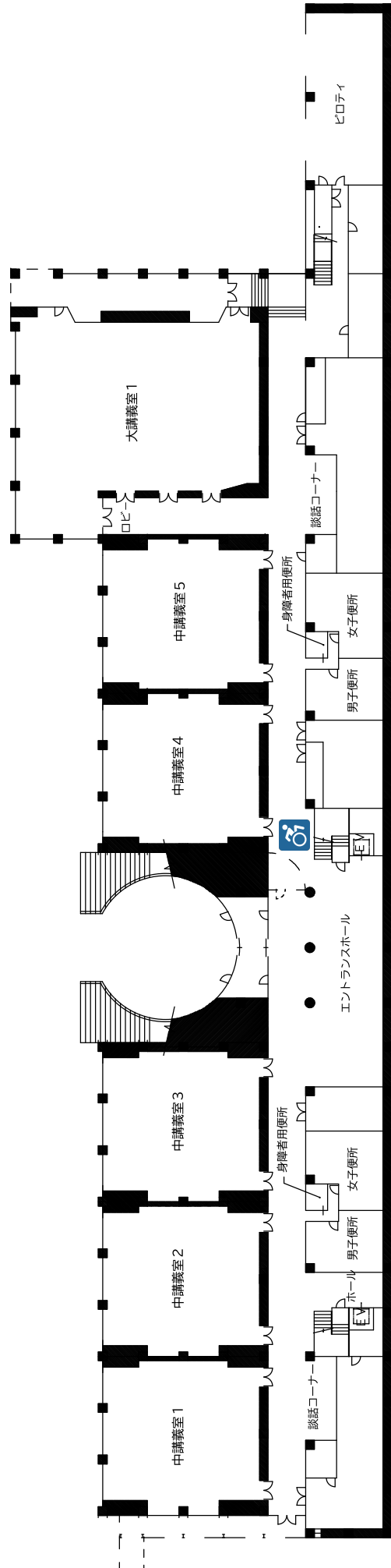
講義棟 1階平面図



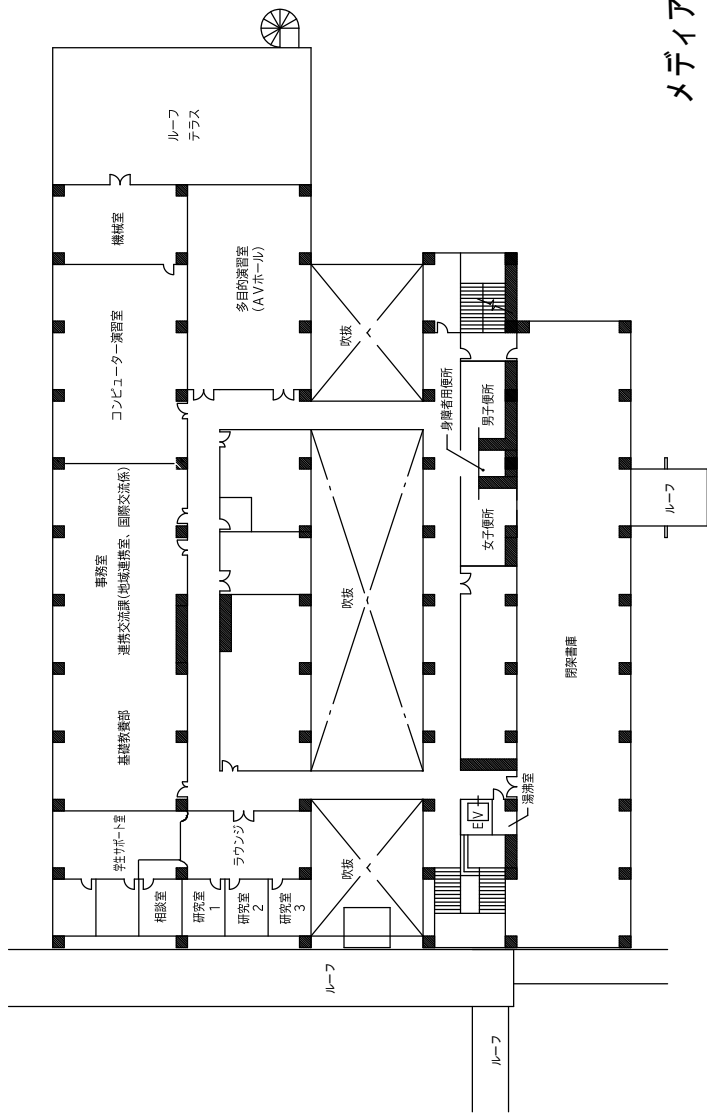
講義棟 3階平面図



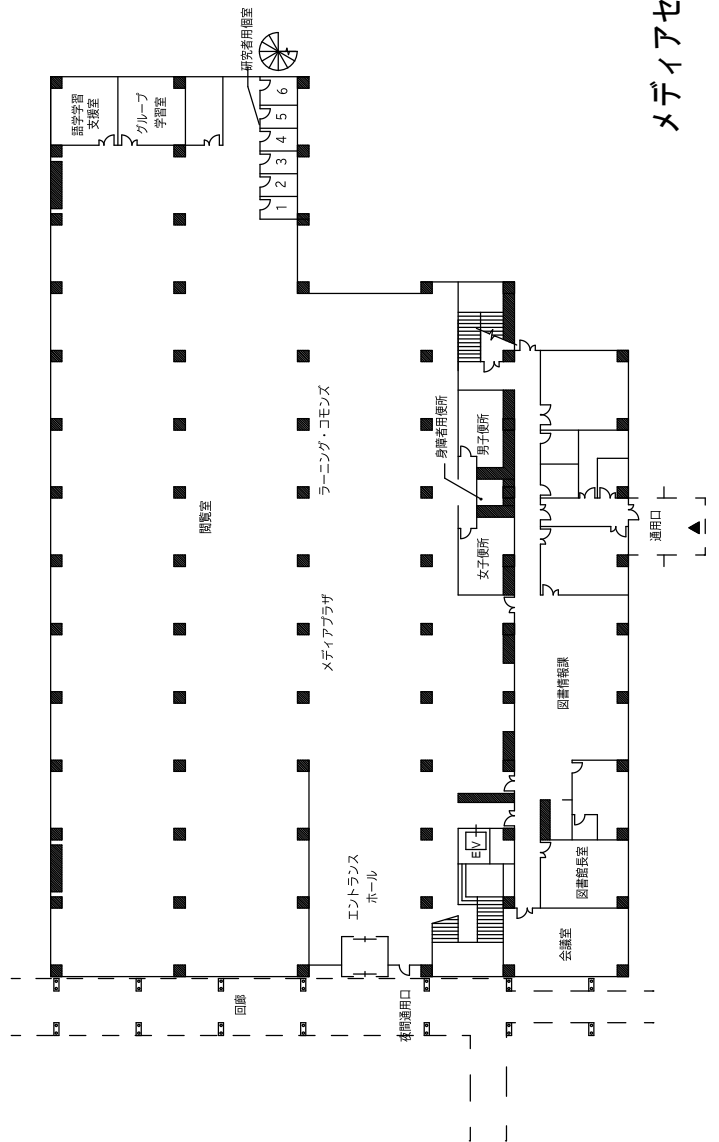
講義棟 2階平面図



講義・研究棟 1階平面図

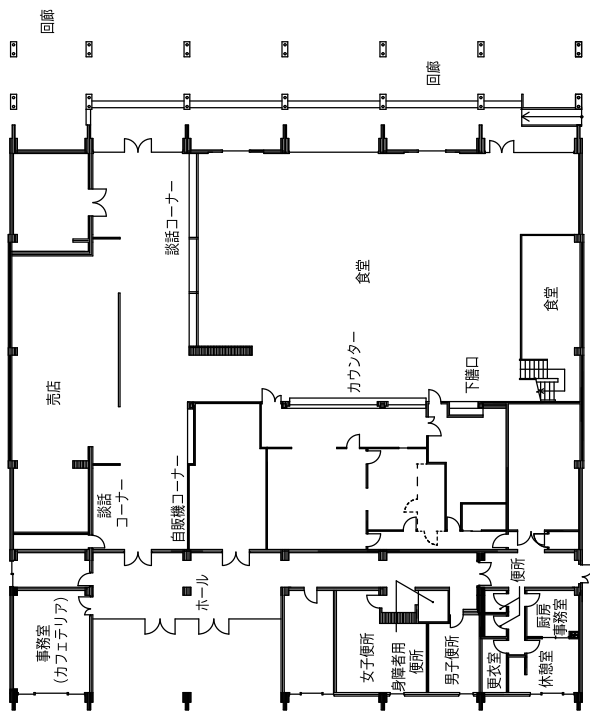


メディアセンター 2階平面図

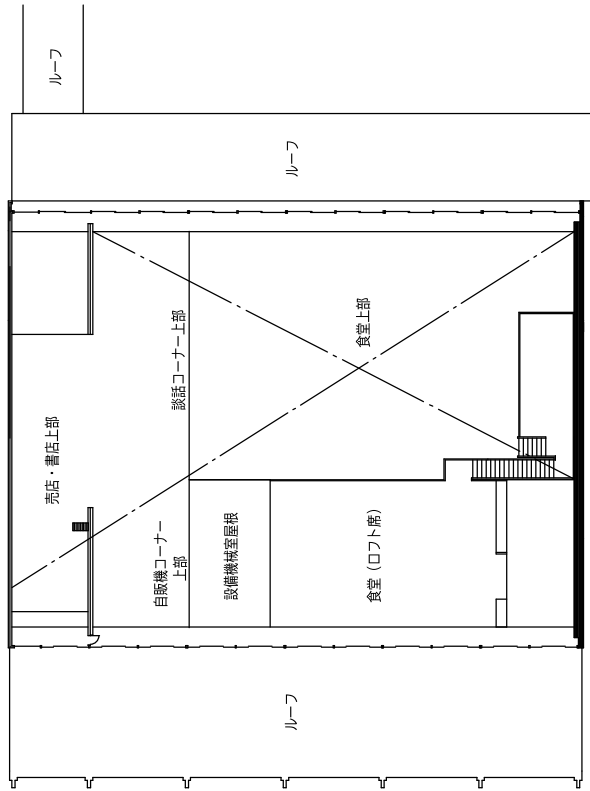


メディアセンター 1階平面図

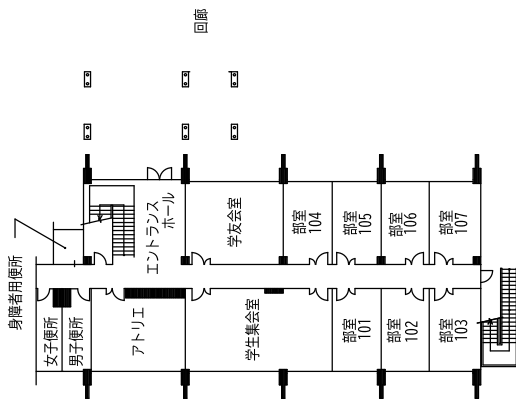
学生会館 1階平面図



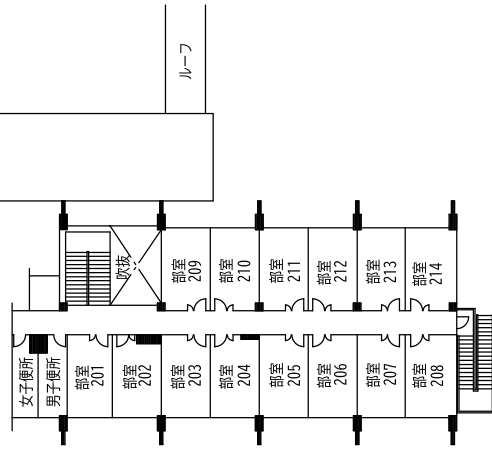
学生会館 2階平面図

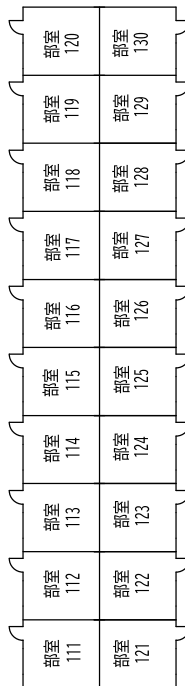
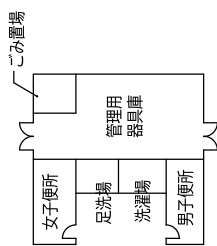
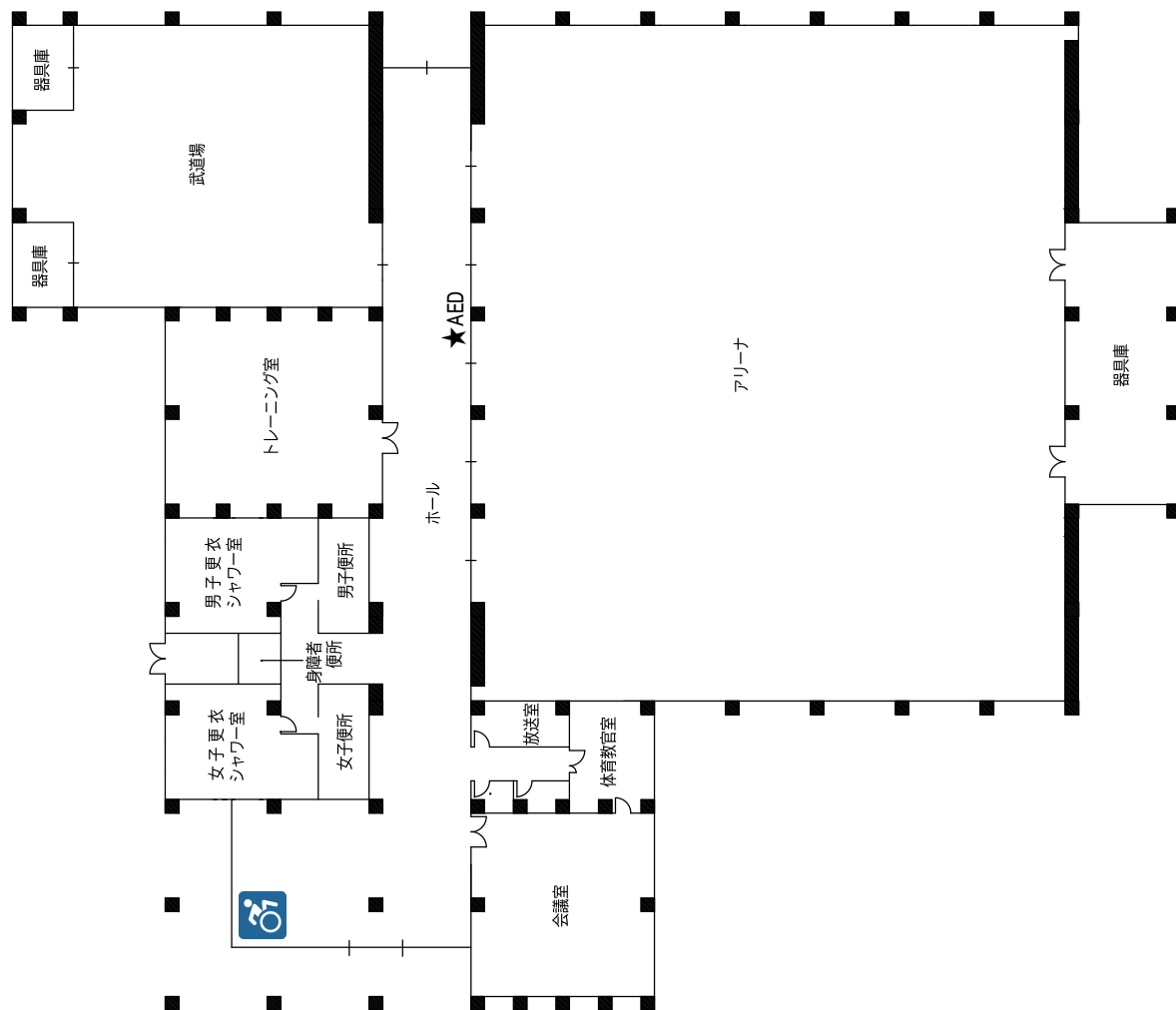


文化系クラブハウス 1階平面図



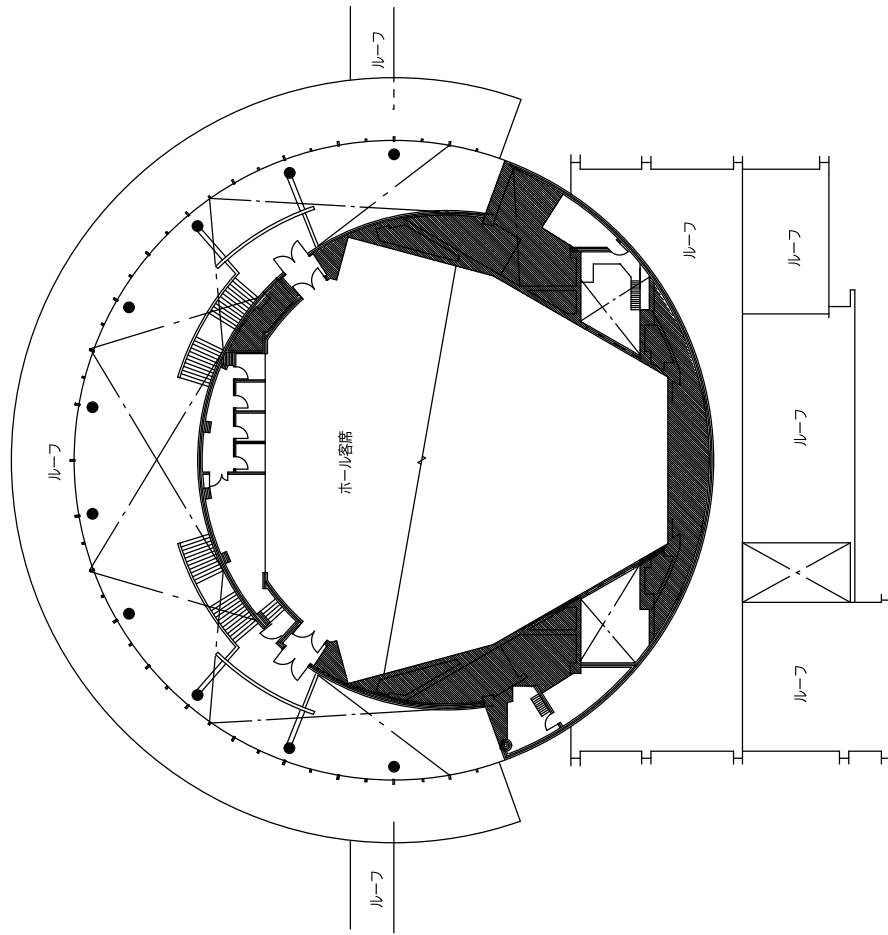
文化系クラブハウス 2階平面図



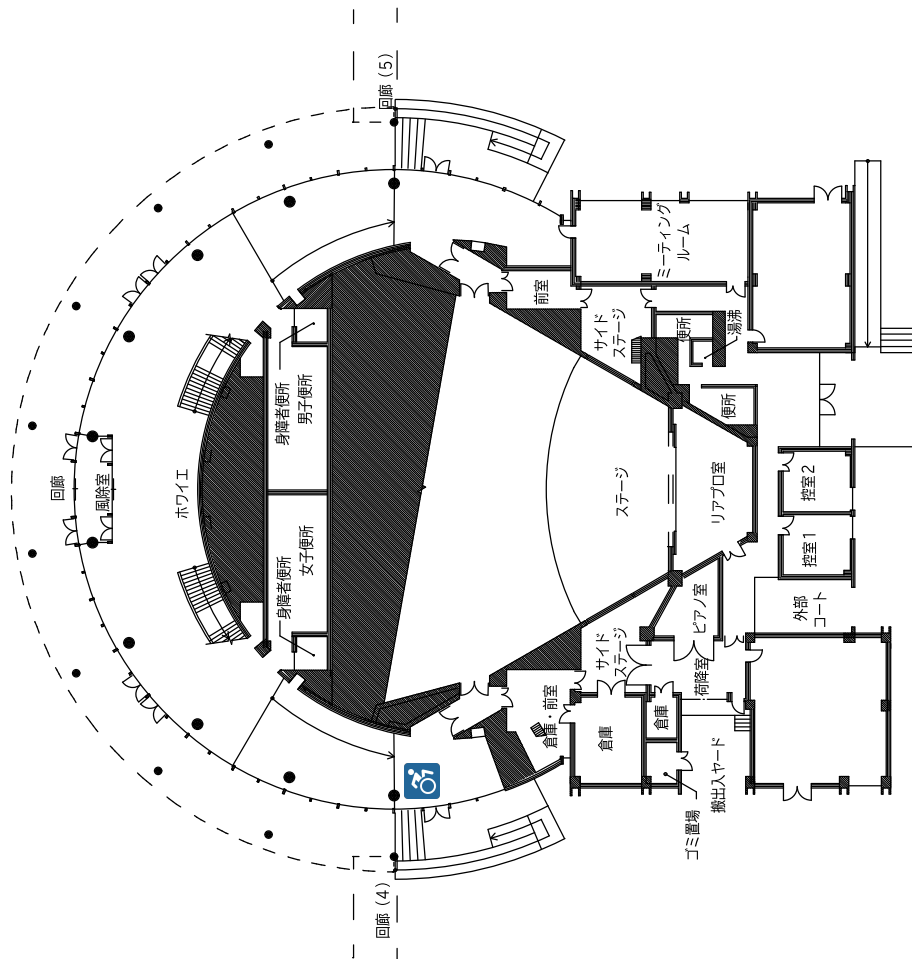


体育館 1階平面図

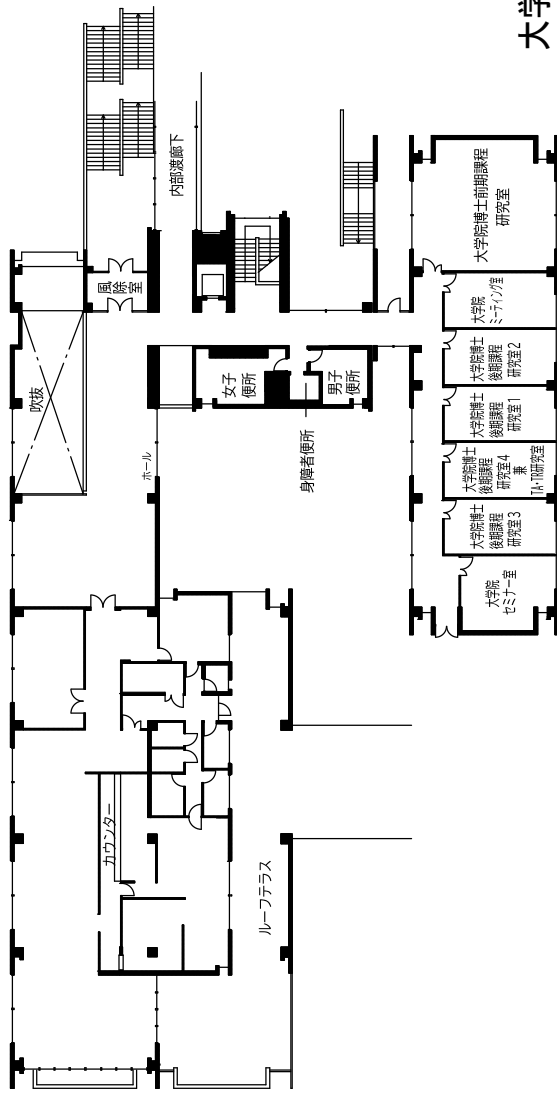
体育系クラブハウス 1階平面図



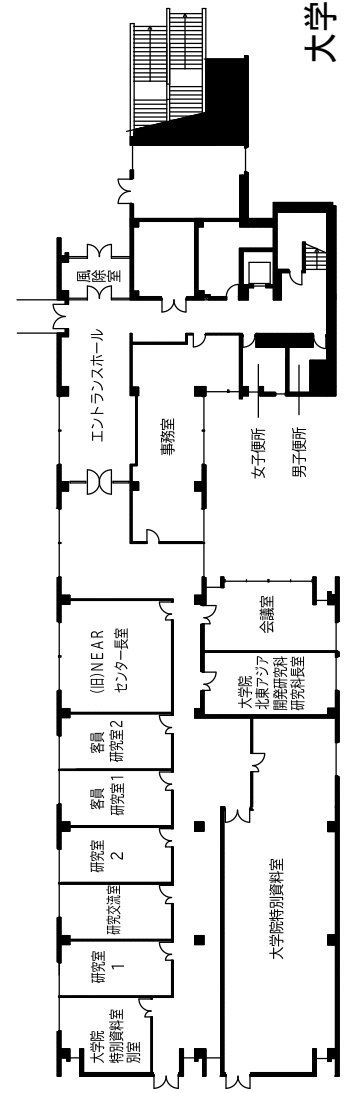
講堂 2階平面図



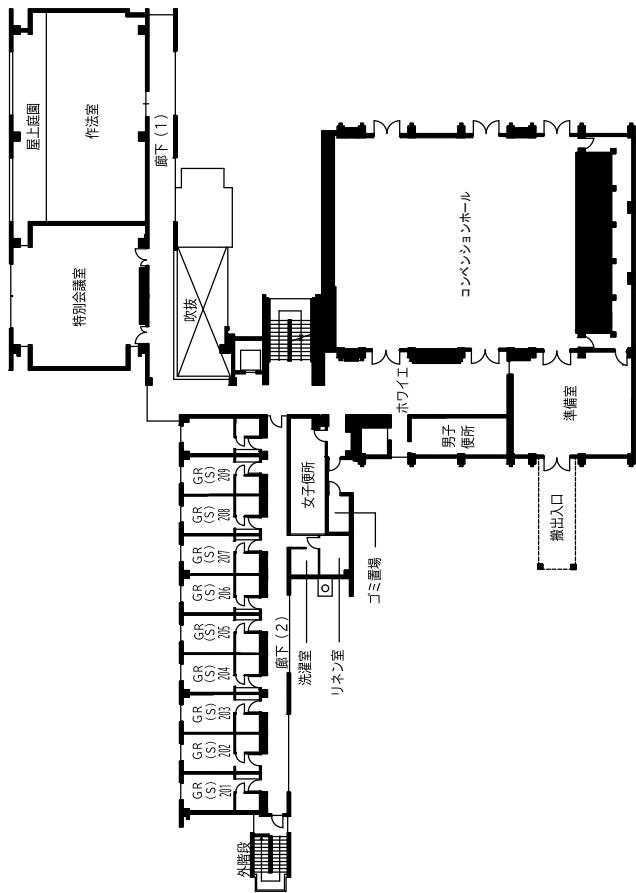
講堂 1階平面図



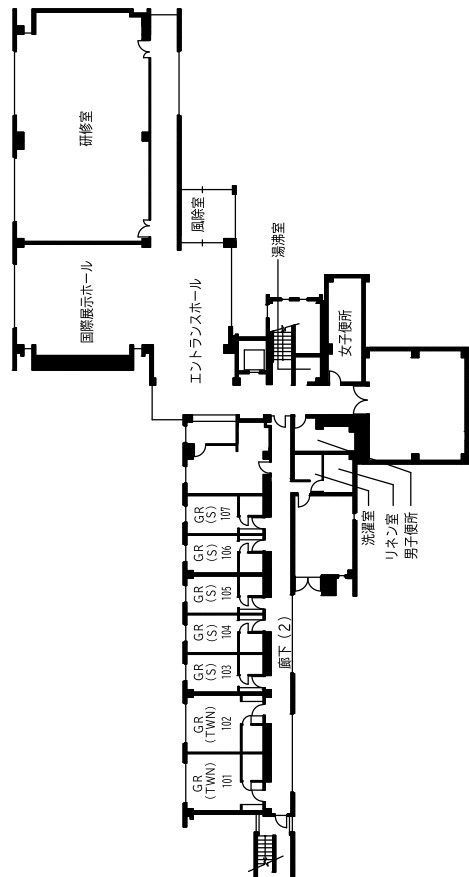
大学院研究棟 2階平面図



大学院研究棟 1階平面図



交流センター 2階平面図



交流センター 1階平面図

X その他

●浜田市医療機関

※市外局番0855

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖																										
あさひまちクリニック (泌尿器科・皮膚科)	23-5353	神在坂クリニック 大橋整形外科医院	23-2150	中村胃腸科内科医院	22-8000	飯塚皮膚科	23-6625	河野眼科医院	23-0404	中村整形外科	22-3325	大石内科医院 (循環器科・腎臓内科)	25-0313	ごうばら耳鼻咽喉科	24-3211	西川病院 (精神科・神経科・内科)	22-2390	岡本胃腸科内科医院	23-5555	こころクリニックせいゆ (心療内科)	28-7350	能美クリニック (整形外科・内科)	22-3231	沖田医院 (外科・整形外科・胃腸科)	22-1555	斎藤医院 (小児科・内科)	23-0228	浜田医療センター (産婦人科のみ紹介状不要)	25-0505	沖田内科医院	22-0767	さかね内科	22-2234	浜田長沢皮膚科・アレルギー科	25-7801	おさだ眼科クリニック	22-0022	島田診療所 (内科・神経内科)	22-2511	丸山内科クリニック	22-1115	笠田医院 (皮膚科・内科・形成外科)	22-1621	診療内科田中クリニック	24-1650	彌重内科眼科医院	22-1527	中村医院 (内科)	22-1183	山根病院三隅分院 (婦人科)	32-4343

●浜市内歯科医院

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬													
青笹歯科医院	23-0641	梶原歯科医院	22-0662	ながうら歯科	23-0880	石橋歯科医院	22-0143	かずあきデンタルクリニック	22-2719	西島歯科医院	22-1548	遠藤歯科医院	23-5690	小松原歯科医院	25-5671	パール歯科	23-3988	岡本歯科	22-1440	たけはら歯科クリニック	23-3698	ますたに歯科クリニック	23-6480	みやもと歯科医院	22-0960

●休日診療について (比較的軽症な救急患者の診療を受け持ちます。)

診療所名	診療内容	場所	受付時間	電話番号
浜田市休日応急診療所	内科、小児科	浜田駅北側(浜田市市町757-3)	日曜日・祝日 10:00~11:30 (1月1日は除く)13:00~14:30	25-1123

●救急の場合 (手術・入院を要する患者の治療にあたります。)

医療機関名	住所	ホームページ	開設時間	電話番号
浜田医療センター	浜田市浅井町777-12	https://hamada.hosp.go.jp/	24時間受付	25-0505

●総合的な相談窓口など

行政施設	時間	電話番号	
浜田市役所	月~金 8:30~17:15	22-2612	
上下水道部・水道管理課	水道について	25-9903	
市民生活部・環境課	ごみの出し方について	25-9430	
交通機関 (鉄道)	時間		
JR浜田駅	駅係員対応時間 7:20~19:30		
交通機関 (バス)	ホームページ	メモ	電話番号
石見交通 浜田営業所	http://iwamigroup.jp	市内循環等の時刻表、広島・大阪線等について	27-2211
中国JRバス 浜田営業所	https://www.chugoku-jrbus.co.jp	浜田-広島線、大阪線について	22-0289
広島電鉄	https://hiroden.co.jp	浜田-広島線について	082-231-5171

さくいん(項目別インデックス)

50音	項目名	該当ページ	主な掲載内容
あ	アパート・下宿	19	
	アルバイト	19	学校からのアルバイト先紹介
	異文化理解研修	50	研修紹介(履修登録方法は、「履修の手引き」参照)
	医務室	87	(位置図)
		42	利用時間、相談方法
	医療機関	98	医療機関連絡先
	印刷物配布	20	印刷物配布許可方法
	落とし物	4	紛失、拾得した場合の対応
か	学外団体	21	学外団体への加入
	学生教育研究災害傷害保険(学研災)	15	保険適用範囲、保険金額
	学生サポート室	91	(位置図)
		41	利用時間、相談方法
	学生集会	20	学生集会開催許可方法
	学生証	7	再発行方法
	学生団体	21	設立・継続方法
		22	学生団体一覧
	学生寮	29	定員・入寮対象・所在地
	学生旅客運賃割引証(学割)	8	発行方法
	校友会	21	校友会の説明
	カフェテリア	27	営業時間
	喫煙	3	大学敷地内禁煙
	休学	10	休学の説明、休学手続き方法
	教室	29	自習室の場所、利用時間
	クラブハウス	27	使用可能日、使用可能時間、冷暖房の方法
	グラウンド	28	使用可能時間、使用手続
	けが	87	医務室(位置図)
		98	医療機関連絡先
		15	学生教育研究災害傷害保険(学研災)
	健康診断証明書	9	発行方法
	携帯電話番号変更	10	身上異動
	後援会	30	助成金
国際交流	46	交流協定校紹介	
ゴミ	5	ゴミの分別	
さ	在学証明書	8	発行方法
	事故	17	事故発生時の対応
	自習室	29	自習室の場所、利用時間
	自動車通学	17	許可基準、許可期間
	住所変更	10	身上異動
	事務室	97・91	(位置図)

さ	就職活動による授業欠席	39	就職活動による欠席届
	就職活動に必要な証明書	39	証明書発行方法
	拾得	4	拾得時の対応方法
	授業料減免申請	13	授業料減免の説明
	授業料支払方法	11	支払期限、支払方法
	奨学金	12	学内奨学金、日本学生支援機構奨学金
	成績証明書	8	発行方法
	相談	41	学生相談窓口
	卒業見込証明書	8	発行方法
た	体育館	28	使用可能時間、使用手続
	退学	10	退学の説明、退学手続き方法
	多目的運動場	28	使用可能時間、使用手続
	通学証明書	7	発行方法
	テニスコート	28	使用可能時間、使用手続
	電話取次	4	大学は、家族等からの電話取り次ぎを行いません
	盗難	4	盗難時の対応方法
と	図書館	56	貸出
		58	図書リクエスト、オンラインサービス
		60	利用時の注意事項
		60	学内情報システムの利用方法
		61	配置図
		62	開館カレンダー
な	悩み	41	学生相談窓口
は	バイク通学	17	許可基準、許可期間
	売店	27	営業時間
	ハラスメント	43	ハラスメントの相談窓口
	病院	98	医療機関連絡先
	病気	87	医務室(位置図)
		98	医療機関連絡先
		42	医務室利用時間、相談方法
	保護者への成績通知	11	通知方法、通知時期
	ポスター掲示	20	ポスター掲示許可方法
	ボランティア	24	ボランティア情報紹介
や	郵便物	4	大学は、学生個人あての郵便は受け付けません
り	留学	47	留学手続方法

学生関係手続き等窓口一覧

相談等内容	事務局担当	学生便覧の該当ページ
【修学上の届出、願出】		
氏名、住居等の変更	学務課学生支援係	10
退学、転学、復学	〃	10
欠席	学務課教務係	「履修の手引き」を読んでください。
履修登録	〃	「履修の手引き」を読んでください。
追試験、再試験	〃	「履修の手引き」を読んでください。
成績通知	〃	「履修の手引き」を読んでください。
学生証、学生証の再発行	学務課学生支援係	2・7
通学証明書（発行等）	〃	7
学生旅客運賃割引証（学割証）の発行	〃	8
在学証明書の発行	〃	8
成績証明書の発行	学務課教務係	8
卒業見込証明書の発行	〃	8
【授業料、奨学金等】		
授業料の納付	財務課	11
授業料の減免	学務課学生支援係	13
奨学金	学務課教務係・学生支援係 連携交流課	12
【就職・進学】		
就職・進学相談	学務課キャリア支援室	35
インターンシップ	〃	37
各種資格試験	〃	33
就職活動による欠席	〃	39
【学生生活】		
学生教育研究災害傷害保険(学研災)	学務課学生支援係	17
アルバイト	〃	19
アパート・下宿	〃	19
紛失、拾得、盗難	事務局窓口	4
通学、交通安全（事故があった場合）	学務課学生支援係	17
【課外活動】		
団体の設立	学務課学生支援係	21
集会・掲示・印刷物の配布等	〃	20
体育施設の利用	〃	28
クラブハウス	総務課・学務課学生支援係	27
ボランティア	連携交流課	24
後援会補助金	学務課内後援会	30
【健康管理】		
健康診断	学務課学生支援係	13
疾病、救急措置	〃	14
健康管理に関する相談	〃	42
近くの病院（学校医・総合病院等）	〃	14・98
修学、対人関係、健康等に関する相談	学務課	41
【学生寮・国際交流会館】		
入寮願・退寮願・在寮願	学務課学生支援係	「寮生活のしおり」を読んでください。
定員・入寮対象・所在地	〃	29

●事務局等電話番号一覧

事務局等		電話番号	場所
学務課	教務係	0855-24-2213	本部棟 1階 P90
	学生支援係	0855-24-2396	
	キャリア支援室	0855-24-2202	
	アドミッション室	0855-24-2203	
医務室		0855-24-2214	
企画調整課		0855-24-2201	本部棟 2階 P90
総務課		0855-24-2200(代表電話)	
財務課		0855-24-2218	
図書情報課	図書館担当	0855-24-2204	メディアセンター 1階 P94
	情報担当	0855-24-2205	
連携交流課	地域連携室	0855-25-9063	メディアセンター 2階 P94
	国際交流係	0855-25-9063	
学生サポート室		0855-24-2391	
管理センター		0855-24-2350 内線 113	本部棟 1階 P90
守衛室		内線 108	
売店		0855-22-0004	学生会館 P95
カフェテリア		0855-23-1248	
学生集会室		内線 640	文化系クラブハウス P96
学友会室		内線 641	
学生寮 管理人室		0855-24-2399 内線 8000	P89
国際交流会館 管理人室		0855-23-7435	P89

緊急時連絡先		
平日時間内の場合	0855-24-2396	学務課:学生支援係
平日時間外及び休日の場合	0855-24-2200(代表電話)	

【事務局窓口開設時間】

本部棟 1階事務室・連携交流課 (通年) 午前 8:40~11:10 午後 12:10~17:15
 本部棟 2階事務室 (通年) 午前 8:40~12:00 午後 13:00~17:15

【窓口を休止する期間】

- ・土日祝日
- ・8月13日~15日(終日)
- ・12月29日~1月3日(終日)
- ・海遊祭翌日(10月15日)の午前
- ・大学入学共通テスト前日(1月17日)の11:10~
- ・3月25日~28・31日(終日)

※窓口開設時間外、窓口休止期間における電話・メール等学生対応はできかねますのでご了承ください。

大学歌・大学応援ソング

島根県立大学歌 鳥ととも

作詞 平田俊子
作曲 寺嶋陸也

朝がつれてくる 鳥の歌声
心に響く
鳥の言葉はわからないのに
いとおいしいのはなぜだろう
見上げれば はるかな空
見渡せば ゆたかな海
ゆるぎない 大地のただなか
人は 人を愛し
人は 人を信じ
生きる きょうを
生きる あしたを
鳥の歌声と ともに

夜がつれてくる 星の輝き
心を照らす
星の言葉はわからないのに
なつかしいのはなぜだろう
いつまでも 忘れなければ
いつの日か 夢はかなう
果てしない 時のただなか
人は 人を求め
人は 人を救し
生きる きょうを
生きる あしたを
星の輝きと ともに

島根県立大学応援ソング 島根県立大学の唄

作詞・作曲 山根万理奈
編曲 別府克彦

You & I 県大 はじめよう 島根県立大学
歴史ある街に 新しく名前を刻む気持ちで
赤レンガに囲まれて励む 希望のカリヨンを鳴らそう
支え合う僕ら 思いやる心を育てよう
バタデンから元気を乗せたら 神様も背中を押すだろう
この街で生まれた君も この場所を選んだ君も
見慣れた景色が鮮やかに変わるから

You & I 県大 はじめよう
夢と未来が つながる ひろがる
自分次第 無限大 見つけよう 島根県立大学

海の見える丘から挑む 知性の旅人たちへ
シロイルカよりもしなやかに 自信をもって舵を切ろう
この街で何をしようか この場所に何を生もうか
力身につけば“楽しい”に会えるから

You & I 県大 はじめよう
未知の世界へ つながる ひろがる
自分次第 無限大 輝こう 島根県立大学

藍青仰ぎこだまする 躍動せしむ我が情熱
島根県立大学で 学ぶ礎 等しからん
あゝ母校から共にゆく 探求の先に光あり

You & I 県大 はじめよう
街へ世界へ つながる ひろがる
自分次第 無限大 羽ばたこう 島根県立大学
島根県立大学

マスコットキャラクター「オロリン」

島根県立大学のマスコットキャラクター「オロリン」です。
愛くるしく明るい表情の中にも熱い志を持ち、本を片手に常に学ぶ姿勢からは、本学に関わるすべてのもののあるべき姿を象徴しています。

(注) オロリンの画像使用においては、大学ホームページに掲載している

【使用上の遵守事項】を守って使用してください。⇒





公立大学法人島根県立大学のシンボルマークの説明

松江市、出雲市と浜田市からともに飛翔する総合大学は、知性と感性に輝き、教育と研究の輪を広げます。

豊かな日本海の藍青は未知の世界、発見の海へ乗り出す学問の探求を、県の木、黒松の緑は、育まれる豊かな人格の育成を表し、生命輝き人間愛に満ちた暁を開く茜とともに、総合大学としての島根県立大学の発展を象徴しています。



島根県立大学

The University of Shimane

浜田キャンパス

Hamada Campus

国際関係学部

Faculty of International Relations

地域政策学部

Faculty of Regional Policy Studies

大学院北東アジア開発研究科

Graduate School of North East Asia and Development Studies

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

TEL 0855-24-2200(代表)

TEL 0855-24-2396(学務課:学生支援係直通)

ホームページアドレス <https://www.u-shimane.ac.jp>